

陸甲九四

臨時軍事調査委員月報

第二十三號其二



国立公文書館	
分類	
排架番号	2 A
	36
	委 91

大正六年九月一日陸軍省印刷

1056





# 臨時軍事調査委員月報

(第二十三號其二)

最近ニ於ケル佛軍陣地攻撃要領

## 目次

緒言	一三頁
第一篇 佛軍陣地攻撃要領ノ概観	一四
第二篇 一般ノ要領	一七
第一章 要一則	一七
第二章 統帥ノ要領	二〇
第三章 會戰ノ區分	二二
第四章 敵陣地帯ノ強度攻之ニ對スル攻撃指導要領	二四
第五章 攻撃指導上ノ要件	二五
第六章 攻撃ノ區分	二七
第七章 準備	二八
目次	一



第一節 一般要則	二八
第二節 作戰計畫	二九
第一款 要則	二九
第二款 一般攻撃部署	三〇
第三款 各團隊ノ攻撃部署	三一
第三節 現地研究及目標ノ偵察	三一
第四節 現地ニ施スヘキ準備	三一
第五節 軍隊ニ爲スヘキ準備	三二
第六節 攻撃準備	三三
第一款 砲兵ノ行フ攻撃準備	三四
第二款 航空隊ノ行フ攻撃準備	三五
第三款 毒瓦斯ヲ以テ行フ攻撃準備	三五
第八章 攻撃實行	三六
第九章 攻撃效果ノ發展	三七
第十章 騎兵及航空隊	四〇

第十一章 括言	四〇
第三篇 準備	四一
第一章 偵察	四一
第二章 作戰計畫	四四
第一節 大軍	四四
第二節 軍	四五
第三節 軍團	四八
第四節 師團	五二
第三章 作戰準備施設及攻撃地區整備作業	六〇
第一節 要則	六〇
第二節 作戰準備施設	六二
第一款 鐵道	六二
第二款 道路	六三
第三款 廠舎	六三
第四款 飲料水	六四



第五款 倉庫、諸廠	六四
第三節 攻撃地區整備作業	六四
第一款 要則	六四
第二款 攻撃地區整備作業計畫	六五
第三款 攻撃地區整備作業計畫ニ顧慮スヘキ要件	六七
第四款 第二期攻撃準備ノ爲第一期攻撃開始前ニ行フベキ設備	六八
第五款 攻略セル敵陣地内ニ進入スヘキ砲兵ノ爲ノ準備	六九
第四節 攻撃地區整備作業實施要領	七〇
第一款 突撃陣地帯	七〇
第二款 掩蔽部及集合所	七二
第三款 交通壕	七三
第四款 戦闘間指揮官ノ位置	七七
第五款 彈藥、器材、糧食、貯水所、救護地及假糊帶所等	七八
第六款 壘壕超越準備	七九
第五節 結言	七九

第四章 軍隊ニ行フヘキ戰術上ノ準備	八一
第一節 演習ノ必要	八一
第二節 演習ノ實施	八三
第三節 師團ニ於ケル演習ノ方法	八四
第一款 要則	八四
第二款 幹部ノ演習	八四
第三款 部隊ノ演習	八五
第五章 砲兵ヲ以テスル攻撃準備	八六
第一節 要則	八六
第二節 破壊射撃	八七
第一款 一般要領	八七
第二款 障礙物ノ破壊	八九
第三款 壘壕、掩蔽部ノ顛覆	九〇
第三節 敵砲兵ニ對スル射撃	九〇
第四節 攻撃直前ノ砲撃及守兵ニ對スル補助行動	九二



第五節 修正及觀測	九三
第一款 觀測	九三
第二款 觀測所	九三
第三款 觀測者ノ選擇	九四
第四篇 攻撃實行	九四
第一章 歩兵ノ攻撃目標並兵力	九四
第一節 攻撃目標	九五
第二節 兵力部署	九六
第二章 第一期攻撃	九七
第一節 歩兵攻撃ノ要則	九七
第二節 歩兵師團ノ攻撃部署	九八
第三節 攻撃歩兵ノ隊形	一〇一
第一款 突撃隊	一〇一
第二款 後方梯隊	一〇二
第三款 特種部隊	一〇三

第四款 後方陣地帯ニ對スル接近	一〇三
第四節 突撃	一〇三
第一款 突撃隊	一〇四
第二款 掃除隊	一〇五
第三款 増援中隊	一〇六
第四款 後方梯隊	一〇六
第五款 歩兵用迫撃砲	一〇七
第六款 工兵部隊	一〇八
第七款 指揮官ノ位置	一〇八
第八款 資材	一〇九
第九款 連絡	一〇
第十款 其ノ他ノ注意	一〇
第五節 戰果ノ擴張	一一
第一款 戰果擴張準備	一一
其一 擴張部隊ノ區分及其ノ地域	一一



其二 參加前ニ於ケル擴張部隊ノ運動	112
其三 戦闘參加	113
其四 擴張參加砲兵	113
第三款 戦果擴張ノ實行	115
第六節 歩兵攻撃實施間ニ於ケル砲兵	117
第一款 要則	117
第二款 師團砲兵ノ攻撃參加	119
第三款 塹壕射撃	120
第四款 砲戰ノ繼續	120
第五款 陣地變換	121
第六款 歩砲兵ノ連絡及砲兵ノ觀測	123
其一 直接歩兵ヲ援助スヘキ砲兵大隊	123
其二 直接援助ノ任務ヲ有セサル砲兵大隊	124
其三 括言	124
第七節 攻撃奏功ニ伴フ行動	125

第一款 攻略セル陣地ノ編成	125
第二款 軍團長及第二線師團ノ動作	126
第三款 第一期攻撃ノ終了	127
第四款 攻略地域内ニ於ケル整備作業	127
第三章 第二期攻撃	128
第一節 準備	128
第一款 各團隊長ノ位置	128
第二款 攻撃配備ノ順序	129
第三款 砲兵ノ陣地變換	129
第四款 歩兵師團ノ交代	130
第五款 交代師團ノ土地整備作業	131
第六款 砲兵ノ攻撃準備射撃	131
第七款 結言	131
第二節 攻撃實行	132
第四章 其ノ後ノ攻撃	132



第五章 特別ナル戰闘	一三三
第六章 突破ノ進展	一三四
第一節 要則	一三四
第二節 實行	一三五
第一款 步兵師團及騎兵師團	一三五
第二款 各師團ノ連絡及通信	一三六
第三款 後衛陣地攻撃	一三六
第三節 縱隊ノ編組、前進間ノ部署	一三七
第一款 師團ノ縱隊	一三七
第二款 軍團砲兵	一三七
第三款 砲兵彈藥縱列	一三八
第四款 情報參收所	一三八
第四節 戰闘ノ再開	一三八
第一款 戰闘準備隊形	一三八
第二款 近接運動	一三九

第三款 攻撃準備區處	一三九
第四款 攻撃命令	一四〇
第七章 戰闘間各級兵團長ノ動作	一四〇
第一節 軍司令官	一四〇
第二節 軍團長	一四一
第三節 師團長	一四三
第一款 第一線師團長	一四四
第二款 第二線師團長	一四五
第五篇 陣地攻撃ニ於ケル騎兵及航空隊	一四六
第一章 騎兵	一四六
第一節 要則	一四六
第二節 準備	一四六
第一款 幹部並部隊ノ教育訓練	一四六
第二款 各級指揮官ノ準備動作	一四七
第三款 攻撃地區整備作業	一四七



111

- 第三節 攻撃實行 ..... 一四八
- 第一款 要則 ..... 一四八
- 第二款 軍團騎兵ノ任務 ..... 一四八
- 第三款 騎兵師團及同軍團ノ任務 ..... 一四九
- 第二章 航空隊 ..... 一五〇
- 第一節 航空隊ノ任務及配屬 ..... 一五〇
- 第二節 陣地攻撃準備期間觀察ニ任スル航空隊ノ動作 ..... 一五一
- 第一款 指揮官ノ爲ノ觀察 ..... 一五一
- 第二款 砲兵ノ爲ノ觀察 ..... 一五二
- 第三節 第一期攻撃期間觀察ニ任スル航空隊ノ動作 ..... 一五三
- 第一款 指揮官ノ爲ノ觀察 ..... 一五三
- 第二款 砲兵ノ爲ノ觀察 ..... 一五四
- 第四節 第二期攻撃期間觀察ニ任スル航空隊ノ動作 ..... 一五四
- 第一款 指揮官ノ爲ノ觀察 ..... 一五四
- 第二款 砲兵ノ爲ノ觀察 ..... 一五五

- 第五節 戦闘 ..... 一五六
- 第六節 結言 ..... 一五七

### 最近ニ於ケル佛軍陣地攻撃要領

#### 緒言

本篇ハ主トシテ左記諸教令並從軍武官ノ報告ヲ綜合シ最近ニ於ケル佛軍ノ陣地攻撃要領ヲ調査セルモノナリ

- 一 陣地攻撃要領千九百十六年一月十六日 佛軍總司令部
- 註 本教令ハ千九百十六年末「總攻撃ノ目的及實施要件ニ關スル教令」ノ發布ト共ニ廢止セラレタ
- ルモ趣旨ニ於テハ今尙變更ヲ認メサルヲ以テ之ヲ引用セリ
- 二 大部隊ノ陣地攻撃ニ於ケル佛軍ノ統帥法千九百十六年一月二十六日 佛軍總司令部
- 三 攻勢會戰千九百十六年四月二十日 佛軍總司令部
- 註 本教令ハ總司令部ノ教令及既往ノ實驗ニ基キ「ソナム」會戰ノ準備トシテ之ニ任セシ佛北方大軍司令官「フオッシュ」將軍ノ發布セルモノナリ



四 總攻撃ノ目的及實施要件ニ關スル敕令千九百十六年十二月十六日  
佛北方及東北方軍總司令官

註 千九百十七年ニ於ケル攻撃準備ノ爲「ソナム」會戰ノ實驗ヲ參酌シ發布セル敕令ナリ但シ本敕令中第三篇砲兵ノ用法、附録地區ノ整備及同航空隊ノ用法ハ報告未著ニ付此等ニ關スル事項ハ前記諸敕令中ヨリ之ヲ輯録シ内近時改正セラレタルコト明瞭ナル部分ニハ訂正ヲ加ヘタリ

以上ノ諸敕令ヲ綜合スルモ尙未ダ意ノ盡ササルモノ、條項ノ完備セサル如ク判斷セラルルモノアリ事實ノ首肯シ得サルモノ亦ナキニアラス然レトモ資料ノ充分ナラサル今日輕々シク判斷ヲ加フルトキハ反テ眞意ノ没却スルモノアラムヲ恐レ編纂上ノ體裁ニ拘泥セス事實ノ儘記述スルコトトセリ他日正確ナル資料ヲ得ハ更ニ補修スル所アルヘシ

第一篇 佛軍陣地攻撃要領ノ變遷

本陣地戰ハ西方戰場ニ於テ千九百十四年冬季以降現出セル特種ノ戰況ニシテ爾來各交戰國軍ハ本戰闘ニ對スル平時ヨリノ不準備ヲ補ヒツツ換言スレハ戰場ノ實驗ヲ直ニ利用シ戰備ヲ充實シツツ交戰ヲ持續スルモノナレハ其ノ戰闘要領一會戰毎ニ進化スルハ固ヨリ當然ニシテ其ノ變轉スル所ハ實ニ軍事研究上多大ナル價值ノ存スル所ナリ是最近ニ於ケル佛軍陣地攻撃法ヲ綜合スルニ當リ卷頭ニ其ノ變遷ヲ概説スル所以ニシテ併セテ現時ニ於ケル趨勢ノ由來セル沿革ヲ窺フニ供セムトスルモノナリ

一 千九百十五年春期「ジャンパーニユ」及「アルトワ」地方ニ於ケル諸攻撃ノ結果佛軍ハ箇々逐次ニ實施スル攻撃(隣接陣地又ハ軍團毎ニ統一ナク行フ蠶食攻撃)ハ大ナル效果ヲ收メ難キヲ覺リシト共ニ

數多ノ堅固ナル塹壕線ヨリ成ル縱深大ナル敵陣地ノ攻略ニハ相當ニ廣キ總攻撃正面ヲ選定シ統一シテ戰闘ヲ指導スルヲ要シ其ノ攻撃開始ニ先タチ砲兵ノ十分ナル攻撃準備射撃ヲ行フヲ緊要トシ次ニ攻撃參加部隊ノ擔任正面ヲ狭少ニシテ敵ノ防禦設備ヲ逐次ニ突破シ得ヘキ縱長區分ヲ採ルヲ得セシメ其ノ第一線攻撃部隊ハ數次ノ突撃波ニ區分シ突撃ヲ決行シ後方部隊ハ間斷ナク之ヲ推進シ尙新銳部隊ヲ以テ攻撃陣地ヲ支援シ斯クテ一舉ニ敵陣地ヲ突破スルノ必要ヲ認ムルニ至レリ

二 同年九、十月「ジャンパーニユ」及「アルトワ」附近ノ攻撃ハ右ノ要領ニ依リ指導セラレ其ノ「ジャンパーニユ」ニ於テハ第一陣地帯ノ攻略豫期ノ如ク奏功シタリト雖「アルトワ」ニテハ第一陣地帯スラ完全ニ奪取シ得スシテ中止セリ)攻撃軍ハ直ニ儼然トシテ存在スル第二陣地帯ニ衝突シ茲ニ猪突ノ勇ヲ振ヒ肉彈ヲ以テ此ノ鐵壁ヲ熔カサムトシテ甚ク戰闘力ヲ消耗シ歩砲兵並各級指揮官ノ連絡斷絶シテ指揮ノ行使力ヲ失ヒ全ク其ノ企圖ヲ挫折スルニ至レリ是ニ於テカ先ツ十分ナル準備ヲ整ヘ順序正シキ整然タル攻撃ヲ以テ敵ノ各陣地帯ヲ逐次ニ攻略スルノ必要ト之ニ從事スル團體ノ練成ヲ切ニ感スルニ至リタリ同年末及翌千九百十六年春期佛軍ハ總攻撃ノ準備並團體練成ノ爲努力セシ所多大ナリキ

三 千九百十五年莫大ナル犧牲ヲ拂フテ得タル苦キ實驗ハ順序正シキ攻撃ノ必要ニ歸著シ「ソナム」ノ



會戰指導ハ實ニ其ノ頂點トシテ顯ハレタルモノニシテ「歐洲戰ハ人ノ戰ヒニアラスシテ機械ノ爭鬪ナリ勇氣ヲ以テ敵ヲ打ツニアラスシテ彈丸ニ隨從スル武者人形ノ運動ノミ」ト酷評スル者スラ生スルニ至レリ

此ノ會戰ハ逐次陣地帯ノ攻略ニ於テハ概ネ其ノ目的ヲ達シタリト雖實施者ハ軍司令官「フオツシユ」將軍ノ教令ヲ曲解シ全ク敵情ヲ無視セル方式戰術家トナリ順序ト計畫ニ拘泥シ獨斷機會ニ投シ戰果ヲ擴張スルノ運用ノ妙訣ヲ缺クモノアリシカハ各陣地帯攻略毎ニ多大ナル時日ノ餘裕ヲ敵ニ與ヘ爲ニ根柢的ニ其ノ陣地ヲ突破シ得ルニ至ラスシテ已ミヌ

四 是ニ於テ總司令官ハ「ソナム」會戰ノ實際ニ鑑ミ千九百十七年ノ攻勢會戰ヲ準備スル爲教令ヲ發布セリ其ノ趣旨ハ從來實施セシ兩極端ナル作戰指導法ノ中庸ヲ採ラムトスルモノニシテ一方、方式ノ必要ヲ認ムルト共ニ戰機ニ投スル獨斷的戰果ノ擴張ヲ大ニ獎勵シ砲兵ヲ以テスル破壞ノ程度ヲ稍減縮シテ攻撃正面ヲ擴大シ之ヲ補フニ攻撃間ニ於ケル歩砲兵ノ益緊密ナル協同ヲ以テス換言スレハ歩兵ハ砲兵ノ準備射擊稍十分ナラサル所アルモ適切ナル直接砲火ノ援助ニ依リ突撃ヲ遂行セムトスルニ至リシモノナリ

五 然ルニ千九百十七年四月十六日ヨリ「ソアツソン」、「ランス」間ニ實施セシ佛軍ノ總攻撃ハ豫期ノ效果ヲ齎スコトナク莫大ナル損害ヲ受ケテ失敗ニ終リタリ此ノ結果トシテ次期會戰ニ及ホスヘキ攻

擊要領ノ變化果シテ如何ナルヘキカ他日資料ヲ得ハ更ニ調査シテ紹介スル所アルヘシ

第二篇 一般ノ要領

第一章 要則

一般會戰ノ目的ハ堅固ニ編成セル敵ノ防禦地帯ヲ廣正面ニ於テ突破シテ直接攻撃セサル他ノ正面ニ殘存スル敵ヲ擊破シ若ハ其ノ退却ヲ餘儀ナクセシムル如ク戰果ヲ擴張進展セシムルニアリ

此ノ防禦地帯中第一、第二陣地帯ハ作業全ク完成シアルモ（編者曰ク堅固ノ度ハ第二陣地帯ハ第一陣地帯ニ比シ遙ニ劣ルモノナリ）其ノ後方第三陣地帯以下ニ在リテハ未完成ノ實況ニ在ルヲ一般トス然レトモ此等ノ陣地帯ト雖會戰間ニ於テ有ラユル手段ヲ以テ完備セラレヘキハ勿論ニシテ即チ増設加工ノ諸作業ハ固ヨリ新線ノ築設ヲモ企圖セラレモノト豫期シアルヲ要ス從テ眞面目ニ開始セラレタル攻勢會戰モ實施ニ多クノ時日ヲ費ストキハ逐次ニ堅固ナル敵ノ陣地帯ニ衝突スルコトトナリ會戰ハ唯兵員ノ殺傷競爭トナルヘキコト蓋シ必然ノ勢ナルヘシ

故ニ本作戰ハ其ノ經過スヘキ遠キ將來ニ迄亘リテ成シ得ル限り完全ニ準備セラレ其ノ實行ハ迅速ニシテ勇敢機敏ナルヘク敵カ精神上物質上並體力上ノ瓦解ニヨリ全ク抗戦力ヲ壞滅スルニ至ル迄連續強行セサルヘカラス從テ此ノ攻撃間終始攻撃能力ヲ減退セシムルコトナク又機ヲ逸セス敵ノ弱點ニ乘シテ其ノ進歩ヲ企圖スヘキハ作戰指導上特ニ願慮セサルヘカラサル要件ナリ



此ノ根本要義ヨリシテ敵ノ防禦力破壊ニ獨特ノ威力ヲ有スル砲兵ハ實ニ其ノ絕對的必要ヲ認ムルモノニシテ其ノ參加ハ多々益可トスヘク之ニ反シ突撃ニ任スル消耗シ易キ歩兵ニ在リテハ直接敵陣地ノ攻路上必要ナル最少限ニ制限シ以テ連續スル作戰間兵力ノ不足ヲ來タササル如ク節約セサルヘカラス然レトモ此ノ攻撃ノ實施間ニ於テ乘スヘキ好機ヲ獲得シ之ニ依リ戰果ヲ擴張シ得ルニ際シテハ斷乎トシテ其ノ兵力ヲ部署スヘキコト勿論ナリ

既往ノ實驗ニ徴スルニ砲兵ニ依ル破壊ノ實效顯著ナリシ部分ハ歩兵ノ進撃容易ニシテ寡少ノ損害ヲ以テ之ヲ攻路スルヲ得タリ故ニ砲兵ニ依リ準備射撃セラルル敵陣地ノ縱深ハ歩兵カ必ス奪取スヘキ最少限ノ攻撃目標トシテ附與スヘキ地域ヲ定ムルモノニシテ其ノ縱深ハ二乃至四吉米ヲ通常トス爾後歩兵ハ當面ノ敵情ニ應シ利用シ得ヘキ好機ヲ逸スルコトナク戰果ノ擴張ニ努力シ砲兵ハ全力ヲ盡シテ之ヲ援助スヘク攻撃遂ニ阻止セラルルニ至ルヤ茲ニ再ヒ攻撃準備ヲ整ヘ成ルル速ニ次期ノ攻撃ヲ開始シ前述ノ要領ニ依リ戰鬪ノ進展ヲ企圖シ遂ニハ廣正面ニ亘リテ全陣地帯ヲ突破シ兩側ナル敵ノ側背ニ迫リテ其ノ陣地ヲ崩壞セシメ猛烈ニ追撃ヲ斯クテ戰況ヲ運動戰ニ導キ速ニ交戦ノ目的ヲ達成スヘキモノナリ

編者曰ク 千九百十五年ニ於ケル攻撃ノ實驗ハ佛軍ノ攻勢會戰指導上一ノ新傾向ヲ生セシメタリ即チ砲兵ノ破壊セサル陣地ハ歩兵ハ絕對ニ攻路スルコトヲ得ス從テ砲兵ノ破壊セル地域ハ歩兵ノ攻路スヘキ地域ナリ又會戰ハ一舉ニ遂行スルコト能ハス必ス順序正シク整然ト指導セラルルヲ要ス故ニ砲兵ノ完全ニ破壊シ得ル敵陣地地域即チ通常其ノ一陣地帯ノ攻路ハ一攻撃期ヲ盡スルモノニシテ會戰ハ此ノ各期毎ノ完全ナル準備ト歩兵攻撃ノ逐次ノ反復ニヨリ遂ニ其ノ目的ヲ達スルニ至ルモノトナスコト是ナリ此ノ趨勢ハ「ヴェルダン」ニ於ケル獨軍強襲ノ失敗ニ依リ益確實ナルモノトセラレ「ソナム」會戰ニ於テ極端ニ遵守セラレタリ「フオッシュ」將軍ハ同會戰準備ノ爲發布セル「攻勢會戰」ニ述ヘテ曰ク

「攻勢會戰ハ順序正シク且完全無缺ナル理想的方法ニ依リ指導セラルヘキモノナリ  
既往ノ實驗ニ依ルニ砲兵ノ破壊局部的ナルカ或ハ不充分ナル敵陣地ニ於テハ歩兵ノ進撃ハ全然阻止セラレ其ノ後ニ於ケル指揮並努力ノ如何ニ拘ラス歩兵攻撃ハ大損害ヲ以テ全ク不成功ニ終レリ換言スレハ無規ナル防禦力ニ對シテハ攻者ノ如何ナル企圖ト雖何等ノ價值ヲ齎スコトナク殆ト敵陣地ニ對シ指ヲモ染ムル能ハサルモノナルコトヲ證セリ實ニ砲兵ニ依リテ行ハルル攻撃準備ノ如何ハ歩兵攻撃ノ成否並其ノ奏功ノ程度ヲ事前ニトスルニ足ルモノナリ故ニ砲兵ニヨリ準備射撃セラルル敵陣地ノ縱深ハ即チ歩兵ノ攻路スヘキ目標トシテ附與セラルヘキ地域ヲ定ムルモノニシテ其ノ縱深ハ二、三或ハ四吉米ニ過キサルヲ通常トス即チ攻勢會戰ハ我カ砲兵カ破壊シ得ル敵陣地ノ某地域ヲ逐次ニ攻路スル連續攻撃ニ依リ成立スルモノニシテ此ノ各期ニ於ケル攻路地域ハ通常敵ノ陣地帯間ノ距離ト一致ス斯クテ攻勢會戰毎期ノ攻撃ハ敵ノ一陣地帯宛ノ攻路ヲ企圖スルニ至ルヲ一般ト



右ハ以テ會戰指導砲兵用法ニ稍極端ナルモノアルヲ窺フヲ得ヘシ而シテ其ノ「ソナム」會戰ノ結果ハ果シテ如何、攻撃能力ヲ殆ト砲兵ニ讓リタル歩兵ハ一般ニ陣地攻略ノ萬全ヲ期シテ攻撃正面ヲ狭ク攻撃目標ヲ近ク選定セリ而シテ目標ニ到達スルヤ好機ヲ看破シ奮テ戰果ノ擴張ニ努力スルコトナク整然タル攻撃指導ニ藉口シテ當面ノ敵情如何ニ拘ラス無爲ニ停止シ後方師團ト交代セムトスル消極的傾向ヲ惹起セリ又一方整然タル逐次ノ統一攻撃ハ各期攻撃間ノ死節時ヲ甚ク長カラシメ斯クテ敵ヲシテ新陣地ヲ占領シ隊勢ヲ整ヘ其ノ増援隊ヲ招致スルノ自由ヲ得セシメタリ是新攻撃ノ爲ニ第一線部隊類次ノ交代ヲ實施シ其ノ準備射撃ヲ完全ニシ且全正面ニ亘リ攻撃準備ノ完成ヲ待チシ結果ニ基因セルコト察スルニ難カラサルヘシ

佛軍ハ斯ノ如クシテ多大ノ日子ヲ費シ莫大ナル損害ヲ拂ヒ遂ニハ其ノ數陣地帯ヲ奪取シ得タルモ獨軍陣地帯ノ數線ハ依然トシテ佛軍ノ前進ヲ阻止シ其ノ防禦兵力ハ逐次ニ増加セリ是ニ於テ戰闘ハ徒ニ彼我兵力ノ消耗トナリ何等徹底セル效果ヲ齎スコトナクシテ已ミヌ

抑精神氣力ヲ輕視シ指揮官ノ戰術的能力ヲ掣肘シ運用ノ妙ヲ缺ケル機械的戰闘指導ヲ以テシテ何ソ赫々タル終局ノ戰勝ヲ獲得スルヲ得ムヤ

## 第二章 統帥ノ要領

攻勢會戰ニ參加スル一軍中ニ於テ軍團ハ一定地域ノ攻撃ヲ準備シ且之ヲ遂行シ得ルモノトス即チ軍團ハ攻撃單位ニシテ其ノ有スル諸戰闘能力ニヨリ強大ナル活動力ヲ發揮シ且某期間此ノ活動力ヲ維持シ得ルモノナリ

師團ハ戰闘單位ニシテ軍團長ノ策定セル作戰計畫ニ基キ第一線又ハ第二線ニ配置セラレ諸兵種ヲ連合シテ一戰闘ヲ終始スルモノナリ

歩兵ハ敵ヲ攻撃シ土地ヲ奪取シ之ヲ編成シ確保スト雖砲兵ノ協力ナクシテ攻勢的ニ活動スルヲ得ス

砲兵ハ歩兵ノ前進ヲ阻止スル總テノ障礙ヲ破壊シ其ノ進路ヲ開クモノニシテ次テ火力ヲ以テ歩兵ヲ誘導シ歩兵ノ停止スルヤ奪取セル土地ノ確保ニ協力ス

騎兵ハ戰果ヲ擴大スルヲ以テ主要ナル任務トシ尙連絡及偵察勤務ノ一部ヲ擔任シテ指揮官ニ情報ヲ提供ス

工兵ハ交通ヲ改善シ若干ノ特別作業ヲ實施ス

陣地攻撃ニ於ケル軍司令官、軍團長及師團長ノ職務ヲ述ブレハ左ノ如シ

軍司令官ハ其ノ受ケタル命令ノ範圍内ニ於テ一般ノ作戰計畫ヲ定ム即チ豫想スル作戰ノ發展スヘキ各期、團隊ノ配屬及實行スヘキ一般作業ヲ決定スルコト是ナリ

軍團長ハ要スレハ必要ノ軍隊ヲ戰線ニ配置シ其ノ參謀部及砲工兵司令官ト共ニ情況ヲ講究シタル後其



ノ軍團ノ作戰計畫ヲ定ム即チ一般攻撃ノ方法、第一線師團ノ達スヘキ目的、第二線師團ノ任務、各種作業ノ分配及砲兵ノ戰闘計畫ヲ決定スルコト是ナリ

師團長ハ自己及其ノ部下偵察ノ結果ニ基キ其ノ師團ノ作戰計畫及部下砲兵ノ戰闘計畫ヲ定ム又軍ノ一般作業計畫ニ基キ作成セラレタル軍團作業命令ノ範圍内ニ於テ攻撃地區整備作業ノ決定的計畫ヲ策定ス而シテ其ノ後最終ノ時期ニ於テ師團長ハ其ノ攻撃命令ヲ以テ總テノ戰闘實行方法ヲ定ムルモノナリ

### 第三章 會戰ノ區分

攻勢會戰ノ行動ハ左ノ二期ニ推移發展ス

一 突破戰 突破戰ハ敵ノ數線陣地ヲ突破スル戰闘ニシテ砲兵ニ依リ有效ニ射撃セララル敵陣地ノ總體ニ對シ嚴密ニ準備セラレタル第一突撃ノ實行及之ニ繼續スル戰闘並此ノ戰闘ヲ以テ一舉ニ奪取スルコトヲ得サリシ新陣地ニ對スル準備及突撃ヨリ成ルヲ一般トス故ニ尙之ヲ各期ニ區分スルヲ得ヘシ

二 突破ノ進展 敵防禦設備ノ突破奏功ニ直續シ不屈不撓ノ勇氣ヲ以テ大膽ニ敢行スヘキ進撃ニシテ之ニ依リ敵線ノ全部ヲ崩壊シ敵ノ兵力ヲ擊破シ以テ攻勢會戰ノ目的ヲ完全ニ達成スルモノナリ

突破戰並其ノ進展ハ各級指揮官ノ策定セル作戰計畫ニ依リ行ハルヘシ而シテ此ノ計畫ハ特ニ熱烈ナル機動心ヨリ由來スル所ノモノタラサルヘカラス

編者曰ク 計畫ニ充分ナル機動的餘地ヲ存シ且此ノ行動ヲ獎勵スルヲ意味スルナラム

突破戰各期攻撃ノ準備ニ於テハ常ニ敵ノ防禦設備ヲ努メテ完全ニ破壊スヘシ之カ爲砲兵ハ極度ニ使用スヘク直接陣地ノ攻略ニ任スル歩兵ノ兵力ハ必要缺クヘカラサル程度ニ止ムルヲ要ス

逐次ニ實施スヘキ各期攻撃ノ要領左ノ如シ

#### 第一期攻撃

一 必要ナル全砲兵ヲ以テスル敵陣地ノ破壊射撃

二 敵陣地奪取ニ必要缺クヘカラサル歩兵部隊ノ攻撃目標ニ向フ進撃 攻撃前又ハ攻撃實施間ニ於テ砲兵ニ依リ正確ニ破壊セラレタル敵陣地ヲ砲火ニ直續シツツ連續スル突撃ヲ以テ奪取スルモノニシテ攻撃部隊ノ指揮官ハ全力ヲ盡シテ此ノ戰闘ヲ指導スヘキモノトス此ノ際砲兵カ確實ニ破壊スルヲ得サリシ敵陣地ヲ偵察シ且之ニ對シ破壊射撃ヲ行フ爲適切ナル地上觀測所ヲ占領スルコトハ攻撃歩兵部隊長ノ特ニ留意セサルヘカラサル所ナリ

三 攻撃目標ヲ超越シテ行フ戰果ノ擴張 各級指揮官ノ戰術的判斷ニ基キ好機ヲ逸セス斷然兵力ヲ部署シ其ノ攻撃ヲ目標タル敵陣地ノ後方地帯ニ發展セシメ頑強ナル敵ノ新抵抗線ニ會スル迄突進シ茲ニ攻勢的ニ占領地帯ヲ編成シ之ヲ確保ス此ノ際敵ノ抗戰ニ依リ齋頭ニ攻撃ヲ進捗セシメ得サリシ局部ハ發展セシ部隊ノ行フ包圍的攻撃ニ依リ之ヲ奪取ス



第二期攻撃

- 一 砲兵(其ノ幾分ハ前方ニ陣地ヲ變換ス)ノ新陣地ニ對スル準備射撃
- 二 新陣地奪取ニ必要ナル歩兵部隊ノ突撃
- 三 以上ノ戰果ヲ擴張シテ全陣地帯ヲ突破ス已ムヲ得サレバ占領地帯ヲ編成維持シ更ニ次期ノ攻撃ニ依リ突破ヲ企圖ス

以上各期ノ攻撃ハ敵陣地ノ強度並敵守兵ノ現況ニ伴ヒ適切周到ナル準備ヲ以テ開始セラルヘク其ノ實行ニハ特ニ各攻撃部隊長ノ果敢ナル決心ニ基ク機會ニ投スル戰果ノ擴張ヲ必要トス而シテ第二期攻撃以後ニ於テハ準備時期ヲ成シ得ル限リ減縮シ強テ全正面ニ亘リ攻撃ヲ統一スルコトナク乘スベキ機會ヲ發見セハ直ニ之ヲ利用シテ攻撃ヲ決行スルヲ要ス

第四章 敵陣地帯ノ強度並之ニ對スル攻撃指導要領

第一陣地帯ハ最堅固ナリ

長時日ヲ費シ堅固ニ編成セラレ適切ナル交通壕ニ依リ連絡セラレタル多數ノ散兵壕ト支撐點トヲ有シ指揮ノ執行ヲ迅速且確實ナラシムヘキ完全ナル通信設備アリ而シテ本陣地帯防禦ノ爲歩砲兵ノ配置常ニ整然タリ

第二陣地帯ハ比較的堅固ナラス

一般ニ散兵壕ノ二線ヨリ成リ頑強ナル抗戰ヲナスニ必要ナル歩砲兵固有ノ守兵ハ配置スルコトナシ(敵砲兵ノ大部ハ第二陣地帯ノ前方ニ在リ)此ノ陣地ノ守備ハ情況之ヲ要スルトキ増援隊ノ來著、新砲兵ノ配置、通信ノ設備、臨時數線散兵壕ノ増築等ニ依リ完備セラレ堅固トナルモノナレハ第一陣地帯ノ奪取ニ直續シ敵敵ニ追躡シテ本陣地帯内ニ戰果ヲ擴張シ得ルコトアルモノナリ

第三、第四陣地帯等ハ長時日ヲ費セル編成上ノ強度ヲ有スルコトナク敵ノ攻撃ヲ豫期スルトキ豫備部隊ノ招致ニ依リ臨時ニ加工セラルモノナリ故ニ之ニ對スル攻撃指導ハ其ノ準備ヲ完全ナラシムルヨリモ寧ロ迅速ニ開始スルコト必要ニシテ且有利ナリトス

是ヲ以テ第一陣地帯ノ奪取ハ最困難ニシテ之ヲ準備ニハ長時日ヲ要ス其ノ後ニ於ケル各期攻撃ノ爲ノ砲兵準備ハ單ニ敵陣地堅固ノ度ヨリ謂ベバ比較的容易ナルヘキ筈ナルモ砲兵ヲ推進セサルヘカテサル困難アルノミナラス最速ニ攻撃ヲ開始セサルヘカラス故ニ攻撃ハ益困難ノ度ヲ加フルニ至ル即チ會戰一度開始セラルルヤ戰鬪ハ間斷ナク續行セラルルヲ要シ之ヲ爲歩兵ハ豫期セル敵陣地ノ攻略ニ直續シテ戰果ノ擴張ニ努力シ頑強ナル新抵抗線ニ會セハ攻撃準備ヲ迅速ナラシムル爲機ヲ失セス必要ナル砲兵ヲ隨伴セザルヘカラサルモノナリ斯ノ如キハ其ノ實施最困難ナルモ會戰目的ノ達成上萬難ヲ排シテ努力セザルベカラサル所ノモノトス

第五章 攻撃指導上ノ要件

多數砲兵ノ使用ニ依リ敵ノ防禦力ヲ破壊スルハ攻撃ヲ經濟的ニ成功セシムル要素ナルヲ以テ此ノ目的ヨ



リスルモ軍各期ノ攻撃正面ハ廣キ範圍ニ導カルルヲ要ス是十分ナル砲兵ノ展開ヲ許スト共ニ砲兵火最大威力ノ發揚ヲ確實ナラシムル爲砲兵陣地ヲ直線ニ配置シ或ハ十字火ヲ施シ得ル如ク包圍線狀ニ配置スルノ自由ヲモ得セシメムカ爲ナリ

砲兵カ破壊準備ヲ完了セル地帯ハ歩兵一擧ノ努力ニヨリ必ス之ヲ占領シ尙其ノ戰果ヲ擴張シテ守兵ヲ殲滅シ竝全砲兵ヲ強奪セサルベカラス

歩兵ヲシテ此ノ攻撃目的ヲ確實ニ達成セシメム爲ニハ尙突擊實施間ニ機ヲ失セス行ハルル砲兵ノ協同ニ待ツモノ多シ

突擊ノ開始前ニ於テ其ノ戰闘行動ヲ先見シ機至ルヤ一意邁進スルニヨリテ其ノ實行ヲ確實ナラシメ得ル如ク準備スルハ攻撃目的ノ達成ニ協フ唯一ノ要件ナリトス

敵ノ堅固ナル小支隊點ニシテ即時ニ奪取スルヲ緊要トセス且之ヲ孤立セシムルトキハ遂ニ陥落スルニ至ラシメ得ルモノハ單ニ包圍スルニ止メ一般攻撃ハ之ヲ顧ミルコトナク進歩セシムルヲ可トスルコトアリ  
攻撃當初ニ於テ攻撃正面上ニ行フ砲兵ノ準備射撃ニ於テモ歩兵攻撃ノ進歩ヲ齊一ナラシムル爲必スシモ平等ナル破壊實施ヲ必要トセス戰闘ノ發展容易ナルヘキ地區ニ對シ猛烈ナル砲火ノ威力ヲ集中スルハ戰闘指導上緊要ナル一要件ナリ現時諸軍ニ有スル多大ナル諸機關ヲ適切ニ運用シ會戰ノ要求スル適任ニ就カシメ陣地攻撃間諸能力ヲ調和シ且之ヲ極大ニ發揮セシムルハ重大ナル作業ナリ之カ爲ニハ諸機關ノ編

組ニ多大ノ考慮ヲ拂ハサルヘカラス

之ヲ要スルニ陣地攻撃ハ先ツ防者ニ對シ絕對ニ戰闘能力ノ優越ヲ占メ且之ヲ維持シ以テ敵カ抗戰能力ノ增加手段(豫備部隊ノ招致、陣地ノ加工)ヲ講スルノ可能カヲ絶ニス禁遏スルニアラサレハ終局ノ奏功ヲ期スルヲ得ス之カ爲ニハ兵力ノ優勢ニ加フルニ攻撃ノ迅速ナル指導ヲ以テスヘシ即チ短時日ニ整々且強力ナル攻撃力ヲ部署シ戰闘ヲ急襲的ニ指導シ以テ遲滯ナク逐次後方ノ陣地帯ニ逼迫スルノ一法アルノミ

第六章 攻撃ノ區分

各期ノ攻撃ハ之ヲ次ノ二時期ニ分ツコトヲ得

準備時期

實行時期

現今ノ會戰ニ於テ準備ハ作戰ノ指導並實施中最重要ナルモノトナレリ此ノ準備時期ハ又左ノ二時期ニ區分スルコトヲ得ヘシ

第一時期

此ノ期ニ於ケル準備作業ハ攻撃ニ參加スヘキ部隊ヲ攻撃地區ニ導クコトヲ以テ以前ヨリ位置スル軍隊ニ依リ敵ノ注意ヲ惹カシテ實行スルモノナリ此ノ準備トシテ數フヘキハ偵察、作戰計畫ノ策定、土地一般ノ編成、後方機關及若干重砲兵陣地ノ配置ニシテ偵察並計畫ノ外ハ軍司令官ノ行フヘキ作



戰準備施設ヲ其ノ主ナルモノトス

## 第二時期

本時期ニ於ケル準備ハ攻撃部隊カ確定セル配置ヲ取ル爲攻撃地區ニ入ル時期ヨリ著手スルモノトシテ軍團長以下ノ行フヘキ攻撃地區整備作業ヲ主ナルモノトス

攻撃ニ任スル部隊ヲ最速ク陣地ニ就カシムル爲第一準備時期ニ於ケル作業ノ範圍ヲ擴張シ此ノ時期ニ於テ成ルヘク多ク準備ヲ遂行スルハ敵ニ我カ企圖ヲ秘匿スル爲頗ル有利ナルモノトス

編者曰ク本節ハ大部隊ノ陣地攻撃ニ於ケル佛軍統帥法ノ記スル所ニシテ現在ノ部隊ヲ以テ行ヒ得ル準備ハ總テ第一時期ニ於テ實施シ以テ第二時期ノ時日ヲ短少ナラシメムトスルニアルコト明ナリ然レトモ佛軍ハ軍、軍團又ハ師團ニ就テ其ノ各時期準備ニ屬スル作業ノ種類ヲ明瞭ニ區分スルコトナシ是固ヨリ當時ノ情況ト大ナル關係ヲ有シ豫メ一定スルヲ得ナル爲ナラムモ少クモ師團以上ニ於ケル偵察及計畫ハ明ニ第一時期準備ニ屬シ攻撃地區整備作業ヲ第一時期ニ於テ如何ナル程度ニ實施スヘキヤハ全ク情況ニ關スルモノトナスモノノ如シ後章準備事項ニ於テ其ノ實施スヘキ時期ヲ明示セサルハ以上ノ關係ニヨリ判然區別シ得サル結果ナリ

## 第七章 準備

### 第一節 一般要則

攻勢會戰ハ廣大ナル敵陣地地域ニ亘リ指導セラルルモノナレハ決シテ準備ナクシテ行ハレ得ルモノニアラス必ス綿密ナル準備及編成ヲ要ス此ノ準備及編成ニハ如何ナル情況ヲモ決シテ偶然ノ結果ニ俟ツコトナク既ニ其ノ攻撃開始前ニ於テ將來ノ戰況ヲ遠觀シ遂行上必要ナル總テノ處置ヲ遺漏ナク準備シ且甚大ナル注意ヲ以テ其ノ秘密ヲ維持スヘキコトヲ最緊要ナル條件トナス

作戰準備ノ目的ハ神速ニシテ秩序アリ且連續スル攻撃ノ實施ヲ確實ナラシムルニアリ

### 第二節 作戰計畫

#### 第一款 要則

作戰計畫ニハ指揮官ハ躍如タル機動心ヲ明示セサルヘカラス敵ヲ戰場ヨリ驅逐セム爲ニハ之ニ回踵反戈ノ時ヲ得セシメサル如ク神速ニ其ノ内部ニ侵襲スルヲ要ス然ルトキハ攻者ハ守者カ未タ後方陣地帯ニ配備ヲ爲ササル以前ニ於テ之ニ到達シ得ル有利ナル公算ヲ有スルヲ一般トス故ニ攻撃ノ成功ハ勢力ト速力トヲ以テ強制スヘキモノニシテ此ノ目的ノ爲ニ大ナル正面ニ等濟ナル攻撃ヲ行フハ反テ勢力ノ集中ヲ缺キ從テ連續攻撃ノ速力ヲ遲緩セシムルニ至ルモノナリ

砲兵ノ協力ニ便ニシテ歩兵ノ戰鬪行動比較的容易ナルヘキ地區ハ攻撃ノ進捗急速ナルヘシ斯ノ如キ地區ニハ最強大ナル兵力ヲ部署スヘシ

作戰目標ノ方向内ニテ敵カ其ノ抵抗線ヲ再建スルナラムト判斷セラルル諸地線或ハ我カ攻撃運動ヲ連續



スル爲緊要ナル諸發起線ハ各期ノ攻撃目標トシテ選定スヘキモノナリ

一旦敵線ヲ突破スルヤ之ニ隣接スル敵翼ヲ包圍シツツ當初ノ攻撃正面ヲ擴張シ以テ急速ニ效果ヲ發展セシメ敵防禦力ノ壊滅ニ努力スヘシ

以上ハ即チ作戰計畫ノ立案ニ當リ準規トナスヘキ根本ノ主義ナリトス

第二款 一般攻撃部署

攻撃ノ部署ハ突破戰ノ指導及效果ノ擴張進展ヲ目的トシテ定ム突破戰ハ順序正シキ總攻撃ノ一系ヲ包含スルモノニシテ次ノ如ク實施スヘシ

- 一 廣ク且連續スル正面ニ指導スルコト
  - 二 敵ノ砲兵奪取ヲ強行スルコト
  - 三 引續キ最急速ニ累次攻撃ハ遂行ヲ可能ナラシムルコト
- 戰果ノ擴張進展ニ關シテハ後章ニ詳説ス
- 兵力區分ハ次ノ要旨ヲ願慮シ決定スヘシ
- 一 攻撃ヲ神速ニ導クコト
  - 二 攻撃ヲ連續導キ得ルコト
  - 三 攻撃後決定的效果ヲ獲得シ且之ヲ發展スル爲常ニ緊急ノ要義タル軍隊團結ノ維持ヲ完フシ且戰況

ノ進捗ニ秩序正シキ經過ヲ遂フ如クスルコト

大團隊即チ軍團、師團等ノ攻撃正面ハ其ノ團隊ノ任務如何ニ關ス四師團ヨリ成ル一攻撃軍團ハ通常二師團ヲ第一線ニ、二師團ヲ豫備トスヘシ而シテ師團第一線ノ兵力ハ絶對必要ノ最少限度ニ止ムヘシ

- 軍團及師團ニ於ケル斯ノ如キ兵力區分ハ次ノ要義ニ適フ豫備隊ヲ掌握シ指揮ノ執行ニ資スルニアリ
- 一 急速且連續スル戰闘指導
  - 二 新銳團隊投機ノ加入ニヨリ突撃效果ノ發展ヲ遺憾ナカラシメ遂ニハ敵ノ防禦設備内ニ生シタル突破口ヲ擴張スル爲ノ機動力ニ資ス
  - 三 敵ノ恢復攻撃ニ對ス
  - 四 交代ヲ緊急必要トスル既戰闘團隊ニ代ハル
- 軍司令官モ亦軍團又ハ師團、騎兵軍團又ハ同師團ヲ豫備トシテ直轄シ以テ戰果進展ノ爲會戰間投機ノ運用ニ資スヘシ

第三款 各團隊ノ攻撃部署

攻撃ニ任スル各團隊ハ戰場現地ノ研究並目標偵察ノ結果ニ依リ攻撃部署ヲ決定シ左ノ計畫ヲ策定ス

- 一 作戰計畫
- 二 砲兵戰闘計畫

第二篇 一般ノ要領



三 攻撃效果ノ擴張並進展

四 連絡計畫(本月報第十七號千九百十五年十二月  
佛軍連絡ニ關スル教令参照)

第三節 現地研究及目標ノ偵察

攻撃ニ參與スヘキ大團隊ノ指揮官並其ノ幕僚、各兵種ノ團隊長ハ各別ニ又協同シテ詳細、模型圖(起狀現像圖)、寫真等ニ依リ攻撃地帯ノ地形ヲ研究シ又現地ノ偵察ヲナササルヘカラス  
以上ノ研究並偵察ハ大ニシテハ重疊セル敵陣地線ノ一般判斷ヨリ小ハ塹壕ノ諸線、側防諸機關、觀測所、掩蔽部等ヲ標定シ且恢復攻撃部隊ノ發起點タルヘキ其ノ集屯所、陣地内部ニ於ケル豫備隊ノ位置及補充ノ爲ノ通路、敵線ノ後方ニ於ケル各種集積倉庫、宿營地並敵ノ使用スル道路、鐵道等ヲ判定シ得ルニ至ルモノトス

第四節 現地ニ施スヘキ準備

作戰計畫決定スルヤ其ノ實施ヲ確實ナラシムヘキ準備ヲ要ス即チ各機關ヲシテ其ノ最大能力ヲ發揮セシメ得ル如ク準備施設ヲ完了シ正確ニ其ノ位置ニ就カシメサルヘカラス之カ爲軍司令官ハ攻撃地區ノ後方ニ軍隊及資材ヲ集中シ且其ノ運動並補給ニ必要ナル交通諸設備ヲ整備スルヲ要ス(作戰準備施設)

一 歩兵ノ爲攻撃地區整備作業

二 砲兵ノ爲攻撃地區整備作業

三 指揮官ノ爲必要ナル施設

一 連絡計畫ニ準據シ其ノ逐次ノ司令部、監視所並此等ニ對スル各種通信ノ設備ヲナス

四 作業ノ秘匿設備(假裝作業)

作戰機密ノ秘匿ハ特ニ緊要ナリ故ニ攻撃ノ爲ノ現地準備ニ當リテハ特ニ假裝法ノ廣キ應用、談話及通信止ノ嚴格ナル禁制並點檢ヲナスハ勿論其ノ他百般ノ手段ヲ講シテ之カ秘匿ヲ確保セサルヘカラス此ノ機密確保ハ作戰準備ヲ擔任スル指揮官ノ一大責任ナリ  
企圖ヲ秘匿スル爲大ニ準備作業ヲ節約スルコト屢アリ此ノ節約ハ急襲ノ利益ト相償フテ餘リアルモノトス然レトモ其ノ交通設備ノミハ作戰ノ急速進歩ニ大ナル關係アルヲ以テ常ニ遺憾ナキヲ要ス

第五節 軍隊ニ爲スヘキ準備

指揮官ハ軍隊ノ直接準備ニ關シテ次ノ諸點ニ著意シ深ク徹底セシムルヲ要ス

一 戰鬥教練ノ練熟、軍紀ノ養成

二 補給、衛生、休憩、給養

三 精神教育、成功ヲ確信スル信念ノ涵養

編者曰ク 陣地攻撃ノ要領ハ各會戰毎ニ變遷シ經驗ニ應シテ進歩ス然ルニ長大ナル戰線ノ守備ニ



服スル莫大ナル國軍ノ幹部及兵卒ニ對シ絶エヌ此ノ戰闘法ヲ教育シ演練セシムルハ不可能ナリ又  
情況特ニ地形ハ戰線ノ方面ニヨリ同一ナラサルヲ以テ攻撃要領ハ其ノ實施方面ニ伴ヒ多少ノ差異  
ヲ尠レサルヘシ加之現時ノ攻撃ハ將來ノ戰況ヲ洞察シ戰闘間發生スヘキ總テノ情況ヲ豫想シ秩序  
正シク實行スルヲ要スルニヨリ攻撃實行ニ先チ十分ノ演練ヲナスコト必要ナリ長時日ニ亘リ分  
散セル部隊ノ孤立的ナル精神ヲ糾合シ團結心ヲ養成スル爲ニモ亦此ノ際大團隊ノ演習ヲ行フ有  
利ナルモノアルヘキハ蓋シ察知スルニ難カラサルヘシ

第六節 攻撃準備

第一款 砲兵ノ行フ攻撃準備

此ノ時期ニ於ケル野砲、迫撃砲及重砲ハ最組織的ニシテ且正確ナル射撃ニ依リ次ノ如キ實果ヲ獲得セム  
コトニ努力ス  
一 攻撃前ニ於テ敵砲兵ヲ破壊ス破壊シ得サル砲兵ニ對シテハ攻撃開始後少クモ之ヲ制壓スヘキ準備  
ヲナス  
二 敵ノ防禦設備即チ散兵壕、障礙物、側防機關、掩蔽部、交通壕、觀測所ヲ破壊シ且既成ノ破壞效  
果ヲ維持シ守兵ノ志氣ヲ沮喪セシム  
三 敵ノ對戰行動ヲ妨害ス之カ爲敵線後方ノ諸要點ヲ射撃シ守兵ノ交代、增加隊ノ來著、糧食、材

料、彈藥ノ補給ヲ禁遏ス

敵野壕ノ總テニ對シ平等ニ破壞ヲ行フハ必要ナラス特ニ重要地點ノ破壞ニ努力スヘシ  
第一期ノ攻撃ニ於テ敵ノ砲兵線ヲ奪取シ其ノ火砲ヲ奪ヒ防禦ノ骨幹ヲ崩壊スルコトハ最有利ナリ之カ爲  
攻撃砲兵ノ陣地ハ成シ得ル限リ前方ニ進メ射撃ノ威力ヲ遠ク敵陣地ノ内部ニ及ホシ得ル如クスヘシ然ル  
トキハ歩兵ノ攻撃進歩ニ伴ヒ砲兵ハ其ノ火力ヲ以テ確實ナル隨伴ヲ現實シ得ルモノニシテ斯クテ此ノ目  
的ノ達成ヲ容易ナラシムルモノナリ

第二款 航空隊ノ行フ攻撃準備

航空隊ノ行フ攻撃準備左ノ如シ  
一 敵ノ空中機關ヲシテ我カ陣地ヲ偵察シ及監視スルコトヲ不可能ナラシムヘシ之カ爲ニハ先ツ戰場  
ニ在ル敵ノ全氣球、全飛行機ヲ全滅シ絕對的制空權ヲ獲得ニ努力ス  
二 砲兵ノ行フ攻撃準備ニ協同スル外殊ニ敵ノ行動並作業ニ關シ指揮官ニ情報ヲ提供ス（鐵道及道路  
ノ建設、地區ノ設備等）  
三 既知ノ彈藥庫、材料集積所、宿營地、司令部、停車場、卸下場等即チ我カ重砲ノ射程外ニ在リテ  
敵ノ痛痒ヲ感スヘキ總テノ要點ヲ組織的ニ攻撃ス

第三款 毒瓦斯ヲ以テ行フ攻撃準備

第二篇 一般ノ要領



威力ヲ以テスル攻撃準備ノ一手段トシテ毒瓦斯ヲ利用スルコトアリ其ノ詳細ハ本月報第二十號「歐洲戰ニ於ケル毒瓦斯用法」ヲ参照スヘシ

第八章 攻撃實行

攻撃奏功ノ要訣ハ各團隊正確ナル秩序ヲ維持シ迅速ナル攻撃ヲ連續シテ強行シ砲火ヲシテ間斷ナク歩兵ノ攻撃ニ隨伴セシムルニアリ

攻撃開始ノ直前ニ於テハ砲兵ハ歩兵直後ノ目標ニ對シ猛烈ナル砲火ヲ集中ス  
攻撃ハ全線齊一ナル歩兵ノ突撃ニ始マルモノニシテ友軍砲兵ハ極力之ヲ援助スルモノトス即チ突撃ニ任スル第一線大隊ハ數突撃波トナリ一舉ニ攻撃目標ニ向ヒ突進シ爾餘ノ攻撃部隊ハ近ク後方ニ續行シ之ヲ推進シ斯クテ攻撃目標ヲ奪取シタル後更ニ當面ノ敵情ニ乘スヘキ機會ヲ看破セハ速ニ攻撃ヲ再興シ以テ戰果ノ擴張ニ努力ス又砲兵ハ歩兵ト密接ナル連繫ノ下ニ砲火ヲ以テ其ノ突撃ヲ援助シ極力其ノ攻撃ノ發展ニ協力ス

高級指揮官ハ部下ノ獨斷ヲ獎勵シ第一線ニ近ク位置シテ其ノ戰鬪ヲ監視シ適切ニ情況ヲ判斷シ乘スヘキ機會ヲ看破シテ其ノ豫備隊ヲ増加シ以テ戰果ノ擴張ニ努メ尙絶ニス部下團隊ノ秩序ヲ維持シ各兵種間ノ連繫ヲ確保セシムルコトニ努力ス  
歩兵ハ所命ノ目標ヲ容易ニ奪取シ得ルト中途ニ於テ敵ニ支阻セラルルトト問ハス直ニ直前ナル敵線ヲ正

確ニ指揮官及砲兵ニ通報報告シ新準備ナルヤ機ヲ失セス攻撃ヲ再興シ得ル態勢ニ在ルヘシ

砲兵ハ當初ノ陣地ヨリ或ハ豫定計畫ニヨリ變換セル前方陣地ヨリ速ニ歩兵新目標ニ對シ攻撃準備射撃ヲ開始スヘシ

次テ前要領ニ依リ新目標ニ對スル攻撃ヲ反復スルモノニシテ斯ノ如クシテ遠距離ニ在ル目標ヲ短時期ニ攻略スル爲攻撃ハ常ニ廣正面上ニ連續指導スルヲ要スルモノナリ

歩兵敵ノ全陣地帯ヲ突破スルニ至レハ指揮官並軍隊ハ愈緊張セル努力ヲ以テ一層迅速ナル戰鬪ヲ進捗ニ全力ヲ傾注セサルヘカラス此ノ時ニ當リテハ威力大ナル攻撃材料ヲ使用セサルモ其ノ運動ハ容易トナルモノナリ是敵ノ抵抗地點ハ其ノ設備具ニ輕易ナルモノニシテ砲兵ノ如キモ臨時ニ配置セラレタル準備不完全ナルモノナルコト當然ナレハナリ

第九章 攻撃效果ノ發展

敵陣地ヲ限界シテ攻撃目標ヲ定メ戰鬪ヲ指導スルトキハ會戰ノ指揮ハ消極的トナリ其ノ活動ヲ害スルニ至ルモノナリ全攻撃ノ進捗ニ過誤ナキヲ期セム爲交戰ノ範圍ヲ豫定計畫内ニ制限セムカ其ノ結果ハ攻撃容易ニ奏功シ敵兵潰亂セル場合ニ於テモ豫定計畫外ノ擴張ヲ控制シ攻撃目標奪取ト共ニ突撃部隊ハ停止シ其ノ前方ニハ殆ト間斷ナキ砲煙幕ノ設置トナリテ一段落ヲ告グルニ至ルスノ如キ事實ハ敵ニ其ノ歩兵線ヲ編成シ之ヲ堅固ニシ其ノ砲兵ヲ再ヒ整置スルノ餘裕ト自由トヲ委スルモノニシテ換言スレハ敵ノ爲



ニ有利ナル行動ヲナスニ等シキモノナリ

編者曰ク 右ノ弊害ハ實ニ「ソナム」會戰ニ於テ佛軍ノ痛切ニ感シタル所ナリ  
抑佛軍ハ千九百十五年秋季ニ於ケル會戰ノ實験ニ基キ整然タル準備並實施ト統一セル指導トヲ以テ敵  
ノ一陣地帯宛ノ奪取ヲ企圖スルヲ陣地攻撃ノ本旨トナシ且此ノ各期間ニ必要ナル某時日ノ餘裕ヲ豫期  
シタルモノナルカ「ソナム」會戰ノ結果右ノ弊害ヲ認メタルヲ以テ爾後其ノ要領ヲ改變シ計畫ハ各期ニ  
區分スルモ準備ハ攻撃開始前ニ於テ努メテ將來ニ亘リ之ヲ洞察實施シ其ノ攻撃實行ハ攻撃目標ノ奪取  
ヲ以テ實施上ノ最小限トシ爾後情況ノ許ス限リ戰果ノ擴張ニ努力スルヲ本旨ト改メ前攻撃要領ノ缺點  
ヲ力説スルニ至リタルモノナリ是明ニ佛軍陣地攻撃指導上ノ一進歩ナリ「ソナム」會戰ニ於テ佛殖民第  
一軍團ハ其ノ第一期攻撃ノ成功甚ク迅速且完全ナリシヲ以テ軍團長ハ直ニ引續キ第二期攻撃ヲ續行セ  
シメムトシタルモ軍ハ之ヲ控制シテ許ササリキ思フニ秩序的指導ニ重キヲ置キ計畫ニ拘泥シタル結果  
ナルヘシ

千九百十六年十月末「ヴェルダン」ニ於ケル「ドオウモン」堡ノ恢復攻撃ハ二期ニ區分シ實施スル計畫ナ  
リシカ其ノ第一期攻撃案外容易ニ奏功シ且敵情中乘スヘキモノアルヲ直覺シタルヲ以テ臨場ノ總司令  
官始メ各級指揮官一致直ニ第二期攻撃ヲ續行シ一舉ニ全目的ヲ達成シタリ  
戰果ノ擴張ニ努力セムトスルモ其ノ根本ニ於ケル攻撃部署カ此ノ如ク迅速有效ナル實施ニ適セザルコト

アルヘシ又攻撃ノ奏功案外容易ナルニ驚クモ攻撃當初ニ於テ爾後ノ進捗ニ對シ十分ナル準備ト不拔ナル  
自信トヲ有セザルコトアルヘシ以上ノ如キ場合ニ於テハ直ニ好機ニ乘セムトスルモ固ヨリ不可能ナリ深  
ク戒メサルヘカラス

歩兵ハ攻撃目標ノ攻略ニ成功セシ直後ニ於テ其ノ前方ニハ志氣ノ沮喪セル僅少部隊ニ依リ點々占領セラ  
ルル輕微ナル防禦設備ノ外在セザルヲ發見スルコト屢ナリ斯ノ如キトキハ直ニ此ノ機會ニ投シ容易ニ  
戰勝ノ擴張ヲナスコトヲ得ヘシ即チ攻撃目標ハ必ス攻略スヘキ最小限ノ敵線ヲ示スモノニシテ攻撃部隊  
ハ之ヲ超過シ與ヘラレタル作戰目標ニ對シ連續シテ戰闘ヲ進捗セシメサルヘカラスナルモノナリ然ルニ實  
際ニ於テ攻撃部隊ハ此ノ奪取セル目標線上ニ一時停止ノ狀態ヲ現ハスコト尠カラス此ノ時期ニハ敵トノ  
觸接恢復、部隊ノ整頓、連絡ノ再編成、新銳部隊ノ來著等行ハルルモノニシテ此ノ諸件成ルヤ攻撃ハ直  
ニ再興セラレヘシ故ニ各級指揮官ハ各期攻撃毎ニ完全ナル奏功ヲ豫期シ爾後ノ進捗ニ對シ準備シアルコ  
ト必要ナリ而シテ其ノ戰勝ノ發展ニ關シテ單ニ果敢投機ノ意氣ノミナラス冒險的嗜好ヲ以テ之ニ臨マサ  
ルヘカラス實ニ大ナル成功ハ虎兇ヲ得ルノ嗜好ト虎穴ニ入ルノ冒險ヲ敢テスルトニヨリテノミ遂ケ得ラ  
ルルモノナレハナリ

戰果ノ發展ハ現戰況ニ基ク會戰ノ性質上之ヲ左ノ二段ニ分チ考フルヲ要ス

其一 敵線ヲ決定的ニ突破スヘキ連續攻撃間ニ行ハルルモノ即チ戰術上ノ發展(戰果ノ擴張)



其二 敵線突破ニ直續スル作戰トシテ行ハルルモノ即チ戰略上ノ發展或ハ追撃(突破ノ進展)

第十章 騎兵及航空隊

遂ニ敵線ヲ突破セハ軍團以上ニ屬スル騎兵ハ機ヲ失セテ突破口ヨリ進出シ其ノ卓越セル移動性ヲ利用シテ他兵種ノ獲得セル戰果ノ擴張ニ努メ大集團ヲ以テ敵線ノ後方ニ活動シ遂ニ陣地戰ヲシテ運動戰ニ變セシムル偉大ナル動機ヲ作成スルニ努ムヘキモノトス之カ爲騎兵ハ會戰間ニ於テ仔細ニ其ノ將來ノ行動ヲ判斷シ活動スヘキ方面ノ敵情地形及友軍ノ状態ヲ研究シ其ノ運動ヲ準備シ且機ヲ失セテ戰闘ニ參加スル爲戰闘部隊ト密接ナル連絡ヲ保持シアルヲ要ス  
歩兵攻撃開始前ニ於ケル航空隊ノ行動ハ「航空隊ノ行フヘキ攻撃準備」トシテ第八章第二節ニ概説セリ、歩兵攻撃ヲ開始セハ軍又ハ大軍ニ配屬セラレアル驅逐用飛行機集團ハ益空中權ヲ獲得ヲ確實ニシ其ノ保持ニ努メ或ハ直接戰闘部隊ニ協力シテ敵ヲ攻撃スヘシ  
軍團地區ニ屬セラレタル航空隊ハ指揮官及砲兵ノ爲觀察任務ニ從事シテ絶エズ適切有效ナル協力ヲ與フヘキモノトス

第十一章 括言

飛行機ハ常ニ集團シテ使用スルヲ有利トス而シテ飛行機ノ勇敢ナル行動ト空中權ノ獲得トハ直接其ノ任務ノ達成ヲ容易ナラシムルノミナラス間接ニハ友軍ノ志氣ヲ鼓舞スヘキ顯著ナル效果ヲ伴フモノナリ  
斯ノ如ク連續スル困難ナル攻撃ノ成功ハ實ニ實行者タル將卒ノ嚴肅ナル軍紀及旺盛ナル攻撃精神ニ基クモノナリ而シテ輕舉無謀ナル行動ハ常ニ必ズ失敗ニ終ルモノニシテ又徒ニ方式計畫ニ拘泥シ慎重ニ失スルトキハ戰機ヲ逸シテ其ノ實效ヲ誤ルニ至ル故ニ實行者ハ須ク攻撃開始前ニ於テ所命ノ戰闘任務並其ノ行動ヲ完全ニ理解シ十分之ニ熟練シ遺漏ナク準備シ然ル後堅確ナル決意ヲ以テ專心攻撃ニ從事スヘシ  
完全無缺ナル準備ト戰局ニ關スル識見  
攻撃ノ實行ヲ圓滑敏速且確實ナラシムヘキ適切ナル指揮系統ノ編成  
嚴正ナル軍紀

右ハ陣地攻撃ヲ成功ニ導ク爲最緊要ナル條件ナリ攻者ニシテ完全ニ之ヲ具有セハ勝利ノ重大要素タル戰士ノ勇氣ト交戰資材ノ能力トヲ遺憾ナク運用シ其ノ全能ヲ發揮セシメ得ルモノニシテ斯クテ赫々タル戰勝ヲ以テ攻撃最終ノ目的ヲ達成スルニ至ルヘキモノナリ

第三篇 準備

第一章 偵察

偵察ハ作戰計畫ノ基礎ナリ故ニ陣地攻撃ニ任スル軍司令官以下ハ其ノ作戰計畫ノ立案ニ資スル爲偵察ヲ行ヒ情報ヲ蒐集セサルヘカラス

- 一 軍 軍司令官ハ大軍司令官ノ一般作戰計畫ニ基キ地形及敵情ノ偵察ヲ行ヒ實施スヘキ行動ヲ決定



ス之カ爲軍司令官、參謀、軍砲工兵部長並諸勤務ノ長官ハ所要ノ偵察ヲ實施スルモノトス  
地形ヲ具體的ニ研究スルトギハ最成功ノ容易ナルヘキ地方、奏功困難ナルヘキ地方、防禦薄弱ナル  
地點及此等ノ諸點ヲ奪取シ得ル方法等ヲ發見スルモノニシテ斯クシテ軍團ニ附與スヘキ攻撃地帯及  
逐次ノ攻撃目標ヲ決定シ得ルニ至ルモノナリ

二 軍團 軍團長ハ偵察ニ先テ軍司令官ヨリ次ノ事項ヲ承知セサルヘカラス

任務(一般作戰目標及逐次ノ攻撃目標)

作戰地境

軍團長ノ隸下ニ入ルヘキ部隊及使用シ得ヘキ資料

偵察ハ軍團長、參謀及砲工兵部長之ヲ行フ其ノ要領ハ師團ノ部ニ示スモノニ同シ

偵察ノ目的ハ軍團ノ作戰行動ヲ決定スヘキ資料ヲ得ルニアリ故ニ先ツ現地ニ於ケル具體的ナル偵察  
ヲ行フ以前ニ於テ圖上ニ於テ一般敵陣地ノ觀察ヲ爲ササルヘカラス而シテ軍團ノ作戰行動ニ關スル  
確實ナル觀念ヲ得タル後始テ具體的偵察ヲ行ヒ其ノ實行方法ノ可能ニ就キ研究ス

三 師團 師團長ハ偵察實施ノ爲軍團長ヨリ次ノ事項ヲ指示セラルルヲ要ス

任務(攻撃目標、第二攻撃目標)

作戰地境

其ノ隸下ニ入ルヘキ部隊殊ニ重砲兵及迫撃砲ノ配屬

師團長ハ其ノ參謀部及砲兵隊長ト協力シ數回ニ分チテ敵陣地ノ偵察ヲ行フ次テ旅團長及聯隊長ハ自  
己ノ正面前ノ破壞ニ任スル砲兵隊長ヲ同行シテ攻撃擔任地區ヲ偵察ス此等偵察ノ手段左ノ如シ

地圖ニ依ル研究

壕内及砲兵觀測所ヨリノ觀察

參謀將校及砲、工兵將校ノ航空機及繫留氣球ヨリスル偵察

以上ノ外偵察ハ攻撃實行ノ直前迄斥候及壕内不斷ノ監視ニヨリ斷エス實行セシムヘキモノトス

敵陣地細部ノ編成並友軍ノ陣地ヲ精密ニ描寫セル地圖ハ各級指揮官作戰ノ計畫指導上最有利ニシテ緊要  
缺クヘカラサルモノナリ本圖ノ描畫ハ軍測圖課ノ任スル所ニシテ之ヲ印刷シテ關係各部隊ニ配布ス而シ  
テ配布後得タル新情報ハ正誤圖ヲ以テ改訂増補シ正誤多數トナレハ更ニ全部ノ改版ヲ行フ

本圖ニハ目標ノ指示並標定ヲ容易ナラシムル爲一定ノ方眼ヲ畫ス而シテ全軍ノ爲一ノ原點ヲ定メ此ノ原  
點ヲ基礎トシテ全戰場ニ亘リ一連ノ方眼番號ヲ附シ以テ各軍ニテ調製スル地圖ヲ統一ス

敵陣地諸編成ノ精確ナル位置ヲ決定スル爲ニハ左ノ手段ヲ採用ス

- 一 諸地點ヨリ認識シ得ル敵陣地ノ各部ヲ測量術ノ要領ニ依リ交會法ヲ以テ決定ス(軍測圖課)
- 二 捕虜ノ訊問及敵ヨリ得タル書類ニ依リ決定ス(軍、軍團、師團ノ第二課)
- 三 歩哨、監視哨、斥候ノ報告ニ依リ機關銃、迫撃砲、監視哨、障礙物等ノ位置ヲ決定ス(歩、工兵隊)



- 四 砲聲及火光ニ依リ敵砲兵陣地ヲ決定ス(特別標定班)
- 五 地上觀測手ノ報告ニ依ル(砲兵隊)
- 六 空中觀測ノ結果ニ依ル(航空隊)
- 七 空中寫眞ニ依ル(航空隊及軍測圖課)

以上ノ内空中寫眞ハ其ノ主ナルモノニシテ他ハ補助ノ手段ナリ

友軍ノ陣地モ亦空中寫眞ニ依リ決定シ描寫スルモノナルモ尙現地ヲ測量シテ之カ點檢ヲ行フモノトス

編者曰ク 本圖ノ效用ハ言フ俟タズシテ明ナルヘク其ノ調製並使用ハ本陣地戰ノ一特色トナスモノナリ

佛軍ハ目下三箇月毎ニ本圖ヲ改版シ其ノ印刷ハ主トシテ巴里ノ陸地測量部ニ行フト謂フ

第二章 作戰計畫

作戰計畫ハ攻撃ニ任スル各團隊ノ編組及之ニ課スヘキ任務ノ決定、此ノ團隊ニ必要ナル諸機關特ニ砲兵ノ配屬等ヲ定ムルヲ目的トス

第一節 大軍

大軍司令官ノ行フ一般作戰計畫ハ次ノ諸件ヨリ成立ス

- 一 豫期スル作戰並之方實施ニ任スル大軍ノ編組
- 二 隸下諸軍ノ爲ニ次ノ各要件決定

各軍ノ編成並其ノ任務

作戰地境

軍ニ配屬スヘキ砲兵、航空隊、軍ノ使用ニ供スヘキ諸種ノ資材、宿營地、廠舎等

- 三 成シ得レハ尙左ノ各項ヲ指示スヘシ

軍ノ編組内ニ入ルヘキ諸部隊ノ集中

其ノ攻撃地區ニ入ルヘキ時日

攻撃準備ヲ完了スヘキ時日

第二節 軍

軍ノ作戰計畫ハ其ノ受クル所ノ任務、敵情地形及採用スル攻撃方法ニ關ス

各軍司令官ハ大軍司令官ノ一般作戰計畫、圖上ノ研究及現地ノ偵察ニ基キ軍ノ作戰計畫ヲ立案ス

軍ノ作戰計畫ハ大軍司令官ノ認可ヲ得タル後確定スルモノニシテ本案ニ計畫ズヘキ事項左ノ如シ

- 一 大軍内ニ於ケル軍作戰ノ目的及性質
- 二 隸下各軍團ノ爲ニ次ノ各項ノ規定

作戰地境

軍團ノ任務及作戰目標



第一期攻撃ノ爲ノ指示(砲兵ノ射撃地區、歩兵ノ攻路スヘキ目標及戰果ノ擴張ヲ豫期スル地域、隣軍團トノ連絡等)

軍團ニ配屬スル砲兵

軍砲兵ノ用法

軍團及軍直屬部隊ノ使用ニ供スヘキ諸種ノ資材、宿營地、道路、鐵道、水利、飲料水等

軍作戦地境內ニ軍隊及諸資材ノ到着スヘキ順序

軍司令官ハ大軍司令官ヨリ與ヘラレタル命令ノ範圍內ニテ左ノコトヲ決定ス

長射程砲兵ニ指定スヘキ特別任務

毒瓦斯又ハ各特種砲彈ノ使用

若干正面ニテ豫想スル坑道戰ノ利用

軍航空隊ノ任務

軍司令官ハ先ツ其ノ軍ノ兵力區分、任務ノ分課、隸下團隊ノ使用ニ供スヘキ諸資材配當ノ概要ヲ部下軍團長ニ指示シ該軍團長ヲシテ其ノ軍團作戦指導法ニ就キ實地ノ研究ヲ爲サシムヘキモノトス

軍ノ作戦計畫ハ其ノ作業實施計畫ニ依リ補足セラルルモノニシテ軍ノ作業實施計畫ハ軍作戦準備施設及攻撃地區整備作業ノ大綱ヲ規定スルモノトス

軍ノ作戦準備施設ハ各種勤務機關ノ良好ナル機能ヲ確保スルヲ目的トシ特別ナル考慮ヲ必要トナスモ就

中最主要ナル交通機關ノ整備即チ鐵道ノ建築、改善、視號及電氣通信所、無線電信所ノ配置ニ關シテハ特ニ重大ナル注意ヲ拂ハサルヘカラス

軍ノ作業實施計畫ニハ以上ノ外尙左ノ事項ヲ指示セサルヘカラス

器材ノ補給、運搬、集積

宿營地ノ整頓、野營地及砲兵隊ノ建設

軍一般攻撃地區整備作業ノ大綱(軍ノ若干砲兵陣地ノ築設ヲモ含ム)

軍ニテ實施スヘキ作業ノ計畫及著手順序(工事指導ニ關スル區處ヲモ含ム)

以上ノ計畫確定後作業部隊ヲ所要ノ位置ニ就ケ作業實施ヲ命スルモノトス而シテ參謀部ニ於テハ此ノ部隊ノ到着ト共ニ直ニ作業ヲ開始シ得ル如ク豫メ準備シ置キ成ルヘク遅ク此ノ部隊ヲ配置スルヲ有利トス然レトモ重砲兵陣地ノ構築ノミハ早クヨリ著手セサルヘカラサルコトアリ

軍司令官ハ戰闘及其ノ繼續ニ關シ計畫スルヲ以テ足レリトセス特ニ戰勝ノ結果ヨリ生スル要求ヲモ豫察シテ本作戦ニ適應スヘキ衛生、經理及後方勤務ニ關スル計畫ヲナササルヘカラス鐵道ノ延長、糧秣、彈藥、各種資材ノ迅速ナル補給等ニ關シテハ殊ニ然リトス

軍司令官ハ其ノ隸下ニ在ル團隊長(軍團長、步兵師團長、軍砲兵部長、軍團砲兵部長其ノ他諸勤務ノ長)ノ戰闘ニ關スル諸計畫ヲ集メ之ヲ點檢裁決シ軍團間ノ密接ナル連絡ヲ確實ニシ其ノ攻撃行動ヲ齊一ニシ



又一般ノ關係上甲軍團内ニ乙軍團所屬部隊ノ配備(例ハハ砲兵ノ如キ)ヲ有利トスル如キ場合ノ諸問題ヲ決定ス

軍司令官ハ自ら或ハ其ノ參謀部ヲシテ各種準備作業ノ進捗ヲ點檢セシメ實施ノ困難ナル箇所ヲ知悉シ迅速ニ此ノ困難ヲ凌駕シ得ヘキ手段ヲ講シ以テ豫期ノ如ク其ノ作業ヲ進捗セシムルコトニ努ム

編者曰ク 軍司令官以下ノ各團隊長ハ作戰計畫ノ一部トシテ戰果擴張計畫ヲ策定セサルヘカラス然レトモ其ノ各團隊ニ對スル細部ノ内容詳ナラサルヲ以テ便宜實行要領ト一括シテ後篇ニ記述ス

第三節 軍團

軍團ハ其ノ作戰地境内ニ於ケル敵全陣地帯ノ攻略ニ任ス

軍團ハ攻撃單位ナリ實戰ノ經驗ニ依レハ陣地攻撃ニ任スル軍團ハ三乃至五師團及各種砲兵ノ多數ニ依リ編成セラルルヲ要ス是相當ニ廣キ正面即チ少クモ二師團ノ攻撃正面ヲ擔任シ之ヲ突破スル爲強大ナル豫備ヲ必要トスルノミナラス攻撃正面内ニ於ケル敵ノ全防禦設備ヲ破壊シ且敵砲兵ト對戦スルヲ要スレハナリ

軍團長ハ軍司令官ノ作戰計畫ニ基キ各期攻撃ノ行動ヲ決定シテ其ノ作戰計畫ヲ立案ス此ノ計畫ニテ決スヘキ要項ヲ述フレハ左ノ如シ

一 軍團攻撃ノ一般要領

二 第一、第二線師團ノ區分

三 第一線師團ノ任務(攻撃地區、攻撃目標、第二攻撃目標(編者曰ク軍團攻撃目標攻略後尙戰果ヲ擴張セシムル爲ニ同目標ノ前方ニ指示セル一目標ヲ云フ))

四 第二線師團ノ任務

五 軍團砲兵並特種部隊ノ配屬

六 軍團直屬砲兵ノ任務、其ノ陣地並指揮ノ關係

七 軍團直屬諸部隊ノ任務

八 各師團ニ對スル資材ノ配當

九 要スレハ毒瓦斯、特種砲彈、坑道戰ノ利用ニ關スル件

一〇 補給及遠送計畫

軍團砲兵ノ戰闘計畫ハ師團砲兵ノ要領ニ準シ軍團砲兵部長之ヲ立案ス(編者曰ク本計畫ニ於テハ師團砲兵ノ戰闘區域ヲ指示スルヲ要スルカ如シ)

軍團長ハ軍團ノ作業實施計畫ヲ立案シ軍ノ同計畫案ト相俟テ師團ヲシテ攻撃地區整備作業ヲ規定スルヲ得セシム

歩兵ハ損害並疲勞ノ爲其ノ戰闘能力ノ消耗甚タ速ナリ故ニ要スルトキ機ヲ失セズ交代休憩セシメ以テ其



ノ隊伍ヲ整頓スルヲ得セシムヘシ損害ノ爲全ク編制ヲ破壊セラルル如キ程度ニ至ラサル以前ニ於テ補充ヲ行ヒ常ニ十分ナル能力ヲ保持セシムルハ歩兵ノ爲缺クヘカラサル要件ナリ之ニ反シ砲兵ハ攻勢會戰ノ各期毎ニ其ノ全部ヲ擧ケテ使用スヘシ蓋シ砲兵ノ戰闘間ニ生スル損耗ハ比較的少ナルニヨリ長期ニ亘ル戰闘ノ繼續ニ任ヘ得ルヲ以テナリ即チ同一戰闘地區ノ砲兵ハ交代スルコトナク終始同一砲兵團隊トシテ戰闘セシムルヲ有利トス是ヲ以テ敵ノ全陣地帯ニ對スル攻撃ハ常ニ同一砲兵ニ依リ準備且助成セラレ其ノ各期ノ攻撃ハ要スレハ交互ニ交代スル歩兵師團ニ依リ實施セラルルモノトス

編者曰ク 佛軍統帥法ニ依レハ第二線師團ノ砲兵ハ其ノ師團ト共ニ戰闘ニ參加シ師團ト分離シテ最初ヨリ會戰ニ參加スルモノニアラサル如キモ攻勢會戰ニ依レハ前述セル如ク全砲兵ヲ以テ戰闘スル如ク規定セラレアルモノナリ

一步兵師團ノ攻撃正面ハ千五百乃至二千五百米(註 單ニ一般觀念ヲ與フルノミ)ニシテ單ニ牽制ヲ目的トスル攻撃ニ在リテハ尙其ノ正面ヲ擴張スルコトヲ得

第二線師團ハ敵陣地帯中攻撃成功ノ見込最大ナル正面ノ後方ニシテ將來行フヘキ其ノ師團ノ攻撃ニ便利ナル位置ニ配置ス

師團以外ノ部隊ハ臨時師團ニ配屬セラレ或ハ軍團直屬トシテ特別任務ニ服ス  
砲兵 軍團砲兵ノ任務次ノ如シ

敵陣地防禦設備ノ破壊(破壊砲兵)

敵砲兵ニ對スル戰闘(砲戰砲兵)

軍團砲兵中敵陣地ノ破壊ニ任スヘキモノハ總テ第一線師團ニ配屬ス

戰闘ノ初期ヨリ師團ノ使用ニ供スル全砲兵ヲ各師團ニ知ラシムルコトハ極メテ必要ナリ攻撃準備中又ハ實行中ニ於テ突然砲兵ヲ増援スルトキハ最初ノ計畫ヲ擾亂シ效果比較的少キモノナリ

敵砲兵ニ對スル戰闘ハ軍團砲兵ノ任ズル所ナリ(編者曰ク師團砲兵ハ破壊ヲ實施スヘキ地域内ニ在ル敵砲兵ニ對スル戰闘ハ師團砲兵自ラ之ヲ行フ如シ)之カ爲軍團長ハ軍團砲兵中長射程重砲(加農)ヲ其ノ直轄下ニ置ク

軍特種重砲兵ニシテ臨時軍團ニ配屬セラレタルトキハ其ノ長射程ヲ利用シ遠距離ニ在ル敵ノ要點ニ對シ破壊射撃ヲ實施ス

空中偵察機關 軍團長ハ第一線師團及軍團砲兵ニ空中偵察機關ヲ配屬ス此ノ機關ノ大部分ハ射擊觀測及修正ノ爲使用セラルルヘキモノトス

工兵 軍團工兵部長ハ軍參謀部ノ補給主任將校ト協議シ主トシテ交通ニ關スル總テノ作業ヲ擔任ス  
軍團工兵中隊ハ特別作業又ハ兩師團ニ關係アル作業ヲナス爲軍團工兵部長ノ使用ニ供セラル

軍團ノ歩兵豫備註 主トシテ後備部隊ニシテ年次ノ間係ヨリスレハ我が國民部隊ニ相當ス



主トシテ資材ノ運搬、道標ノ植立、保安勤務、戰場作業等ニ使用セラルルモノニシテ時トシテ突撃陣地ノ守備、占領シタル陣地ノ編成或其ノ守備ニ召致セラルルコトアリ  
 補給運送、此ノ計畫ニハ主トシテ六十瓏狹軌道鐵道及軍團運搬機關(砲工兵廠及縱列)ノ使用法ヲ定ムルモノナリ軍團參謀部ノ一將校ハ補給及運送ヲ擔任シ本計畫ヲ立案ス  
 其ノ他ノ計畫ハ師團ノ部ニ述フルモノト要領ヲ同フス  
 軍團長ノ點檢、軍團長ハ隸下師團ノ作戰計畫、砲兵ノ戰闘計畫、攻擊地區整備作業計畫、行動計畫(註、師團ノ集中行軍、配置、資材整備ノ時日等ヲ示ス計畫ナラムカ)及攻擊命令ヲ報告セシメ自己ノ意圖ニ合スルヤ否ヤヲ點檢シ必要ニ應シ此等計畫ニ協力スルコトヲ努ムヘシ殊ニ砲兵ニ關シ此ノ必要アリ  
 是軍團長ハ自己ノ砲兵ヲ以テ師團砲兵ノ行動ヲ補足スルヲ要スルコトアレハナリ  
 又軍團長ハ第二線師團ヲシテ將來其ノ使用セラルヘキ方面ノ地形偵察ヲ確實ニ實行セシムルコトニ注意スヘシ

第四節 師團

一 師團長ノ任務 戰闘間ニ於ケル師團長ノ一般任務ハ其ノ歩砲兵ヲシテ確實密接ナル協同ヲ維持セシムルニアリ之カ爲ニハ師團長ハ常ニ極力部下部隊ノ情況ヲ明ニスヘキ方法ヲ講セサルヘカラス而シテ確實ナル協同動作ハ戰闘部隊ノ常ニ其ノ必要ナル戰闘資材ヲ有シ且要スレハ機ヲ失セス補給ヲ受クル

トキニ於テ維持セラルルモノナリ故ニ歩兵並砲兵ヨリ所要ノ情報ヲ蒐集シ及之ニ對シ迅速確實ナル補給ヲ準備シ且實行スルハ師團長ノ最注意スヘキ事項ナリ

二 作戰計畫 師團ハ軍團作戰計畫ノ主旨ニ基キ其ノ任務ニ應スル作戰計畫ヲ立ツ

第一線師團ハ第一期攻撃ノ爲ノ作戰計畫ヲ立案ス

第二線師團次期攻撃ノ爲ノ作戰計畫トシテハ砲兵ノ戰闘計畫ノミトス是第一期攻撃ノ進捗ハ確實ニ豫定スルヲ得サルト敵ノ後方陣地帯ハ攻撃開始後新ニ補修増加セラレ爲ニ陣地ノ狀態ニ變化ヲ來タスコトアルヘキヲ以テ的確ナル歩兵ノ戰闘計畫ヲ立案スルヲ得サレハナリ(編者曰ク第二線師團ハ戰果ノ擴張ニ際シ第一線師團ニ増加セラルルコトアリ斯ノ如ク豫定セラルルトキハ第二線師團ニ具體的ナル歩兵ノ戰闘計畫ヲ有セサルコト固ヨリ當然ナルヘシ)

師團長ハ現地ニ就キ綿密ナル研究偵察ヲ經タル後師團ノ作戰計畫ヲ立ツルモノトス實ニ師團長ハ攻撃ノ準備並實行ニ關スル必要ナル能力ヲ具スルモノナレハ其ノ實施ニ關シテハ第一ノ責任者タルヘキモノナリ

師團ノ作戰計畫ハ作業開始前ニ立案セラルルヲ要ス是作業ハ此ノ計畫ヲ遂行セムカ爲ニ行ハルルモノナレハナリ然レトモ此ノ時期ニ於テ各種ノ特別事項ヲ確定スルコトハ不可能ナルヲ以テ作戰計畫ハ作戰ノ大綱及總テノ準備ニ關スル事項ヲ定ムルニ止マリ攻撃實行ノ爲必要ナル追加命令事項ハ別ニ攻撃



命令トシテ下スモノトス

師團ノ攻撃ニ關スル諸計畫ハ軍團長ヲ經テ軍司令官ニ提出シ其ノ承認ヲ受クヘキモノナリ  
師團ノ作戰計畫ニ於テ定ムヘキ事項左ノ如シ

- 一 作戰ノ目的、師團ノ任務(攻撃目標、第二攻撃目標、攻略地域等)
- 二 軍隊區分
- 三 攻撃各團隊ノ任務

以上二、三ノ部署ハ奪取スヘキ敵陣地ノ價值、攻略スヘキ地域ノ大小、豫期スル戰果ノ擴張、攻撃當初ニ於ケル軍隊ノ集合並攻撃ノ爲ノ指揮ノ關係ヲ顧慮シ決定スヘキモノナリ

- 四 第一線旅團ノ攻撃地帯
- 五 隣接師團ト協議上實行スヘキ連繫動作
- 六 砲兵ノ任務、陣地(野戰砲兵、重砲兵、迫撃砲共)並指揮ノ關係
- 七 時トシテ毒瓦斯、特種砲彈又ハ坑道戰ニ關スル件
- 八 其ノ他經理、衛生ニ關スル件
- 三 砲兵戰闘計畫 砲兵ノ戰闘計畫ニ定ムヘキ要件次ノ如シ
- 一 師團砲兵(重砲、野砲、迫撃砲)群、指揮上ノ編成(軍隊區分ナリ)

二 砲兵大隊ノ陣地及射撃目標

三 砲兵大隊地上及空中觀測ニ關スル區分

四 各大隊所要彈藥ノ豫算

編者曰ク「軍團砲兵中破壊ニ任スヘキ砲種ハ第一線師團ニ屬セラルルモ第二線師團ノ砲兵(野戰砲兵及迫撃砲)ハ同師團ノ依然保有スル所ナリ」トハ統帥法ノ指示スル所ナルモ攻勢會戰ニ依レハ第二線師團ノ砲兵モ亦第一線師團ニ屬シ最初ヨリ戰闘ニ參加セシムルモノトナシ其ノ指揮ニ關シテ次ノ如ク教示セリ

「師團長ハ軍團長ヨリ指定セラルル某師團砲兵隊長タル大佐ヲ以テ師團全砲兵ノ指揮官トナス  
師團砲兵ノ指揮ハ步兵師團ノ交代如何ニ拘ラス永續シテ行ハレナルヘカラサルニヨリ各攻撃地  
區ニ於ケル破壊砲兵指揮官ハ其ノ地區ノ攻撃ニ任スル豫定師團中ノ砲兵隊長ヨリ選定スヘキモノトス」

某從軍武官ハ尙之ニ附加シテ曰ク

師團砲兵ニハ大、中佐各一名アリ大佐ハ戰闘間師團長ノ傍ニ在リ中佐ハ直接砲兵隊ヲ指揮ス佛  
軍第一線師團ノ攻撃ニ當リテハ固有ノ師團砲兵以外ニ其ノ隸下ニ屬セラルル砲兵極メテ多ク從  
テ砲兵ノ軍隊區分上斯ノ如キ有階者ヲ必要トス「ソノム」戰場ニテハ師團ノ砲數ハ二百門ニ達セ



ルヨトアリ

師團砲兵ノ任務左ノ如シ

- 一 師團攻撃擔任地域内ニ於ケル敵陣地ノ破壊
  - 二 軍團長ヨリ指定セラレタル地域内ノ砲戦
  - 三 歩兵ノ攻撃ニ對シ砲火ヲ以テ行フ直接ノ援助
- 攻撃ノ爲ノ準備彈數 最近行ヘル攻撃(千九百十五年九、十月「ジャンパー」及「アルトワ」ノ攻撃)ニ依リテ得タル左ノ實驗ハ指揮官ノ戰闘計畫ニ於テ破壊砲兵團ノ編成ヲ定メ之ニ任務ヲ與ヘ且準備砲彈略近數ヲ算出スルノ參考トナスヲ得ヘシ

砲種	彈數	威力	力
7.5cm 野砲	六〇〇	鐵條網ニ幅二十五米ノ破壊口ヲ作ル	
	一〇	散兵壕又ハ交通壕一米ヲ顛覆ス	
	五〇〇	敵砲兵一中隊ノ陣地ヲ破壊ス	
	三	散兵壕又ハ交通壕一米ヲ顛覆ス	
	四〇〇	敵砲兵一中隊ノ陣地ヲ破壊ス	

迫撃砲	小機砲	鐵條網ニ幅二十米ノ破壊口ヲ作ル
一〇〇	一〇〇	
一〇〇	一〇〇	砲二門ノ掩蔽部及掩體ヲ破壊ス

編者曰ク 佛軍ハ砲兵戰闘計畫立案ノ基礎的資料ヲ得ムカ爲各軍及各大軍ニ於テ何レモ實驗射撃ヲ行ヒタリ其ノ成績ハ本月報第十九號「西方戰場陣地戰」ニ於ケル砲兵用法ノ梗概其第十四第一章「ヲ参照スヘシ

一日ノ消費彈數(千九百十五年九、十月攻撃ノ實驗ニアラス)

- 砲種(口徑)
- 七・五野砲 三〇〇
  - 九・五加農 一五〇
  - 一〇・五加農 一五〇
  - 一二・〇加農 一二〇
  - 一五・五加農 一〇〇
  - 一五・五榴彈砲 一二〇
  - 一五・五速射榴彈砲 一五〇
  - 二二・〇白砲 八〇
- 一門消費彈數

第三編 準備



二七〇臼砲

四〇

七珊五野砲ハ過早ノ損廢ニヨリ使用シ得サルニ至ルコトヲ避ケムガ爲其ノ速度ハ通常一時間ニ百發以上ニ上ラサルヲ要ス

以上ノ統計ハ砲兵ヲ以テ行フ攻撃準備ニ要スル時間ヲ概略推算シ得セシムヘシ然レトモ此ノ時間ハ尙天候及視目ノ程度ニモ關係ヲ有スルモノナルコトヲ願慮セサルヘカラス

四 攻撃地區整備作業計畫 作戰計畫ヲ完備スル爲軍及軍團ノ作業實施計畫ニ基キ師團ノ攻撃地區整備作業計畫ヲ作成ス本計畫ニ於テ指示スヘキ事項左ノ如シ

- 一 起工又ハ補足スヘキ一般土工作业
- 突撃陣地帯、掩蔽部、集合場、交通設備、器材置場、救護所ヲ確定シ又所要資材ヲ概算シ其ノ蒐集ノ方法ヲ定ム

二 觀測所及司令所ヲ決定ス

三 連絡機關ヲ編成シ其ノ設置ヲ確定ス

電話、無線電信、視聽通信、記號、傳令、鳩等

四 作業實施法ヲ決定ス

實施ノ緩急ヲ定メ各部隊ニ作業ヲ配當シ所要材料ノ運搬法ヲ定ムル等

斯ノ如ク實施スヘキ諸作業カ細密ニ計畫セラルレバ茲ニ始テ部隊ヲ現地ニ誘導シ攻撃地區ニ所要ノ整備作業ヲ開始スルヲ得ルニ至ルモノナリ

五 其ノ他ノ計畫 作戰計畫ヲ實行スル爲行フヘキ準備ハ攻撃地區ニ整備作業ヲ施スノ外尙左ノ事項ヲ必要トス

一 砲兵ノ攻撃準備射撃(精確ナル射撃ニ依リ敵砲兵及敵陣地ヲ破壊スルモノニシテ後章ニ詳述ス)

二 攻勢會戰諸準備實施ニ關シ師團長及其ノ參謀將校ノ點檢

三 無形上ノ準備 士氣ノ激勵ハ有形上ノ準備ト併進ス加之各級指揮官特ニ師團長ノ箇人的行動ハ

之ニ大ナル影響ヲ有スルモノナリ

歩砲兵ハ相互ニ屢通報シ或ハ會合シ以テ親密ナル意志ノ疏通ヲ圖ルコト必要ナリ隣接團隊間ニ於

テモ亦然リ

攻撃方法ノ演練ニ關シテハ後章ニ詳述ス

六 攻撃命令 準備最終ノ時期即チ攻撃開始ノ若干前ニ於テ作成スヘキ師團ノ攻撃命令ニハ總テ實行ニ關スル細部ニ亘リ規定スルモノトス其ノ要項左ノ如シ

一 敵情ニ關シ得タル新情報

二 攻撃翼ノ掩護法



三、砲兵ニ依ル攻撃援助ノ方法 最初ノ陣地ヨリスル援助、觀測所及觀測者位置ノ變更、砲兵ノ逐次躍進等

四、將來ニ於ケル司令所ノ位置 豫想スル司令部ノ行動、逐次ノ位置、連絡法、觀測ニ任スル人員等

五、豫想スル連絡線ノ延長 電話、無線電信、視聽通信ノ延長、傳令使用ノ範圍、電話線ノ警戒等

六、豫想スル交通線ノ延長 交通壕ノ推進、塹壕通過ノ方法、塹壕外ニ於ケル集合所ノ設備

七、攻撃開始時刻或ハ之ニ關スル信號

八、補給及還送ニ關スル件

七 第一、第二線師團計畫上ノ協同動作 第二期攻撃ヲ擔任スヘク豫定セラレタル第二線師團長ハ當面ノ第一線師團第一期攻撃計畫ノ立案ニ際シ兩師團相互ノ任務達成ヲ容易ニシ且戰闘ノ連續ヲ確實ニスル爲緊要ナル總テノ共通部署ニ關シ協議スルモノトス就中之ニ至大ノ關係ヲ有スル砲兵ノ戰闘計畫ニ就テハ最緊密ナル協定ヲ必要トナスモノナリ

第三章 作戰準備施設及攻撃地區整備作業

第一節 要則

作戰準備施設並攻撃地區整備作業ハ重要ニシテ長時日ヲ要ス故ニ此ノ作業ハ順序正シク整然ト指導シ且攻撃實行ニ先テ軍隊ヲシテ多大ノ疲労ヲ感セシメサルコトニ願慮スルヲ要ス實ニ本作業ヲ豫定ノ時日内

ニ完成スルコトハ作戰進捗ニ於ケル良好ナル第一歩ト稱スルヲ得ルモノナリ

作戰準備施設ハ諸團隊カ作戰地境內ニ入ラサル以前ニ於テ終ルヘキモノトス然レトモ情況ニ依リテハ攻撃諸團隊ノ到着後其ノ力ニ依リ完成セラレルコトアルヘシ

攻撃地區整備作業ハ各級團隊長ノ作戰計畫決定スルヤ各其ノ計畫ニ準據シ所屬團隊長ノ指導ノ下ニ實施スルモノトス

以上ノ作業ハ各級團隊長ノ立案セル作戰準備施設計畫並攻撃地區整備作業計畫ニ基キ實施スルモノニシテ此等ノ計畫ハ次ノ諸件ヨリ成立ス

一 一般圖及實施スヘキ作業詳圖ノ調製

二 人員及材料ノ指定

三 作業ノ指揮作業隊ノ監督ニ任スル幹部ノ任命並作業部隊差出團隊ノ指定

敵ノ偵察ニ對シテハ最細心ナル注意ヲ以テ總テノ作業ヲ秘スルヲ要ス是敵ニ我カ企圖ヲ察知セシメヌ又作業ノ程度ニ依リテ我カ作戰ノ輕重ヲ判斷シ且作業進行ノ模様ニヨリ作戰開始ノ時期ヲ豫メ推定セシメサル爲ナリ

秘密ニ作業ヲ指導シ諸種ノ假裝手段ニ依リ之ヲ隱匿シ就中豫定ノ攻撃期日ヨリモ可ナリ長キ以前ニ作業ヲ完成スルコト等ニヨリ敵ヲシテ我カ準備ノ實情ニ就キ不明ノ境ニ在ラシムル如クスルハ必要ナルコト



第二節 作戰準備施設

主要ナル本施設事項左ノ如シ、

- 一 鐵道ノ布設
- 二 道路ノ修築及新設
- 三 廠舎ノ建築
- 四 飲用水道ノ設備
- 五 材料、器具、彈藥等諸倉庫、諸廠ノ編成

第一款 鐵道

鐵道網ハ一軍團ノ作戰地境內ニ少クモ普通鐵道上ノ一停車場若ハ貨物停車場ト六十珊軌道輕便鐵道ノ一若ハ數條ヲ引込線ヲ有セシムル如ク施設スルヲ要ス此ノ諸線ハ努メテ戰線ニ近ク延長スヘク其ノ細部ニ關シテハ軍ノ請求ニ依リ加修増設スルモノトス

攻撃ノ進捗ニ伴ヒ鐵道線ヲ延長シ團隊ノ後方ニ推進スヘキ準備ノ必要ナルハ論ヲ要セス

第二款 道路

各軍團毎ニ最少限ニ道路ヲ專有スルヲ要ス而シテ情況之ヲ要スルニ至レハ車輛縱列ノ分進點ニ到ル迄ノ間ハ前進路ト後退路トヲ區別スルヲ利アリトス

村落ニハ道路輻輳スルヲ以テ其ノ通過ヲ避クルヲ要ス砲撃ヲ受クル願慮アルトキ殊ニ然リ故ニ新ニ迂回線或ハ直通線(註) 村落ヲ通過セサル如ク直通セシムル新線カ)ヲ構成スヘシ

大道ハ一般ニ車輛專用トシ道路ニ沿ヒ側方畑地内ニ徒歩隊及乘馬隊用行進路ヲ設ケ材料廠、鐵道ノ卸下場等ハ大道ヨリ若干距離隔シテ設置シ決シテ道路ニ駐車セシムヘカラス而シテ別ニ之ニ到ルヘキ交通路ヲ開設スヘシ

作戰地境內ニ於ケル交通ハ頗ル雜沓スルモノナルコトヲ銘心スヘシ特ニ會戰開始ノ直前並會戰間ニ於テ然リトス故ニ成ルヘク道路網ヲ増加シ巧ニ之ヲ利用シ混雜ト迷誤ヲ避ケシメ交通ノ圓滑迅速ト安全トヲ確實ニスルコトニ細心ノ區處ヲナササルヘカラス又修築並改築作業ハ作戰準備ノ全期間繼續スルヲ要スルモノナリ

第三款 廠舎

廠舎構築ノ目的ハ作戰地境內ニ集合セル攻撃參加諸團隊ノ爲宿營地ノ不足ヲ補ヒ掩蔽セル休宿地ヲ設備スルニアリ

廠舎ハ天然ノ地形ヲ利用シ掩蔽セラルル地ヲ選ヒテ建築シ遠方ヨリ發見セラレ易キ規則正シキ經始線ヲ避ケ適當ニ集散シ且道路ヨリ若干距離ヲ保タシムヘシ



村落内ニハ夥多ノ兵員ヲ集團セラルヲ要ス敵ノ砲撃ヲ受ケ易キ村落ハ宿營地トナスヘカラス  
諸隊戰線ヨリ後方ノ地區ニ在ルトキハ努メテ十分ナル休息ト安全トヲ得セシムヘシ

第四款 飲料水

作戰地境内ニテ用キ得ヘキ現在ノ水量、水質ノ検査並新ナル穿井等ハ軍ニ於テ實施スヘキ作業トス  
註 佛各軍ニハ水利委員ナルモノアリ其ノ長ハ概ネ大尉級ニシテ平時大市街ノ水道吏員タリシモノヲ  
任命ス

軍ハ在來ノ或ハ新設セル水源ヲ地境内ノ各團隊ニ分配ス  
各團隊ニテハ水源ノ保護、水ノ使用要スレハ廠營地或ハ戰線某地ニ水ヲ運搬スルコト等ニ關シ所要ノ規  
定ヲナスモノトス

第五款 倉庫、諸廠

諸勤務部ノ倉庫並諸廠ハ後方ヨリ前方ニ向ヒ團隊ノ補給ヲ規正シ得セシムル如ク梯置スヘシ  
直接團隊ヘノ分配ニ任スル諸廠ハ我カ第一陣地帯ノ直後或ハ其ノ近傍ニ分置ス

第三節 攻撃地區整備作業

第二款 要則

良好ナル情況ノ下ニ攻撃ヲ開始シ且猛烈ナル攻撃能力ヲ維持シ得ル爲ニハ蔭蔽シテ敵ニ近接シ目標ニ正

對シテ展開シ秩序正シク發進シ新銳ナル兵力ヲ以テ絶エズ増援セラレ補給ヲ完全ニシ適切ニ攻撃ヲ指導  
セラレサルヘカラス之カ爲攻撃地區ニ左ノ如キ作業ヲ施シ目的ニ適應スル如ク土地ヲ整備ス

- 一 攻撃ニ任スル全歩兵ヲシテ戰場ニ掩蔽シテ集合スルヲ得セシムル爲掩蔽部集屯所ヲ設備ス
- 二 攻撃歩兵突撃發進ノ爲進出容易ニシテ且掩護確實ナル多數ノ突撃陣地ヲ構築ス
- 三 後方地域ト團隊集合地間、集合地帯内、集合地帯ト突撃陣地間及突撃陣地地帯内ニ蔭蔽セル交通  
壕ヲ設ク
- 四 各級指揮官ヲシテ常ニ其ノ指揮ヲ容易且確實ナラシムル爲戰闘ノ推移ニ適應スル逐次ノ司令所ヲ  
編成ス

五 彈藥、兵器、器材、工具、糧食、飲料水等ノ貯積所ヲ設ケ救護所、假綑帶所等ヲ設備ス  
以上ノ實施要領ハ攻撃手段ノ如何ニヨリ種々ニ變化スルモノニシテ要ハ其ノ作戰計畫ニ適應スル如ク行  
フヘキモノナリ

第二線師團ハ第一線師團ニテ實施スル攻撃地區整備作業ヲ分擔シ且將來ノ爲自己ノ戰場ヲ知悉セサルヘ  
カラス

第二款 攻撃地區整備作業計畫

作戰計畫確定スルヤ遲滞ナク攻撃地區ノ整備作業計畫ヲ作成スヘシ此ノ作業計畫ハ作戰準備中主要ナル



事業ノ一ナルヲ以テ本計畫策定上最初ノ研究ニ必要ナル時間ヲ費スハ決シテ惜ムヘキコトニアラス  
攻撃地區整備作業計畫ニ於テ定ムヘキ事項次ノ如シ

一 各種ノ作業計畫

突撃陣地、交通壕、集合場、司令所、掩蔽部ノ編成、電話ノ架設等ヲ計畫スルモノニシテ軍團製圖班ハ其ノ工事見取圖及要圖ヲ調製ス

二 作業實施ノ緩急

一例 作業ノ實施ニ死節時ヲ作ラサル如ク工事ノ進捗ヲ規正スルヲ要ス例ヘハ電話網ノ架設ヲ過早ニ始メムトスルモ之ヲ設置スヘキ交通壕ハ未タ完成セサルコトアリ又掩蔽部ヲ構築セムトスルモ之ニ要スル資材ノ到着セサルコトアリ之カ爲願慮スヘキ件左ノ如シ

イ 作業著手ノ順序

一例 交通壕ノ構成ハ前方ヨリ著手スヘシ

突撃陣地ノ推進構築、我カ障碍物ノ除去作業ハ敵ニ發見セラレ易ク且其ノ企圖ヲ暴露スル虞アリ故ニ此ノ際ハ敵ニ對シ警戒スルヲ要スルモノニシテ其ノ實施ハ最終ノ時期迄延期スルヲ有利トスヘシ

ロ 作業ノ指導 部隊長ハ自ら各部隊ノ作業ヲ指導スヘシ然ラサレハ全般ノ情況ニ對シ工事ノ實

施適切ヲ缺クコトアリ

ハ 工事ニ要スル時間ノ概算

三 集積スヘキ工具及器材ノ計算、工事著手前ニ到達セシムヘキ運搬計畫

第三款 攻撃地區整備作業計畫ニ願慮スヘキ要件

一 作戰計畫ノ如何ニ拘ラス左ノコトハ常ニ必要ニシテ如何ナル攻撃ト雖此ノ作業ナクシテ實施スルヲ得ス

イ 敵陣地ヲ距ル適當ナル距離ヨリ突撃ヲ發進セシムルコト(編者曰ク此ノ必要ハ「ソナム」會戰ノ結果頗ル疑ハシクナレリ後章ニ詳述ス)

ロ 後方第一ノ陰蔽地(註 最後方ノ集合場カ)ヨリ攻撃部隊ヲ速ニ所定ノ位置ニ到達セシメ之ニ對スル補給ヲ容易ニシ且前線ニ於テ不必要ナルモノヲ支障ナク還送シ得セシムルコト

二 作戰計畫ノ決定ニ基キ行フヘキ細部ノ工事  
攻撃開始ノ迅速ヲ要スルトキハ本作業ヲ省略スルコトヲ得

三 以上多數ノ作業ハ實施後ニ於テ變更スルヲ得サルモノナリ何トナレハ攻撃地區内ニ於ケル多數ノ作業ハ皆連繫ヲ有スルモノニシテ決シテ之ヲ個々ニ考フヘキモノニアラサレハナリ

四 將來之ヲ使用スヘキ部隊ニアラサレハ其ノ作業ヲ實施スルヲ得サルモノアリ故ニ各部隊ハ適時其ノ



位置ニ配置セララルヲ要ス  
 五 整然ト實施セララル作業ハ最少ノ努力ヲ以テ最大ノ效果ヲ發揚ス又適切ニ實施セラレタル工事ノ外觀及精勵ノ結果ニ基ク作業ノ完成ハ部隊ノ志氣ヲ振起スルモノナリ  
 六 不適當ナル指導ノ下ニ最後迄秩序ヲ紊シツツ急速ニ實施セラレタル作業ハ軍隊ノ志氣ヲ沮喪セシムルモノニシテ其ノ勞力以上ニ軍隊ヲ疲勞セシムルノミナラス攻撃ヲ開始セサルニ先チ既ニ指揮官トシテノ信用ヲ失墜スルモノナリ

第四款 第三期攻撃準備ノ爲第一期攻撃開始前ニ行フヘキ設備

第二期攻撃ニ於ケル砲兵ノ戰闘計畫成立スルヤ交代シテ此ノ攻撃ニ任スヘキ豫定ノ第二線師團長ハ右計畫ニ對シ豫メ我方陣地内ニ準備シ得ル砲兵陣地所要作業ノ實施ニ著手ス  
 豫定ノ攻撃目標ヲ超越シテ戰果ノ擴張ヲ企圖スル第一線師團ニ在リテハ砲兵ヲシテ適切ニ步兵ノ攻撃進捗ニ協力セシムル爲前線ニ近ク豫メ砲兵陣地ヲ設備シ置クコトノ必要ナルハ論ナキ所ナリ  
 第一陣地帶攻撃ニ任スル重、野砲兵陣地ハ敵線ヲ距ルコト二千五百乃至六千米ノ間ニ在ルヲ通常トス(編者曰ク此ノ距離ハ「ソナム」會戰前ノ趨勢ナルモ現今ニ於テハ成ルヘク前線ニ接近セシムルコトヲ獎勵ス)而シテ步兵第一期攻撃ノ進捗ノ度ハ少クモ二千乃至四千米ノ間ニ在ルヘキヲ以テ戰果ノ擴張ニ應ジ或ハ第二期攻撃ノ爲大部ノ砲兵ハ陣地ヲ變換セサルヘカラス而シテ變換セル諸陣地ハ第一期攻撃ノ爲

ノ突撃陣地ノ近傍若ハ其ノ以内ノ地區ニ選定セラレ得ルモノ抄カラサルヘシ何トナレハ此ノ新砲兵陣地ハ敵ノ第二陣地帶ヨリ三千乃至六千米ノ距離ニ在リ得ルモノナルヲ以テナリ

右ノ範圍内ニ於ケル陣地變換ノ處置、掩蔽部、彈藥庫ノ構築、彈藥ノ集積、電話線ノ架設等ハ總テ第一期攻撃開始前ニ完了スヘキモノナリ

(註) 重量大ニシテ移動困難ナル火砲ハ右ノ方法ニ依リ特ニ事前ニ準備セラレアルヲ要ス即チ破壊砲ニ在リテハ一五五密榴彈砲、二二〇、二七〇密臼砲及其ノ以上ノ火砲、砲戰砲ニ在リテハ一五五密以上ノ加農砲ニ對シ此ノ必要アルモノトス而シテ陣地變換實施ニ當リテハ單ニ砲車ノ誘導下觀測所ノ推進編成トヲ以テ足レル如ク豫メ準備スヘシ

此等ノ砲兵陣地ハ努メテ自然ノ隱蔽地即チ森林、村落、深キ谷地等ヲ利用スヘク同陣地及之ニ對スル前記ノ諸作業ニハ敵眼ニ遮蔽スル爲注意シテ假裝工事ヲ施スヘシ

第五款 攻路セル敵陣地内ニ進入スヘキ砲兵ノ爲ノ準備

戰果ノ擴張ニ應ジ又ハ第二期攻撃準備ノ爲占領セル敵陣地内ニ進入スヘキ各種砲兵部隊ノ陣地變換ハ豫メ圖上ニ於テ綿密ナル研究ヲ行ヒ迅速ニ推進スル爲必要ナル材料ヲ準備シアルヘシ而シテ陣地ノ構築、砲兵隊長ノ位置及觀測所ノ設備ニ任スヘキ作業手ハ之ヲ集合シテ豫メ所要ノ教育ヲナシ新陣地設備ニ任スル砲兵幹部ノ指揮下ニ屬セシメ置クモノトス



第四節 攻撃地區整備作業實施要領 附圖第一、第二、第三参照

七〇

第一款 突擊陣地帯(註 數線ヨリ成ルヲ以テ突擊陣地帯トセリ)

突擊波ハ在來ノ散兵壕又ハ特設セル突擊陣地帯ヨリ出發ス

突擊陣地帯ニハ次ノコトヲ必要トス

- 一 逐次ノ攻撃波ヲ收容シ得ル塹壕
- 二 突擊陣地各線ヨリスル進出法及突擊陣地帯ヲ通過スル方法
- 三 突擊陣地帯各線ヲ連絡スル交通壕

突擊陣地帯ハ突擊部隊ノ集結ニ便ニ攻撃目標ニ正對シテ出發シ得ル如ク經始編成スルヲ要ス

突擊第一波ノ發進スヘキ最前線突擊陣地ハ敵ノ第一線ヨリ百乃至二百米ノ距離ニ在ルヲ要ス百以内ニ入ルトキハ友軍砲兵ノ攻撃準備射擊ヲ妨害シ是以上ニ遠キトキハ動モスレハ敵ニ覺醒ノ機ヲ與ヘ一舉ニ猛烈ニ突入スルノ氣勢ヲ殺クノ患アリ

此ノ突擊陣地ハ即チ攻撃地區ニ於ケル諸作業ノ基礎ヲナスモノニシテ在來ノ最前線散兵壕ニシテ敵ヨリ二百米以上ヲ隔ツルモノニハ總テト記ノ距離ニ此ノ陣地ヲ推進構築セサルヘカラス

敵ニ接近シアル場合ト雖直後ノ目標ニ對シアラサルトキハ之カ改築ヲ要スルコトアリ

編者曰ク 獨軍「ヴェルデン」ノ攻撃開始ニ當リテハ殊更此ノ陣地ヲ推進構成スルコトナク在來ノ陣地

線ヨリ發進シタリ從軍武官ノ觀察ニ依ルニ佛軍モ亦「ヴェルデン」、「ソンム」ノ實驗ニ基キ軍隊ノ素質良好ニシテ優勢ナル砲火ノ援助アレハ彼我ノ距離五百米以内ニ於テ突擊陣地ノ必要ナシト稱ス從テ前記ノ距離ヲ絕對條件ト認メサル趨勢ニアリ故ニ此ノ趨勢ヨリ推斷ストハ所謂對壕作業ニ依ル逼迫攻撃ナルモノハ西方戰場ニテハ今後實現セラレサルニ至ルナラム附記シテ以テ注意ヲ喚起ス

突擊陣地帯ハ障礙物ヲ以テ掩護スヘシ

突擊陣地帯内各線ノ數ハ突擊波ノ數ト同一ナルヲ原則トス而シテ其ノ各線相互ノ距離ハ二十乃至三十米ニ接近セシムヘシ是突擊實施ニ當リ我カ最前線散兵壕及其ノ直後ノ地區ニ向ヒ敵カ塹壁射擊ヲ開始スルニ先チ突擊波ノ全部ヲシテ此ノ射擊地帯ヲ一舉ニ通過シ得セシムカ爲ナリ

若交通壕ノ設備之ヲ許セハ突擊陣地帯内ノ塹壕ハ二線ニ止ムルヲ有利トス是現時ノ普通陣地線トシテ敵ノ空中觀測ニ對シ特徵ヲ呈セザレハナリ此ノ場合ニハ二突擊波ヲ一塹壕ヨリ發進セシムルカ又ハ第三、第四突擊波ハ交通壕ヨリ分隊一列側面縱隊ノ橫隊ニテ進出セシムルコトトナルヘシ而シテ此ノ第二ノ場合ニ於テハ交通壕ニ確實ナル進出階段ヲ設置スルヲ以テ足レリトス四線トナストキハ空中ヨリスル認識容易ニシテ我カ企圖ヲ暴露スルノ不利アルモノナリ

敵ノ第一線散兵壕ヲ奪取シ得タルトキ速ニ之ト確實ナル連絡ヲ保持スルニ便ナラシムル爲第一突擊陣地線ヨリ前方ニ對シ豫メ交通壕ノ發起點(掩蔽對壕)ヲ設ケ置クヘシ



突撃陣地帯ニ添加スヘキ工事ハ突撃前進ノ方法ニ依リ變化スルモ成シ得レハ攻撃各波カ秩序ヲ保チ一齊ニ發進シ得ム爲各所ニ階段ヲ設ケ後方ノ壘壕ヨリ發進スルモノノ爲突撃陣地各線上ニ通過橋ヲ構成スヘシ而シテ此ノ通過橋ハ同時ニ突撃陣地線ノ掩蔽部ヲ形成セシムルヲ有利トス又壕ハ動作ノ自由ヲ得セシムル爲適當ナル廣サヲ要ス

突撃陣地帯内ニ除去シ難キ障礙物存在スルトキハ突撃部隊ハ突撃陣地中限定セラレタル某部分ヨリ發進セサルヘカラス此ノ際ニ於テハ突撃陣地線ノ發進スヘキ部分ト後方ノ壘壕トノ間ニ多數ノ交通壕(小隊一箇ノ割合)ヲ設クルヲ必要トス

實際ニ於テ突撃波ハ右ノ二法ヲ混用シテ發進セサルヘカラサルコト尠カラサルヘシ  
止マリテ我カ陣地ノ守備ニ任スヘキ部隊ハ突撃部隊ノ使用セサル壘壕中ニ位置シ混浴ヲ避ケサルヘカラス

第二款 掩蔽部及集合所(附圖第二參照)

第一線突撃部隊ヲ位置セシムル爲突撃陣地帯内ニ掩蔽部ヲ構成スヘシ  
總テ掩蔽部ハ砲撃ニ抗シ二箇ノ出口ヲ有スル一小隊又ハ半小隊ヲ收容シ得ルモノナルヲ可トス然ルトキハ軍隊ハ長時間安全ニ掩蔽セラルルモノナリ  
集合所ハ必要ナル地點ニ増援部隊及豫備隊ノ全部ヲ隱蔽シテ位置セシムルニ供ス之カ爲ニハ從來ノ壘壕又ハ天然ノ隱蔽地ヲ利用スルニ努ムヘシ

集合所ニ備フヘキ性能左ノ如シ

- 一 部隊ヲ過度ニ小區分セサル如ク適宜ノ廣サヲ有スルヲ要ス
  - 二 容易ニ自然地上及交通壕ニ進出シ得ル如ク多數ノ階段及交通壕ニ對サル出口ヲ有スルヲ要ス
  - 三 部隊ノ掩蔽ヲ確實ナラシムヘシ之カ爲ニハ安全ナル掩蔽部ヲ設クルヲ最可ナリトシ已ムヲ得サルモ壕ニ假裝法ヲ施シ除土ノ處置ニ注意スヘシ
  - 四 單ニ深キ壘壕ヲ以テ集合所ヲ構成スルハ地形若ハ時間掩蔽部構築ヲ許ササル場合ニ限ルヘシ露天集合所ハ敵ニ認識セラレ其ノ兵力ヲモ推算セラルルモノナリ
  - 五 外觀ヲ他ノ構築物ト同様ニシテ特別ニ敵ノ注意ヲ惹カサル如クスヘシ
- 集合所ノ位置ノ選擇ハ收容スル部隊ノ任務ニ關ス而シテ此ノ集合所ヨリ隱蔽シテ前進スルヲ要スルトキハ砲撃ニ依リ破壊セラレタル交通壕内ヲ前進セサルヘカラス從テ豫想外ノ時間ヲ要スルモノナリ故ニ成ルヘク此ノ時間ヲ短縮スル爲攻撃師團ノ集合所ハ突撃陣地ニ接近シテ設クヘシ
- 第二線師團ノ集合地域ハ第一線師團ノ後方三乃至四吉米ナルヘク第二陣地帯内ニ在ル掩蔽部ハ之カ爲ニ利用セラルルモノナリ

第三款 交通壕

交通壕ハ時機ノ如何ヲ問ハス戦線ヘ人員、彈藥、糧食ヲ補給シ及傷者ノ運送ヲ確實ナラシムル爲ノ人工



通路ナリ

突撃陣地ヨリ集合所ニ至ル間ノ地區ニハ多數ノ交通壕ヲ設ケ以テ突撃部隊、増援部隊、豫備隊ノ運動ヲ容易ナラシムヘシ集合所ヨリ後方ニ對シテハ交通壕ハ大ニ其ノ數ヲ減少スルコトヲ得

交通壕ニ依ル部隊ノ移動ハ特別ナル困難ヲ有スルモノナリ故ニ豫メ之ヲ避ケ得ヘキ手段ヲ講セサレハ作戰上重大ナル影響ヲ齎スニ至ルヘシ

交通壕ニシテ其ノ經始、構築適當ナラサルトキハ迷路ヲ形成シ狹少ナル地區内ニテ進路ニ迷ヒ部隊ノ衝突ヲ惹起シ豫定ノ行動ニ支障ヲ來タスヘシ之カ爲メ必要トス

一 交通ノ方式ハ成シ得ル限リ簡單明瞭ニシテ地圖ヲ一目シテ判別シ得ヘカラシムヘシ

二 現地ニ道標ヲ設置シ以テ重要ナル交通線ヲ知り方向ノ誤リヲ防キ少クモ其ノ誤謬ヲ速ニ發見矯正シ得ル如クナラシムヘシ

三 交通ヲ監視シ嚴重ニ規定ヲ履行セシムヘシ  
總テ縱長ニ貫スル交通壕ハ其ノ幹線トス而シテ之ニ名稱ヲ附シ或ハ基點ヨリ突撃陣地ニ到ル迄共通スル番號ヲ有セシム交通壕ノ經始ハ縱射ヲ受ケス又通過時間ヲ過度ニ延長セシメサル如ク成ルヘク規則正シク十分ナル鈎部ヲ設クルヲ要ス

(註) 既設ノ散兵壕又ハ交通壕ヲ利用セムカ爲メ主要ナル交通壕ニ不規則ナル形狀ヲ與フルコトアルヘ

カラス是壕ノ延長ヲ増大シ土地ノ局處ヲ混雜セシメ迷路ヲ生セシムルヲ以テナリ此ノ主旨ヨリシテ交通壕ノ一部分トシテ之ヲ橫貫スル他ノ交通壕ヲ利用セサル如ク努メ已ムヲ得サルモ銳角交叉ヲ避クルヲ要ス

交通壕ノ交叉點ハ特ニ道標ヲ見サルモ主要ナル交通壕ヲ次等交通壕又ハ橫貫スル壕ニ對シ判然識別シ得ル如ク設備スヘシ一方ニミ使用スル壕ニ於テモ通過軍隊ノ過誤ヲ慮リ所々ニ待避所ヲ設クヘシ

進出階段ハ一部隊ヲ同時ニ自然地上ニ進出セシメ又ハ之ニ反スル行動ヲナサシムル爲メ、等間隔ニ設クルヲ要ス而シテ後方地帯ニ在リテハ每百米、前方地帯ニ在リテハ每五十米トスルヲ可トス

壕ノ交叉點ニ於テハ橫貫壕ハ之ヲ掘下シ其ノ前後ニ階段ヲ設ケ通過セシメ主要ナル壕ハ此ノ掘開部上ニ通過橋ヲ架設シテ通シ以テ縱隊ノ交叉ニ依リ交通ヲ中止セサル如クスヘシ

次等交通壕及橫貫壕ハ其ノ屬スル主要ナル交通壕毎ニ名稱又ハ番號ヲ附スヘシ  
名稱附與ノ一例ヲ示セハ左ノ如シ(附圖第一參照)

一 軍中ニ於テ右翼ヨリ各軍團ニA B O Dノ逐次頭字ヲ與テ而シテ其ノ右翼軍團ノ交通壕、突撃陣地、  
暫壕ニハ次ノ如ク名稱ヲ附ス

主要ナル交通壕、A<sub>1</sub>、A<sub>2</sub>(遠達)、A<sub>3</sub>、A<sub>4</sub>、A<sub>5</sub>(遠達)、A<sub>6</sub>……  
突撃陣地 P<sub>1</sub>、P<sub>2</sub>



突擊陣地帯内ニ在ル次等交通壕 S<sub>1</sub>、S<sub>2</sub>、S<sub>3</sub>

他ノ交通壕、塹壕ニハ前記ノモノト混淆セサル如ク適宜ノ名稱ヲ附スルモノトス  
交通壕ノ入口、交叉點、出入階段ニハ必ス道標ヲ植立シ交通スヘキ方向ヲ示スヘシ而シテ主要ナル交通壕、次等交通壕、昇降階段、横貫壕ヲ區別スル爲ニハ道標ノ色別又ハ大小ヲ以テス主要ナル交通壕内ノ交通ハ正當ナル理由ヲ有スル單獨者(交代部隊ノ先遣セシ誘導兵ノ如シ)ヲ除ク外ハ必ス同一方向ニノミ行ツモノニシテ其ノ若干壕ハ還送ニノミ使用ス此ノ還送交通壕ハ各種制式擔架ノ通過ニ支障ナカラシメサルヘカラス

塹壕保安勤務ノ爲一將校ヲ任命シ之ニ通常所要ノ後備部隊ヲ屬ス此ノ部隊中必要ナル地點ニ道標ヲ植立スヘキ任務ヲ有スル隊ハ交通上ノ規定ヲ嚴格ニ履行セシムヘキ責任ヲ有シ必要ノ地點ニ哨兵ヲ配置シテ其ノ實行ヲ確實ナラシム其ノ他ノ部隊ハ各擔任地區ヲ配當セラレ其ノ区内交通ノ保持ニ任シ又攻撃部隊ノ壕内ニ於ケル遺失品(小銃彈、裝具類等)ヲ蒐集スルコトニ從フ

交通壕ハ單ニ我カ部隊ニ安全ナル通路ヲ供スルヲ以テ足レトセス當然自然地上前進ノ必要ヲ生スル軍隊及輜重ノ運動ヲ妨害セサル設備ヲ有スルヲ要ス之カ爲十分ナル通過橋ヲ架スヘシ

「ソナム」會戰準備ノ爲ニ構成シタル交通壕ノ標準ハ左ノ如シ(第二圖中參照)  
幹線タル大交通壕ハ深サ二米二十、幅一米五十即チ二人併列又ハ擔架通過ニ適スルモノニシテ師團毎

ニ前進用トシテ四條、後送用トシテ三條ヲ構設シ後方自然ノ蔭蔽地ヨリ突擊陣地ニ達セシム  
次等交通壕ハ前線ニ近クニ從ヒ増加ス即チ集合第三線(旅團及師團豫備隊用)ヨリ同第二線(第一線聯隊ノ豫備隊用)ニ到ル迄ニ大隊毎ニ二條、第二集合線ヨリ第一線散兵壕迄中隊毎ニ二條ヲ設ク

第四款 戰團間指揮官ノ位置

攻撃開始以前ニ於テ步兵聯隊長以上ノ各指揮官及師團砲兵隊長ノ爲司令所(戰團間指揮官ノ位置)ヲ設備ス

此ノ位置ハ強固ナル掩蔽部ト監視所ヨリ成ルモノニシテ努メテ前線ニ近ク良展望ヲ有スル地點ヲ選定スル  
攻撃時各級指揮官カ成シ得ル限り前方ニ在ルコトハ絶對的要件ナリ是直接戰況ヲ知り機ヲ失セス豫備隊及砲兵ヲ使用シ得ムカ爲ナリ

前方ニ逐次ノ司令所ヲ設備シ之ニ十分ナル通信機關ヲ備フルハ戰況ノ進捗ニヨリ指揮ノ行使漸ク困難ナラムトスルニ際シ之ニ應ジテ指揮官ヲ前方ニ位置セシムル爲最緊要ナルコトナリ

「ソナム」會戰ノ爲ニハ步兵聯隊長及旅團長ノ位置ハ突擊陣地帯内ニ師團長ノ位置ハ第一線散兵壕或ハ支援散兵壕附近ニ定メ其ノ司令部ヲ構築シ砲兵隊長ノモノハ通常所屬步兵指揮官司令所ノ傍ニ設ケケル

司令所ハ連絡者ノ行動ヲ容易ナラシムル爲主要交通壕ト交通ヲ便ナラシムルヲ要ス此ノ主旨ノ下ニ横貫



スル交通壕中ニ設ケラルル司令所ニハ明瞭ナル標示ヲナシ他部隊ノ連絡者ト雖其ノ發見ヲ容易ナラシムル如クスヘシ又指揮官カ攻撃ノ進捗ニ伴ヒ逐次占位スヘキ攻路地域内ノ司令所ハ豫メ講究シ其ノ迅速ナル構築ヲ準備シアラサルヘカラス

第五款 彈藥、器材、糧食、貯水所、救護地及假綑帶所等

彈藥、器材、糧食、貯水所等ハ要スレハ大隊毎ニ之ヲ設ク  
小銃彈、歩兵用榴彈、信號火及塹壕砲兵彈藥ノ補給ヲナスヘキ端末彈藥庫ハ堅固ナル掩蔽部内ニ設備ス  
器材置場ハ奪取シタル土地ニ施スヘキ交通作業及占領地維持ノ爲ニ必要ナル器材（輕便ナル鐵條網、鐵線、杭、土囊等）等ヲ收容スルモノニシテ突擊陣地帯内ニ構築ス  
糧食及水ヲ貯藏スル爲掩蔽部又ハ物置場ヲ設ク

各種倉庫ノ容積ハ之ニ集積スヘキ補給量ニ關ス故ニ作業開始前此ノ貯藏量ヲ決定スルヲ要ス  
救護地ハ傷者ノ來著容易ニシテ其ノ後送ハ一般ノ交通ヲ妨害スルコトナク行ヒ得ル位置ニ設クヘシ支援陣地ト其ノ後方陣地線間ノ地區ハ通常之ヲ設置スルニ適ス

隊綑帶所ハ通常聯隊毎ニ後送交通壕ニ沿ヒ設ケ堅固ナル掩蔽設備ヲ施スヘシ  
便所ハ攻撃部隊ノ人員ニ應ジ突擊陣地帯ニ於テ集合所ニ沿ヒ設クヘシ  
以上ノ作業ハ特種部隊ヲ以テ成ルヘク同一様式ニ構築スルヲ要ス是構築容易作業迅速ナルヲ得レハナリ

各種倉庫ノ位置ハ標札ニ依リ指示セラレ關係各部隊ヲシテ知悉セシムルヲ要ス而シテ之カ守備ノ爲一定ノ人員ヲ配備スヘシ

第六款 塹壕超越準備

攻撃地區整備作業ハ以上ノ外尙露天交通ニ關シ準備セサレハ完全ナリト云フコトヲ得ス即チ將來ノ爲我カ陣地帯内塹壕網ノ超越ハ勿論攻路セル敵陣地内ニモ豫定セル通路（車道少クモ師團ニニ條）上ニ施スヘキ必要ナル通過法ヲ準備セサルヘカラス而シテ敵ノ第一陣地帯ノ攻路ハ成功殆ト疑アラサルヲ以テ特ニ其ノ後ノ戦況ノ發展ニ關シ顧慮スルヲ緊要トス  
塹壕上ニ架スル短橋ノ數ハ成ルヘク多キヲ可トス而シテ此ノ設備ハ工兵隊カ後方ニテ準備スルモノニシテ攻撃若干日前ニ塹壕内ニ搬致スヘキモノナリ  
鐵條網ニ通路ヲ作り前進地域ヲ清掃シ塹壕超越短橋ヲ架シ道標ヲ植立スル等ノ設備ハ攻撃直前ノ夜間ニ於テ實施スルヲ可トス

第五節 結言

以上ハ千九百十六年ニ於ケル「ソナム」會戰ノ爲ノ作戰準備施設及同攻撃地區整備作業ノ要領トシテ佛軍ノ遵守セル所ナルモ同會戰ノ實驗ニ依リ次ノ如キ趨勢ヲ惹起スルニ至レリ

敵砲兵ハ我カ攻撃準備砲擊間應戰スルコト極メテ微弱ナリ故ニ我カ砲兵陣地ヲ強硬ナル掩蔽部下ニ置クコト、攻撃全部隊ニ強固ナル深掩蔽部ヲ構築スルコト及交通壕ヲ過度ニ後方ヨリ導クコトハ大ニ必



要ノ度ヲ減少シタリ之ニ反シ攻撃諸準備著手當時ヨリ敵眼ニ對スル遮蔽及假裝工事ハ最緊要ニシテ極力之ニ努メサルヘカラサルヲ認ム從テ攻撃地區整備作業ハ從來ヨリ單簡ナルモノニシテ満足シ得ルコトトナレリ左ニ實施スヘキ主ナル作業ノ種類ヲ舉ク

一 突撃陣地ノ適切ナル編成

二 觀測所、司令所、砲坐、彈藥庫等ノ築設

三 能ク保護セラルル電話網、之ヲ補足シ併用スル視聽通信及無線電信等ノ設置

四 軍隊、火砲、彈藥、諸材料ノ迅速ナル前方推進ヲ願慮セル最適切多數ナル交通網(道路、通路、鐵道、卸下場等)ノ編成

五 彈藥集積所ノ後方ニ於ケル諸作業 集積地區ニ對スル後方ヨリノ交通便利ナルノミナラス敵ノ砲撃ニ對シ安全ナル掩護ヲ與フ

編者曰ク 陣地戰ハ其ノ特質トシテ周密完全ナル諸準備ヲ必要トスルモ之カ爲大ナル時日ヲ費スハ戰略戰術上最不利トナスモノタルヤ明ナリ故ニ必要ナル作業ヲ成ルヘク短少ナル時日内ニ敵ニ察知セラレサル如ク實施スルヲ以テ本準備作業ノ主ナル要件トナス徒ニ萬全ヲ期シ時日ヲ費シテ完全ナル設備ヲ行フトモ敵ニ對抗手段ヲ講シ得ヘキ比較的大ナル時日ヲ與フルトキハ其ノ利ハ以テ其ノ害ヲ償フニ足ラサルモノナルコト蓋シ察知スルニ難カラサルナリ 砲兵ノ爲メ攻撃準備作業一般要領ハ尙其ノ資料ニ乏シキヲ以テ他日ヲ待テ別ニ調査紹介スヘシ

#### 第四章 軍隊ニ行フヘキ戰術上ノ準備(會戰參加直前ニ行フ團隊ノ演習)

##### 第一節 演習ノ必要

豫期スル攻勢會戰ハ堅固ナル敵陣地ニ對シ連續セル攻撃ノ一系ヨリ成立スルモノニシテ各期ノ攻撃ニ於テ奪取スヘキ正面及最少限ノ縱深ハ豫メ高級指揮官之ヲ決定スルモノトス從テ攻撃ノ進捗ハ概ネ既定ノ順序ニ依ルヘク其ノ戰場ハ圖上及現地ニ於テ十分ナル研究ヲ行フノ餘裕ヲ有スルモノトス此ノ結果トシテ攻撃ニ參加スル諸團隊ノ戰闘ハ全ク習熟セル演習ヲ熟地ニ於テ實敵ニ對シ整然實行スルモノトナラザルヘカラス 協同動作ノ攻撃成功ニ缺クヘカラサル要素タルコトハ茲ニ論スルノ必要ナシ而シテ攻撃諸部隊カ各其ノ任務遂行ニ専心努力スルコトハ自然ニ諸部隊間ニ適切ナル協同動作ヲ成立スルノ基礎ヲナスモノナリ 即チ一陣地ノ攻撃ハ概ネ組成セラレタル戰闘ニシテ其ノ細部ニ至ル迄細密ニ研究且計畫セラレルモノナレハ之カ成功唯一ノ條件トシテハ各部隊カ既定ノ計畫ニ則リ専心實行ニ努力シ機ニ投シ確實ニ遂行スルコトノ如何ニ係ルヘシ從テ計畫セル戰闘動作ノ演練ハ攻撃成功ニ必要缺クヘカラザルモノナルコト言フ俟タサルナリ

「フオツシュ」將軍ハ「ソナム」攻撃ヲ準備スルニ當リ部下ニ教示シテ曰ク

「初メ周到ニ準備セラレタル攻撃ハ成功スルヲ通常トスルノミナラス尙引續キ稍長キ時間ニ亘リテ我



ヲ戰場ノ主裁者タラシメ得ヘキハ既往ノ實證抄トセス

從來ノ攻勢會戰ニ於テハ單ニ敵ノ第一陣地帯ニ對スル突撃實施ノ外討究計畫セラレアラザリシナリ不  
幸ニシテ今日迄攻撃ニ際シ常ニ生スル混雜ニ對スル處置竝第二陣地帯以後ノ攻撃計畫ノ豫メ決定セラ  
レアラザリシ結果トシテ第一陣地帯攻略後殆ト指揮ノ行使力ヲ不能ニ陥ラシメ秩序アル戰鬪ノ實行ヲ  
妨害シタリ是實ニ攻勢會戰指導ニ於ケル我カ軍ノ一大缺點タリシモノトス

本陣地帯ニ於テハ平素大團隊集團ノ機會甚タ稀ナルヲ以テ會戰參加ノ爲大部隊ヲ以テ必要ナル戰術的  
準備ヲ行フトキハ其ノ團結心ヲ堅實ニシ長大ナル戰線ノ各部ヨリ來レル諸團隊ノ戰鬪法ヲ統一シ尙軍  
隊ヲシテ新戰鬪要領ヲ研究シ特種ノ進歩セル戰術的動作(航空機ヲ以テスル第一線ト後方トノ連絡等  
ノ如シ)ニ習熟セシムル等多大ノ利益ヲ得ヘシ故ニ此ノ演習ハ會戰參加前ニ於テ特ニ必要ナリ

要スルニ會戰ヲ實施スヘキ團隊ハ其ノ大小ノ編組ヲシテ實施スヘキ攻撃戰法ニ習熟セシメ其ノ戰鬪能  
力ヲ充實シテ戰場ニ臨マシメサルヘカラス

編者曰ク「フオツシユ」將軍ハ綿密周到ナル計畫準備ノ必要ヲ説キ大ニ演習ヲ獎勵シテ「ソナム」會  
戰ニ臨メリ然ルニ各級指揮官ハ計畫ヲ固執シ方式ニ拘泥シテ運用ノ妙ヲ忘却シ同會戰ヲ失敗ニ終ラ  
シメヌ思フニ演習獎勵ノ極端ニ走りシコト此ノ一因ヲナセシナムモ本陣地帯特色ノ一ナル會戰前  
ニ於ケル演習ノ實施ハ之カ爲決シテ其ノ價值ヲ失フコトアラサルヘシ

③「ソナム」ノ實驗ニ基キ本演習ノ實施ハ現今如何ナル趨勢ニアルヤ未タ明ナラサルモ參考ノ爲同會戰

前ノ實施要領ヲ其ノ儘輯録ス此ノ攻撃要領ハ趣意ニ於テ前述セル攻撃要領ト稍趣ヲ異ニスルモノア  
レハ誤解セラレサル様特ニ注意ヲ望ム

## 第二節 演習ノ實施

攻撃ハ遠キ將來ヲ豫察シテ開始スルト同様ニ準備演習モ亦成ルヘク永キ將來ニ立入りテ實施スルヲ要ス  
實ニ現戰場ニ於テハ偶發僥倖ハ一モ之ヲ期スヘカラス是豫期シテ準備セシ以外ノ事ハ實行不可能ナルヲ  
以テナリ故ニ各兵種ノ諸單位團隊ハ勿論大團隊ニ於テモ奪取スヘキ目標ニ類似セル陣地ニ對シ戰鬪間遭  
遇スヘキ障礙ヲ豫期シツツ前以テ攻撃ノ豫習ヲ行フコトノ有利ニシテ且必要ナルハ爭フヘカラザル事實  
ナリ從テ敵第一陣地帯ノ攻撃、占領陣地ノ維持、第二陣地帯ニ對スル攻撃準備並其ノ攻撃實施ニ關シテ  
ハ攻撃參加團隊ヲシテ十分ニ研究セシムルヲ要ス(編者曰ク「ソナム」ノ攻撃ハ此ノ趣旨ノ如ク敵ノ各陣  
地帯ニ對シ各別ナル整然タル統一攻撃ナリシコト既ニ前述セシ所ナリ)

攻撃ニ當リ諸隊ハ豫習セシ戰鬪動作ヲ精確ニ實施セサルヘカラス故ニ諸隊ニハ先ツ此ノ演習ノ必要ヲ十  
分ニ了得セシムルヲ緊要トス又各級幹部ハ當面ニ發生スヘキ情況ヲ豫メ洞察シ之ニ處スル手段ヲ考究準  
備シアラサルヘカラス斯ノ如クストキハ假令是以上遠キ將來ニ亘ル攻撃進捗ニマテ研究ヲ及ホスコト  
能ハストスルモ少クモ諸團隊ハ此ノ順序正シキ敵ノ兩陣地攻撃間ニ自ラ自信ト精神的餘裕トヲ得テ爾後



本作戰ニ對シ多大ノ利益ヲ得ルニ至ルナリ  
會戰準備期間作戰地域内ニ在ル部隊ハ戰線守備作業實施期ト後方地區ニ於ケル休養、演習期トヲ交互ニ  
有スル如ク其ノ勤務並宿營ヲ規正スヘキモノナリ  
諸部隊ノ攻撃準備演習ハ高級指揮官ノ豫定ニ依リ師團長統監ノ下ニ實施スヘク軍團長、軍司令官ハ細心  
之ヲ監督スヘキモノトス

第三節 師團ニ於ケル演習ノ方法

第一款 要則

師團ノ統帥ハ速成的ニ成ルモノニアラス常ニ師團長ハ大ナル考慮ヲ拂ヒ其ノ部下ノ幹部及部隊ヲ以テ履  
行ノ教練ニ依リ其ノ師團ヲ教育練成スルヲ要ス而シテ此ノ教練ハ兩翼ヲ依托シアル師團中其ノ一部ノ戰  
闘トシテ研究實施スヘキモノナリ

第二款 幹部ノ演習

幹部ノ演習ハ次ノ方法ニ依リ實行スヘシ

一 步兵旅團ノ演習

研究項目 攻撃開始、攻撃進捗、攻撃目標ノ占領、占領陣地ノ維持、兩翼ノ掩護  
此ノ間ニ於ケル連絡法ハ實際ノ如ク施行シ旅團長迄連絡セシム

少クモ砲兵將校一名之ニ參加ス

二 師團長ノ指導スル砲兵演習

研究項目 攻撃開始ニ於ケル砲兵ノ動作、連絡及觀測法ノ編成  
司令所ノ變更、觀測者ノ位置變更、砲兵陣地變換、新目標ニ對スル射擊、觀測修正、攻撃歩砲兵  
連絡ノ確保

三 歩砲兵ノ聯合演習

イ 軍團長ノ指導スル師團演習 之ニ依リ定全ナル師團ノ戰闘及諸兵種ノ連絡動作ヲ演練ス  
ロ 兩翼ヲ依托スル師團内ニ於ケル部分的攻撃戰闘ノ研究  
歩兵聯隊、砲兵大隊ノ聯合ヲ以テ行フ

第三款 部隊ノ演習

敵ハ若干ノ小部隊又ハ旗ヲ以テ表示シ豫メ細密ナル準備ヲ行ヒ地形ヲ假想シテ實施ス演習指導者ハ實施  
上過失ヲ發見セハ更ニ演習ヲ反復セシムヘシ  
砲兵ノ陣地變換ハ特ニ演練スルノ必要アリ  
軍團長ハ屢師團ノ攻撃演習ヲ指導スルヲ要ス是歩兵師團長ヲシテ軍團ノ連繫内ニ於テ其ノ師團ヲ統帥ス  
ルコトニ慣熟セシム爲ナリ



第五章 砲兵ヲ以テスル攻撃準備

現戰況ニ於テハ步兵ハ砲兵ノ絶對的ナル協力ヲ受クルニアラザレハ攻撃ヲ遂行スルコト能ハス即チ砲兵ハ其ノ猛烈ナル威力ヲ以テ敵ノ陣地設備ヲ破碎シ其ノ守兵ヲ制壓シ其ノ結果ニ乘シ步兵ハ突撃ヲ開始シ破碎セラレタル敵陣地ヲ占領シ尙其ノ戰果ノ擴張ヲ企圖ス故ニ步兵ノ突撃前進ヲ可能ナラシムヘキ砲兵ノ活動ハ攻撃奏功ノ一大要素ヲ爲スモノニシテ實ニ陣地攻撃ノ大部ハ此ノ砲兵ノ準備射撃タルヘキモノナリ

第一節 要則

砲兵ノ威力ハ射撃ノ正確ト火力ノ集中トニ依リ發揮シ得ルモノニシテ集中ハ某程度迄ハ距離ノ増大ト共ニ容易トナリ益其ノ效果ヲ大ナラシメ得ルモノトス故ニ高級指揮官砲兵ニ依リ所望ノ結果ヲ收メムカ爲ニハ常ニ此ノ二要件ニ著意ヲ缺クヘカラス開戰當初ニ於ケル砲兵戰鬪ノ結果ハ管ニ第二期攻撃ノ成否如何ニ關スルノミナラス惹キテハ全攻撃ノ發展上ニ影響ヲ齎スモノトス故ニ戰線ニ於ケル砲兵指揮ノ區分、陣地ノ構築、彈藥庫ノ設備等ハ全力ヲ盡シテ戰鬪ノ開始前ニ些ノ遺漏ナク準備ヲ完了シ戰線後方ノ貨物停車場ノ如キモ業務ヲ終了シテ閑散ナル情況ニアラシムル如クナルヲ要ス  
砲兵ヲ以テスル攻撃準備ノ目的ハ前述ノ如シト雖語ヲ換ヘテ之ヲ云ヘハ左ノ如シ  
一 敵步兵陣地ノ防禦設備ヲ破壊シ守兵ヲ殺傷シ併セテ其ノ志氣ヲ沮喪セシメ以テ敵守兵ノ防禦戰鬪力ヲ覆滅スルコト

二 敵防禦能力ノ最要部分タル其ノ砲兵ヲ破壊スルコト

第二節 破壊射撃

第一款 一般要領

師團ノ攻撃地區内ニ在ル敵陣地設備ノ破壊ハ師團長ノ隸下ニ在ル師團攻撃地區砲兵隊長之ニ任ス而シテ其ノ射撃ノ指揮ハ特種ノ計畫ニ屬シ一ノ特別命令ヲ以テ定ムルモノニシテ此ノ命令ニ擧クヘキ主ナル事項ハ目標ノ數、性質、距離、使用スル砲種、砲數、準備セル彈數、高級指揮官ニ依リ許可セラレタル射撃時限等ナリ

砲兵ヲ以テスル有效ナル攻撃準備カ實現セラレザルニ於テハ步兵攻撃ハ何等ノ成功ヲモ期待シ得サルモノニシテ師團長ハ第一ニ砲兵ノ效果ヲ確實ニスヘキ責任ヲ有ス

射撃ノ效果ハ砲兵カ正確ナル效力射ニ依リ必要ナル彈數(前節參照)ヲ目標上ニ命中セシムルニ依リ獲得セラル故ニ師團長ハ準備射撃ノ全期間砲兵指揮官ヲ補助トシ射撃觀測ノ實況、發射彈數、射撃效果ノ檢定等ニ就キ報告ヲ受ケ以テ破壊ノ程度ヲ判斷スヘシ地區砲兵隊長モ亦其ノ隸下ナル砲兵ニ關シ同様ノ處置ヲ行フ

直接敵陣地ノ破壊ニ任スル砲兵指揮官ハ破壊スヘキ目標ニ對スル步兵ノ部隊長ト間斷ナク連絡ヲ維持スヘク步兵指揮官ハ砲兵射撃ニ關シ得タル總テノ情報ヲ通報スヘキモノトス



突撃開始ニ先チ高級指揮官ハ步兵ノ偵察ニ依リ破壊ノ結果(特ニ鐵條網ニ對シ)ヲ確認スヘシ而シテ尙十分ナラスト判斷シタルトキハ躊躇ナク射撃ヲ再興セシムヘシ此ノ偵察斥候ハ拂曉又ハ日没時ニ於テ射撃ノ中斷期ヲ利用シ敵ノ第二、第三線散兵壕迄侵入シ偵察シ得ルモノナリ攻撃目標トシテ選定シタル地域内ノ主要ナル防禦設備ハ總テ破壊スルヲ要ス即チ障礙物ヲ崩潰シ掃蕩シ側防機關タル側防用輕砲、機關銃等ヲ顛覆シ散兵、擲彈兵ノ火線占領ヲ不可能ナラシメ人員掩護物ヲ埋没シ其ノ深キモノハ出入口ヲ閉塞スル等是ナリ

中口徑榴彈砲(一二珊、一五珊五、二二珊)ハ防禦力ヲ具備スル工事(塹壕側防機關、機關銃掩體、觀測所等)ノ破壊ニ用キ迫撃砲(五珊八、一五珊、二四珊、三四珊)亦其ノ射程内ニ於テ同一目的ニ使用ス大威力ノ臼砲(二七珊以上)ハ特ニ編成セラレタル支撐點(村落、比頓製堡壘ノ如キ)ノ破壊ニ任ス五珊八、一五珊迫撃砲ハ障礙物ニ對シ最有效ナリ特ニ敵方斜面(反對斜面)ニアル拒馬、鐵條網ニ對シ然リトス

野砲ハ鐵條網破壊ヲ主トシ強固ナラサル防禦設備ノ破壊ヲ從トス榴彈砲ハ又破壊セル敵陣地ノ補修工事ノ妨害及敵ノ後方ニ於ケル交通遮斷ニ用ウ

破壊射撃ハ步兵ノ攻撃開始迄全正面ニ亘リ猛烈ニ實施スヘシ而シテ步兵ノ突撃ハ砲兵最後ノ疾風射カ敵塹壕上ニ行ハルルトキニ開始スヘキモノトス

砲兵ヲ以テスル攻撃準備ノ終期ニ於テハ射撃ニ屢中斷期ヲ加フヘシ此ノ砲火ノ中止ハ防者ニ我カ攻撃開始ノ虛勢ヲ示スモノニシテ敵ヲ不安ナラシメ生存セル守兵ヲ現出セシメ尙防禦砲兵ノ塹壕射撃ヲ誘起スルコト屢之レアルモノトス

軍司令官ハ敵陣地破壊射撃完了ノ時日ヲ指定ス故ニ砲兵ノ攻撃準備射撃開始期ハ此ノ日ヨリ起算シテ軍團及師團長之ヲ決定ス

### 第二款 障礙物ノ破壊

障礙物破壊ノ爲ニハ總テノ火砲ヲ使用ス迫撃砲、野砲、重砲皆然リ而シテ使用スヘキ砲數ハ開設スヘキ破壊口ノ數ニ關ス然レトモ重砲ニハ諸種ノ任務ヲ要求セサルヘカラサルヲ以テ此ノ射撃ノ爲ニハ主トシテ五珊八迫撃砲及野砲ヲ用キ此ノ砲ヲ以テ破壊困難ナル部分ニ對シテハ一五珊五重砲ヲ用ウルモノトス障礙物ハ第一、第二陣地帯ノモノヲ同時ニ破壊スルヲ有利トス而シテ此ノ目的ニ使用スル砲兵ニハ正確ニ任務ヲ區分スヘシ五珊八迫撃砲ハ近距離ニ在ル障礙物ニ對シ正面、斜方及側方ヨリ有利ニ破壊射撃ヲ實施シ得ルモノニシテ七珊五野砲ハ少クモ三千五百米迄ハ破壊口ヲ開設スルヲ得、一五珊五重砲ハ此ノ以上ノ距離ニ在ルモノニ對シ或ハ野砲ヲ以テスル破壊困難ナル急斜面上ノ障礙物ニ對シ使用スルモノトス

射撃觀測ヲ十分ニ行ヒ得ル鐵條網ニ對シテハ容易ニ破壊口ヲ開設シ得ルモノナリ



## 第三款 塹壕、掩蔽部ノ顛覆

野戰砲、重砲、迫撃砲ヲ以テ之ヲ行フ而シテ障礙物破壊ト同時ニ實施スルモ成シ得レハ其ノ以前ニ行フ可トス

迫撃砲兵ハ射程ノ許ス限リ成ルヘク多ク使用シ以テ重砲ヲ他ノ役務ニ供スル如クスヘシ  
 攻撃開始前數日間砲兵ハ其ノ極度ノ威力ヲ發揮スル爲多ク斜射、縱射ヲ行フヘシ斜射、縱射ハ正面射ニ比シ卓越セル效力ヲ有スルモ横方向ノ連絡ハ甚タ困難ナルモノナルヲ以テ攻撃開始ニ當リテハ屢正面射ニ復歸セシムルヲ要スルコトアリ殊ニ攻撃歩兵ト直接連絡シテ動作スル砲兵ニ於テ然リトス此ノ如キ砲兵ノ正面射ハ攻撃開始前ニ於テ最大ノ注意ヲ拂ヒ豫メ準備スルコト必要ナリ

## 第三節 敵砲兵ニ對スル射撃

敵砲兵ニ對スル射撃ハ次ノ目的ヲ以テ行フモノナリ

一 其ノ位置ヲ確認シ或ハ現ニ射撃中ナル敵ノ全砲兵ヲ破壊ス

二 破壊シ得サル砲兵ヲ制壓ス

敵砲兵ニ對スル射撃ハ長時日ニ亘リ眞面目ニ實施スヘシ

砲戰ハ試射及敵砲兵陣地ノ探求ヨリ始マルモノナリ砲兵ノ緒戰ニ方リテハ既知ノ敵砲破壊ニ必要ナル砲數ヲ使用スヘシ此ノ砲數ハ集中火ニ依リ大ナル效果ヲ發揚スルヲ主眼トシ優勢ナルヲ要ス

敵ノ新砲兵現出セハ新參加砲兵ヲ以テ之ニ對シ射撃セシメ常ニ前同様ノ效果ヲ得セシムヘシ而シテ軍砲兵ハ此ノ射撃ノ目的ニ依リ軍團砲兵ニ増加セラルルモノナリ

即チ攻撃軍ニハ砲戰ノ爲砲數並威力ニ於テ十分優勢ナルヘキ砲兵ヲ配屬セサルヘカラス

砲戰ノ主ナル責任者ハ軍團長ナリ故ニ軍團重砲兵隊長ハ歩兵師團長ト連絡ヲ確保シ以テ敵砲兵ニ關シ歩兵ノ觀測セル諸情報並歩兵ノ最痛痒ヲ感スル敵砲兵ニ就キ情報ヲ得ルコトヲ努ムヘシ而シテ我カ歩兵ニ

直接苦痛ヲ與フル敵砲兵ニ對シテハ特ニ有效ナル射撃ヲ加ヘサルヘカラス

敵陣地ニ對スル破壊射撃ヲ開始セハ敵砲兵ニ對スル戰闘ハ特ニ顯著ナル效果ヲ發揚スル如ク指導セサルヘカラス從テ此ノ時以後砲兵戰ハ漸次猛烈トナルモノナリ而シテ我カ歩兵ノ攻撃時ニ方リテハ敵砲兵ハ遂ニ其ノ戰闘力ヲ失フニ至ル如クナラシメサルヘカラス

一度砲戰ヲ開始セハ會戰間斷ナク之ヲ繼續スヘシ又砲戰砲兵ト雖步兵攻撃ニ伴ヒ透次ニ陣地ヲ推進スヘシ之カ爲新陣地ハ前以テ步兵塹壕ノ附近ニ準備シ適時ノ躍進ニ供スルヲ要ス然レトモ其ノ際長キ射撃ノ中斷期ヲ生セシムルコトハ努メテ避ケサルヘカラス是後退セル敵砲兵ヲシテ再ヒ戰闘ヲ開始シ又ハ新來ノ砲兵ヲシテ隨意ニ戰闘ニ參加セシムルニ至ルヘケレハナリ

軍ノ砲兵指揮官ハ軍團ノ爲其ノ大射程砲(大威力重砲、列車重砲共)ヲ機ニ投シ使用スルコトニ躊躇スヘカラス軍ノ大射程砲ニ課スヘキ任務中ノ第一要件ハ敵砲兵ニ對スル戰闘ナリ



註 敵砲兵中隊破壊ノ爲ニハ正確ナル試射、確實ナル観測及十分ナル砲彈ヲ必要トス而シテ如何ナル威力ノ砲兵及彈藥ヲ使用スベキヤハ目標砲兵掩護ノ程度ニ關ス

七 五野砲彈ハ掩護ナキ砲兵ノ破壊容易ナリ其ノ掩護下ニ在ルモノニ對シテハ彈著ノ正確ヲ利用シ砲門射撃ヲ行フヘシ密著ノ破壊ハ強裝藥彈丸ヲ以テスルヲ要ス之カ爲一五 五加農又ハ榴彈砲、二 二 砲或ハ其レ以上ノ大威力榴彈砲ヲ用テ敵砲ノ制壓ハ其ノ破壊ニ比シ實效ヲ舉クルモト容易ニシテ且迅速ナリ正確迅速ナル效力射ヲ受クル敵砲兵ハ其ノ射撃ヲ續行スルコト稀ニシテ一旦掩蔽部下ニ入ルヤ此ノ砲兵ハ遂ニ沈黙スルニ至ルモノナリ

敵砲兵ノ制壓ハ使用スル火砲ノ口径ヨリハ寧ロ發射速度ニ大ナル關係ヲ有ス七 五野砲及一〇 五加農ハ此ノ目的ニ適ス而シテ敵砲一門ニ對シ一分二發ヲ送ルヲ基準トスヘク從テ野砲一小隊ハ敵砲兵一中隊ノ制壓ニ任スルコトヲ得

步兵ノ攻撃實行間ニ於テハ敵砲兵ヲシテ沈黙シアラシムルヲ必要トスルヲ以テ其ノ制壓射撃ハ主トシテ攻撃當日ニ行ハルヘキモノナリ之カ爲攻撃開始以前ニ於テ其ノ諸準備ヲ完了シ置クヲ要ス此ノ準備ノ爲目標ノ決定、試射ノ實施等ハ諸情報ノ研究ト空中及地上観測ニ依リ行フヘク試表尺ハ毎日之ヲ決定シ時期至ルヤ之ニ任スヘキ全砲兵ハ第一發ヨリ效力射ヲ爲シ得ル如クセサルヘカラス

第四節 攻撃直前ノ砲撃及守兵ニ對スル補助行動

步兵ノ攻撃開始ニ方リテハ先ツ全砲兵ヲ以テ敵ノ全陣地ニ對シ射撃ヲ行フ此ノ射撃ハ繼續時間不同ニシテ且不规则ナル間隔ヲ有セシムヘキモノナリ此ノ間隔ノ目的トスル所ハ敵ヲシテ我カ突撃發進ノ時機ニ疑念ヲ挾マシムルニアリ蓋シ斯ノ如クセハ敵ハ理由ナク掩蔽部ヨリ進出シ火線ニ就キ無益ノ損害ヲ受クルニ至ルモノトス而シテ其ノ回ヲ重ヌルニ從ヒ敵ハ漸次火線ニ就クコトヲ躊躇スルニ至ルヘク終ニ我カ軍ハ何等突撃發進ノ前兆ヲ敵ニ與フルコトナクシテ有利ニ攻撃ヲ開始シ得ルモノナリ

第五節 修正及観測

射撃ハ正確ニ修正セラレ得ルニアラザレバ效力全キヲ得ス而シテ修正ハ各砲毎ニ行フヲ屢有利トス

第一款 観測

正確ナル修正ノ爲ニハ適切ナル観測機關ヲ必要トシ之ヲ地上及空中ニ分ツ  
空中観測機關ノ編成及其ノ用法ハ特別ナル規定ニ據ルヘシト雖之ニ一任シテ地上観測ヲ廢スルコトハ絶對ニ禁止セサルヘカラス

第二款 観測所

地上観測ハ二種ノ観測所ニ依リ行ハル

- 一 目標殊ニ活動中ナル敵砲兵陣地ヲ發見シ之ヲ研究スルヲ主トスルモノニシテ砲兵團ノ指揮官ニ屬スルモノ



二 射撃ノ修正ニ任スルモノニシテ砲兵大隊ニ屬スルモノ  
 第一ノ觀測所ハ廣濶ナル視界ヲ有シ且戰線ヨリ適度ニ離隔シアルヲ要ス  
 第二ノ觀測所ハ極メテ明瞭ニ目標ヲ望見シ得ルヲ要ス曇天ノトキト雖然リ從テ敵線ニ接近シアラサルヘ  
 カラス而シテ此ノ要求ノ範圍内ニ於テ視界ノ大ナルヲ可トス  
 觀測所ノ偵察選定ハ砲兵準備作業ノ主要ナル部分ヲ占ム是觀測所ノ適否ハ砲兵ノ活動上ニ甚大ナル影響  
 ヲ有スルモノナレハナリ

第三款 觀測者ノ選擇

觀測適任者ノ選定、其ノ周到ナル特別教育、觀測者及砲兵陣地間ノ確實ナル連絡法ノ編成ハ砲兵將校特  
 ニ大隊長ノ常ニ留意スヘキ要件ナリ觀測不十分ナル砲兵ハ我カ步兵ノ爲何等ノ效果ヲ發揚セサルノミナ  
 ラス時トシテ斯ノ如キ砲兵ハ寧ロ有セサルノ可ナルコトアリ  
 中隊長ハ屢自ラ觀測ヲ行フヲ有利トス其ノ射撃特ニ重要ナルカ又ハ精巧ナル指揮ヲ要スルトキニ於テ殊  
 ニ然リトス

第四篇 攻撃實行

第一章 步兵ノ攻撃目標竝兵力

編者曰ク 本章ハ攻撃計畫ノ部ニ記スラ適當トスルモノナルモ攻撃實行ト密接ノ關係アルヲ以テ本篇

ニ編入スルコトトセリ

第一節 攻撃目標

軍團及師團ニ附與スヘキ任務ハ攻撃目標及稍遠距離ナル第二攻撃目標ヲ指示スルコトニヨリ明確トナル  
 モノニシテ此ノ攻撃目標(第二攻撃目標ニアラス)ハ敵ノ壘壕及砲兵陣地等ヨリ成ル一ノ陣地帯ナリ  
 第一線師團長ハ其ノ任務ヲ達成スル爲步兵旅團及聯隊ニ一乃至數箇ノ攻撃目標ヲ與フ該部隊ハ砲兵ノ援  
 助ニ依リ少クモ此ノ目標ヲ奪取スルモノトス  
 各團隊ニ附與スヘキ第二攻撃目標ハ攻撃目標奪取後連續シテ行フヘキ後方陣地ノ偵察ニ指針ヲ與ヘ或ハ  
 獲得セル效果ノ發展ヲ企圖セル方向ニ自然ニ協力進歩セシメ又ハ之ヲ指導スルニ便ナラシムルモノニシ  
 テ攻撃目標ノ後方ニ選定スルモノナリ然レトモ若干ノ正面ニ於テハ戰術上ノ理由ニヨリ攻撃ニ際シ縱深  
 淺キ制限セラレタル目標ノミヲ與ヘ第二攻撃目標ヲ附與セサルコトアリ此ノ場合ニ於テハ要スレハ此ノ  
 目標ヲ占領シタル歩兵カ尙敵陣地ヲ超越シテ前進スルコトナカラシムル爲特ニ命令ヲ與フルコトヲ得  
 攻撃ハ敵ニ戰鬪能力ヲ復活セシメサルト敵砲ヲ奪取スルトノ爲第一突撃ニ於テ果敢神速ニ指導セサルヘ  
 カラス又敵力長時日ヲ費シテ設備セル陣地帯ノ後方ニ最迅速ニ到達セム爲連續實施セシムルコト必要ナ  
 リ  
 攻撃團隊ハ隣接團隊ノ行動ニ顧慮スルコトナク局部ノ頑強ナル抵抗ニ會スルカ或ハ破壊不十分ナリシ障



碍物ニ遭遇シ更ニ破壊ヲ要スル所迄銳意第二攻撃目標方向ニ直進スヘシ而シテ此ノ前進中ニ於ケル停止ハ上級指揮官ノ適時ニ下ス命令ニ依ルヘキモノナリ蓋シ之ヲ命セサルトキハ指揮官ハ其ノ部下各隊ノ凝結力ヲ失ヒ遂ニ其ノ隊ヲ有利ニ使用スルヲ得サルニ至ルヘケレハナリ

攻撃ニ缺クヘカラサルハ常ニ指揮ノ存在スルコト是ナリ斯クテ隊伍ノ堅確ハ保持セラルヘシ隊伍紊亂セハ隊長ハ其ノ隊ノ戰鬥力ヲ發揮スルコト能ハサルヲ以テ紛戰間ニ生シ易キ混亂ハ至大ナル注意ヲ以テ避ケサルヘカラス要スルニ步兵戰鬥ニ於テ秩序ノ維持ハ即チ迅速ナル攻撃進捗上ノ要件タルモノナリ

第二節 兵力部署

攻勢會戰ハ廣正面ニ亘リ且縱長ニ區分セラレタル部隊ヲ以テ實行スヘキニ依リ之ニ要スル兵力ハ莫大ナリ故ニ攻撃團隊ハ戰術上ノ要否ヲ顧慮シ實行上眞ニ必要缺クヘカラサル兵力ノミヲ參加セシメ尙各正面必スシモ平等ノ密度ヲ有セシムルコトナク以テ兵力ノ節約ヲ計ラサルヘカラス大單位部隊ニ攻撃正面ヲ配當スルニハ攻撃ノ發展容易ナルヘキ地區ヲ擔任スル團隊ニ對シテハ比較的狹少ナル正面ヲ與ヘ縱長區分ヲ大ニシ強大ナル豫備ヲ有スルヲ得セシメ縱深大ナル敵陣地ニ對シ攻撃ノ連續ト迅速ナル戰果ノ擴張力トヲ賦與スル如クスルヲ通常トス之ニ反シ一部隊ノ攻撃正面カ直接戰鬥ノ進捗ニ困難ニシテ隣接部隊ノ攻撃進捗ニヨリ始テ當面ノ敵陣地奪取ヲ豫期シ得ル如キトキハ其ノ攻撃正面ハ比較的大ナラシムルヲ得ヘシ

第二章 第一期攻撃

第一節 步兵攻撃ノ要則

步兵ノ攻撃ハ絶對ニ指揮ヲ混亂スルコトナク確實ナル掌握ノ下ニ行ハルル戰鬥ナラサルヘカラス

攻撃ハ達スヘキ最後ノ作戰目標迄一氣ニ蔘進スヘキ單一ナル突撃ニハアラス凡ソ發生スヘキ情況ヲ顧慮セサル野猪的突進ハ群鳥ノ如キ雜沓ヲ惹起シ方向ヲ失墜シ部隊ハ全ク蒐收スヘカラサル混亂ニ陥ルモノナリ此ノ混亂即チ指揮ノ錯亂ト突撃後ニ於テ最緊要ナル歩砲兵協同ノ放棄トハ實ニ從來佛軍ノ實驗セル苦キ經驗ナリ

- 一、 攻撃動作ハ攻撃間ニ生スル事件ヲ洞察シ既知ノ情況(戰場ノ地形、敵ノ陣地設備、隣接部隊ノ行動)ヲ基礎トシ豫メ研究準備セラレタルモノタラサルヘカラス
  - 二、 各部隊ノ攻撃部署ハ豫期セル戰鬥ノ實情ニ適合スヘク此ノ各區分ノ單位ハ明確ナル目標及任務ヲ有シ其ノ長ハ之ヲ指揮スルニ適當ナル位置ニ在ルヘシ
  - 三、 戰鬥ノ進捗ハ常ニ確實ニ指揮掌握シ秩序ヲ維持シ歩砲ノ連繫ヲ確保シ得ルヲ主眼トシテ指導スヘク決シテ之ヲ破壊セサルヲ要ス
- 攻撃ハ次ノ二時期ヨリ成立スルヲ通常トス



一 攻撃目標ノ奪取

一 攻撃目標ヲ超越シテ行フ戦果ノ擴張

攻撃目標ハ砲兵攻撃準備射撃ノ最終ニ連続シテ一舉ニ行フ突撃ニ依リ奪取セサルヘカラス  
突撃奏功セハ直ニ避クヘカラサル隊伍混淆ノ整理ヲ行ヒ且士卒ノ精神ヲ沈静ナラシムルヲ要ス此ノ動作  
ハ實ニ大隊長以下半小隊長ニ至ル各級指揮官ノ獨斷的努力ニ待ツヘキモノナリ即チ各級ノ指揮官ハ隊伍  
ヲ整頓シ部下ヲ沈著セシメ隊形ヲ整備シ幹部ノ損失ヲ補ヒ以テ其ノ隊ヲシテ秩序アル冷靜ナル態度ニ復  
歸セシメサルヘカラス

攻撃目標奪取後ニ於テハ當面ノ敵情ヲ看破シ若乘スヘキ機會ヲ發見セハ果敢ナル決心ト旺盛ナル攻撃精  
神ヲ以テ躊躇スルコトナク攻撃ヲ續行シ猛烈ニ敵ヲ壓迫シテ其ノ戦果ノ擴張ヲ企圖セサルヘカラス  
敵兵既ニ新陣地ヲ占領シ第一突撃ニ直續シテ之ヲ奪取スヘキ機會ヲ得サルトキハ之ニ對スル近接運動ハ  
新ナル戦闘部署及前進計畫ニ從ヒ秩序正シク迅速ニ實施セサルヘカラス此ノ際ニ於テ急速喧噪紊亂セル  
前進ハ特ニ戒ムヘキモノトス

第二節 歩兵師團ノ攻撃部署

歩兵師團ノ攻撃部署左ノ如シ

一 旅團ヲ重疊シ各旅團ハ其ノ聯隊ヲ併列ス

二 旅團ヲ併列シ各旅團ハ其ノ聯隊ヲ重疊ス例外トシテ聯隊ヲ併列スルコトアリ

此ノ部署ノ選定ハ達スヘキ目的ニヨリ定マル即チ攻路スヘキ地域ノ深淺、打破スヘキ障礙ノ程度、豫期  
スル戦果ノ擴張等是ナリ奪取スヘキ敵陣地ノ攻撃兵力一旅團ニテ足ルト判斷シ爾後猛烈ナル戦闘ノ進捗  
ヲ豫期スル場合ニハ旅團ヲ重疊スヘク之ニ反ストキハ併列スヘシ  
指揮ノ系統ハ攻撃ノ全期間ヲ通シ前後ニ重疊スル如ク區分シ努メテ長少部隊ノ混淆ヲ避クルヲ要ス(編  
者曰ク各團隊ハ成ルベク其ノ單位ヲ重疊シテ使用スヘキコトヲ指スモノナラム)

攻撃目的ノ達成ニ必要ナル戦闘ノ繼續ハ同一指揮官ニ屬スル諸單位部隊ノ重疊配備ヲ以テスル戦闘ノ一  
系ニ依リテノミ實行シ得ラルルモノナリ

攻撃師團歩兵ハ通常次ノ三梯隊ニ區分ス

第一戦闘梯隊(攻撃部隊)

攻撃部隊ニシテ攻撃目標奪取ノ爲必要ナル攻撃波ヲ成形ス

攻撃目標攻路後敵ニ乘スヘキ機會ナク爾後新陣地ニ對シ戦線ヲ推進セシムルニ當リテハ第一線ト其  
ノ直接ノ援隊トニ區分ス此ノ際此ノ攻撃部隊長タル聯隊長ハ隊ノ先頭ニ位置シ之ヲ指揮スルモノト  
ス

第二戦闘梯隊(支援部隊)



旅團長ノ直轄スル第一戦闘梯隊ノ支援部隊ニシテ同隊ノ攻撃ヲ援助シ之ヲ増加ス  
實驗ニ依ルニ適當ニ準備セラレタル攻撃ニ於テハ攻撃部隊ノ損失ハ其ノ兵員ノ三分ノ一ニ達スルモ  
ノナリ(死傷者、失踪者、俘虜及誘導者等)故ニ第二戦闘梯隊ノ兵力ハ此ノ第一戦闘梯隊ニ生スル損  
失ニ準據シテ定ムヘキモノトス

一 攻撃目標(通常敵ノ陣地帯)ニ對スル攻撃ハ以上第一、第二戦闘梯隊ニヨリ實施セラルルヲ原則  
トス而シテ其ノ兵力ハ師團歩兵ノ二分ノ一(旅團重疊ノ場合)又ハ三分ノ二(旅團併列ノ場合)ニ相  
當ス

第三戰鬥梯隊(豫備隊)

師團長ノ直轄スル豫備隊ニシテ機ニ投シ戰果ヲ擴張スルヲ主ナル目的トシ尙不慮ノ戰況ニ應ジ戰鬥  
ニ依リ困憊又ハ消耗セル前方梯隊ヲ交代スルニ供ス

各戰鬥梯隊間ニ維持スヘキ距離ハ適時迅速ナル支援ヲ缺カサル爲小ナルヲ要スルモ兩者相混淆シ又  
ハ二梯隊同時ニ敵砲火ノ有效射界内ニ入ラサルヲ度トシ離隔セサルヘカラス

各戰鬥梯隊ノ前進ハ第一戰鬥梯隊ノ戰鬥進捗ニ伴フモノナルモ第二戰鬥梯隊ガ直接戰鬥ニ參加スルカ或  
ハ第三戰鬥梯隊ヲ以テ豫期スル機動ヲ行フトキ等ニアリテハ各其ノ直屬スル師、旅團長ニヨリ特ニ指示  
セラルヘキモノトス

第三節 攻撃歩兵ノ隊形

第一戰鬥梯隊ハ縱長ノ區分ヲナシ突撃部隊及豫備隊ヲ編成ス

突撃部隊ハ數突撃波ニ區分シ其ノ各波ハ散開スルカ又ハ直ニ散開シ得ル隊形ヲ採用ス

第一戰鬥梯隊ノ豫備隊及第二戰鬥梯隊ハ指揮運動ニ便ナル小縱隊ヲ横接セル隊形トナリ指揮官ノ命令ヲ  
待テ戰鬥ニ加入ス

第一款 突撃隊

突撃隊ハ成ルヘク長ク掩蔽部ノ庇護ヲ受ケ得ル爲突撃直前ニ至リ始テ突撃隊形ヲ採ルモノトス

突撃隊形ハ三又ハ四箇ノ突撃波ヨリ成ル

突撃部隊タル第一線大隊ハ二中隊ヲ突撃中隊トシテ第一線ニ併列シ二中隊ハ増援中隊トシテ第二線ニ併  
列ス

第一線中隊ハ通常二突撃波(時トシテ二以上ナルコトアリ)ヲ爲シ第二線中隊モ亦之ヲ一又ハ二波ニ區分  
ス

敵陣地奪取ノ爲最良ノ隊形ハ迅速ニシテ且同時ニ行動シ得ル展開隊形ナリ而シテ第一線突撃中隊タルニ  
突撃波ハ散開隊形トナリ前進シ増援中隊ハ分隊又ハ半小隊毎ノ一列側面縱隊ヲ併列セル一又ハ二波ヲ以  
テ發進シ大隊長ノ要求ニヨリ始テ散開シ増援ス



編者曰ク「シムム」會戰前佛軍步兵大隊内ノ一箇中隊ハ八銃四小隊ヨリ成ル機關銃中隊ニ改メラレ歩兵中隊ノ編制モ亦改正セラレタリ此ノ新編制ニ依ル歩兵大隊ノ突擊區分ハ本月報第二十號歐洲戰爭ニ於ケル機關銃ノ戰術ノ用法附圖ヲ參照スヘシ

大隊長及増援中隊長ハ時機ニ先チ其ノ増援中隊カ突擊中隊ニ混入セサルコトニ注意スヘシ

註 攻撃間ニ於ケル監視ヲ容易ニスル爲大隊毎ニ明瞭ナル識別記號ヲ附スルモノアリ

出發ニ際シ突擊大隊ノ集團ヲ敵砲兵ノ猛射ヨリ避ケシメム爲ニハ突擊陣地帯ヲ略突擊隊形ニ應スル數線ノ平行セル塹壕ヨリ成立セシメ其ノ發進區處ヲ容易ナラシムル如クスルヲ要ス

突擊諸部隊ヲシテ攻撃發進時ニ於テ敵ノ塹壁射撃ヨリ脱逸セシムル爲發進前其ノ全部ヲ第一線突擊陣地上ニ推進シ置タラ有利トスルコト屢アリ然ルトキハ同時ニ發進シ爾後必要ナル縱長距離ヲ採ルモノトス

第二款 後方梯隊

第一戰團梯隊ノ豫備隊及第二戰團梯隊ハ情況ニ依リ攻撃開始時ノ現位置ヨリ直ニ自然地上ニ出テ前進

シ或ハ第一線諸大隊(突擊部隊)ノ發進後交通壕ニ據リ前進シ準備ノ位置ニ就キタル後突擊陣地帯ヨリ發進ス

後方部隊ハ運用容易ナル數多小縱隊ノ梯置セル隊形ヲ以テ前進スルモノナリ

第三戰團梯隊及軍團豫備ハ與ヘラレタル命令ニ從ヒ情況ニ適スル如ク其ノ隊形及運動ヲ規正ス

第三款 特種部隊

攻撃歩兵ト同行スル特種部隊(砲兵觀測者、工兵、火焰放射隊等)ハ成ルヘク早ク關係歩兵部隊ニ派遣シ以テ相互間ニ親密ナル觸接ヲ保持シ得ヘカラスムヘシ其ノ任務並攻撃區分内ニ於ケル位置等ハ其ノ所屬隊ノ攻撃命令ニ依リ指定セラルルモノトス

第四款 後方陣地帯ニ對スル接近

各陣地帯間或ハ一陣地内ノ重要ナル工事線間ニハ何等前進ノ爲障礙物ヲ有セサルコトアルノミナラス混亂セル敵ノ新陣地ニ於ケル配備機ニ合セサル結果比較的火力ヲ以テスル抵抗ヲ受ケサルコトアルヘシ斯ノ如キ地區ノ通過ニハ突擊隊形ヲ廢シ斥候ノ掩護ノ下ニ所謂近接隊形ヲ用ク而シテ此ノ際ニ於テハ速ニ建制ヲ恢復シ縱長區分ヲ明ニシ迅速ニ敵陣地ニ到達シ展開シテ攻撃ヲ續行セサルヘカラス

第四節 突擊



## 第一款 突撃隊

突撃小隊ハ障礙物ヲ超エ會遇スル諸壘壕内ニ降下スルコトナク敢然之ヲ超越シ（超越法ヲ準備スルヲ要ス）先行移進スル砲兵ノ火煙幕（編者曰ク 砲兵ハ歩兵ノ攻撃開始ト共ニ其ノ前面ニ設クル塙壁射撃ノ火煙幕ヲ逐次先行移進セシム）ニ直續追進ス而シテ此ノ間隊伍ノ秩序ヲ維持スル爲攻撃目標ニ到達スル以前ニ中間目標點ヲ定メ若干停止ノ時間ヲ得ル如ク豫テ砲兵ト協議シアルコト必要ナリ然レトモ騎虎ノ勢ニヨリ此ノ停止ノ行ハレサルコトアルヘキヲ願慮セサルヘカラス

突撃部隊ハ所命ノ攻撃目標ニ到達スルヤ直ニ敵トノ觸接ヲ保チ又敵新陣地偵察ノ爲小部隊ヲ派遣ス此ノ部隊ハ任務達成上敵陣地前ノ一地點ヲ占領スルコト必要ナルモ敵砲兵、掩蔽部、諸工事等ヲ破壊スヘキ單一任務ヲ以テ派遣セラレ一地點ヲ占領ノ任務ヲ課セラレサルコトアリ

佛軍從軍武官ノ報告ニ依ルニ此ノ部隊ハ手榴彈要スレハ火焰放射器ヲモ携行シ我カ奪取陣地前ヲ掃蕩スルモノニシテ千九百十六年十二月「ヴェルダン」ノ佛軍恢復攻撃ニ於テハ此ノ部隊ハ獨軍砲兵ノ多數ヲ破壊シタリト云フ而シテ此ノ時機ハ敵ニシテ瓦解スルニ至ラサレハ其ノ猛火ヲ再興シ恢復攻撃ヲ決行スヘキトキナルヲ以テ此ノ小部隊ノ行動ハ我カ塙壁射撃圈内ニ實施スル如ク豫メ計畫スヘキコト勿論ナリ

此ノ偵察竝自己ノ判斷ノ結果情況之ヲ許スヘキ好機ト認メタルトキハ突撃部隊ノ諸隊長（中、大、聯隊

長）ハ其ノ自力ヲ以テ最急速ニ獨斷活動ヲ開始シ戰果ヲ擴張スヘキ絶對的責任ヲ有ス唯此ノ動作ニ對シ新銳部隊ノ増加ヲ必要ト感セシトキノミ直ニ其ノ長官ニ報告スルモノナリ（編者曰ク 此ノ連續スル戰果ノ擴張ハ次節ニ詳述ス）

偵察ノ結果攻略セシ目標ヲ確實ニスルノ緊要ナルヲ認メタルトキニハ突撃部隊ハ機ヲ逸セス占領陣地上ニ工事ヲ施スヘシ而シテ此ノ際各隊長ハ連續攻撃スヘキ敵ノ新陣地ニ對シ砲兵ノ準備射撃ヲナスニ適當ナル觀測所ヲ求メ機ヲ失セス報告及通報スルコト必要ナリ

## 第二款 掃除隊

掃除隊ハ突撃部隊ノ區分中ニ編入セラレ突撃隊ニ續行シ配當セラレタル任務ニ從ヒ既ニ突撃波ノ超越シタル敵ノ壘壕内ニ突入シ殘留セル敵守兵ヲ掃蕩シ（壘壕用刀、爆彈、特別ノ銃等ヲ使用ス）其ノ占領ヲ確實ニス換言スレハ攻略セル敵陣地ヲ確實ニ奪取シ以テ突撃部隊ヲシテ後方ニ殘留セル敵守兵ニ依リ射撃セラレ或ハ後方部隊カ突撃部隊ニ隨伴前進中不意ノ抵抗ニ依リ急襲ヲ蒙ルカ如キコトナカラシムルニアリ

又掃除隊ハ要スレハ突撃部隊ニ協力シテ其ノ不意ノ失敗ヲ制限シ又ハ敵ノ恢復攻撃ヲ阻止セサルヘカラス要スルニ掃除隊ノ任務ハ頗ル重要ナリ故ニ豫メ必要ト判定セラルル兵力ハ決シテ惜ムコトナク之ニ充當スヘシ



第三款 増援中隊

突撃波カ敵ノ抵抗ニ依リ餘儀ナク阻止セラルルニ至レハ逐次隨進スル増援中隊ノ各波ハ直ニ之ヲ増援シテ突撃ヲ續行ス斯ノ如クシテ第一線突撃大隊ハ逐次ニ全兵力ヲ使用スルニ至ルモノトス  
機關銃中隊ハ速ニ目標陣地ヲ奪取セル突撃波ヲ増援シ其ノ猛烈ナル射撃威力ヲ以テ敵ノ恢復攻撃ヲ擊退ス攻撃間ニ於テ攻撃精神旺盛ナル機關銃ノ勇敢ナル動作ハ益同銃ノ價值ヲ増大スルモノナリ  
歩兵ニ配屬セラレタル速射輕砲(三七密砲)ハ敵ノ機關銃ヲ撲滅シ土囊壁、小阻絶等ヲ破壊ス

第四款 後方梯隊

第一線突撃大隊ヨリ後方ナル各豫備部隊ハ戰況ニ依リ突撃部隊ヲ増加シ又ハ機動的攻撃參加ノ準備ヲ完フシツツ前進ス此ノ各梯隊ノ幹部ハ嚴格ニ其ノ秩序ヲ維持シ尙不意ノ情況ニ誘ハレテ過早ニ戰闘ノ渦中ニ混入スルコトヲ避クルニ努力セサルベカラズ  
所命ノ目標奪取成功セハ次ニ來ルベキ努力ハ其ノ效果ノ發展ニアリ之カ爲突撃部隊尙自力ヲ以テ攻撃ヲ進捗セシメツツアル場合ニハ後方梯隊ハ近ク續行シテ其ノ攻撃ヲ推進シ支持ス然レトモ之ニ反スル場合ニ於テハ決然突撃部隊ヲ退過シテ斷然戰闘ニ加入スルモノトス  
情況ニ投シ神速ニ行動セム爲後方梯隊長ハ突撃時ニ於テハ直前ナル隊長ノ位置ニ在ルヲ一般トス次テ常ニ部下部隊ニ先行シ兼テ前方隊長並所屬指揮官ト連絡ス而シテ其ノ隊ノ運用ハ全ク當時ノ情況ニ依ル

ヘク獨斷以テ機會ニ投セサルベカラズ此ノ隊長カ「命令ナシ」トノ口實ノ下ニ無爲ナルコトハ斷シテ許スヘカラサルモノナリ

聯、大、中隊長カ突撃進捗ニ専心ナル間ニ於ケル師、旅團長ノ努力ハ豫備部隊ヲ進メテ常ニ戰況ノ求メニ應スル準備ヲナシ又ハ戰果ノ擴張及局地抵抗排除ノ爲手裡ノ部隊ヲ機動的ニ使用シテ突撃部隊ト協力セシメ或ハ攻撃進捗困難ナル部隊ノ爲ニ隣接部隊ノ協力行動ヲ律スルコト等ノ點ニ專ラ注カレヘシ而シテ攻撃目標ノ奪取成功シ且必要ナル新敵情ヲ得ルニ至レハ戰果ヲ徹底的ニ擴張スヘキ總テノ機會ヲ捕捉スヘシ之カ爲各隊長ハ何レモ其ノ最後ノ豫備隊ヲ戰闘ニ加入セシムルコトニ躊躇スルコトアルベカラズ

師團長ノ動作ハ其ノ歩兵ノ爲ニ特ニ部下砲兵ノ使用ニ係ルヘキハ勿論尙軍團砲兵ノ行動ニモ及フヘク之ヲ戰闘間ニ於ケル師團長ノ根本的責務トナスモノナリ而シテ此ノ責務ハ師團長カ常ニ其ノ歩兵ノ戰況ヲ知悉シ且其ノ上級指揮官ヲシテ適時之ニ通曉シアラシムルコトニヨリテノミ遂行シ得ルモノトス

第五款 歩兵用迫撃砲

歩兵ニ配屬セラレタル迫撃砲ハ攻撃實行間其ノ全部又ハ一部ヲ分解シ前進ヲ準備シアルヘシ而シテ戰闘ノ進捗ニヨリ情況之ヲ許スニ至レハ豫定セル地點ニ推進シ有利ナル陣地ニ放列ヲ布置シ以テ歩兵ニ適切



ナル協力ヲナスモノトス此ノ際第一回ニ於ケル彈藥ノ運搬ヲ砲兵自身ノミニテ行フハ頗ル困難ナルコトナレハ歩兵ハ適時之ヲ援助スルヲ要ス

第六款 工兵部隊

攻撃部隊ニハ歩兵作業兵ノ外ニ工兵部隊ヲ配屬ス此ノ工兵部隊ハ前方歩兵部隊ニ隨伴前進スルヲ適當トスルモ其ノ用途ハ寧ロ技術的作業ニ從事セシムヘキ臨機使用ノ作業豫備隊ト考ヘ徒ニ消耗スルコトナキヲ要ス

編者曰ク 工兵ハ塹壕中特ニ重要ナル部分ノ作業ヲ實施シ司令所ヲ作り機關銃ニ協力シテ其ノ掩蔽部ヲ構築シ迫撃砲ノ放列布置ニ援助ヲ與ヘ夜間鐵條網ヲ設置シ又砲兵ニ依リ破壊スルコト能ハサリシ敵ノ鐵條網ニ對シ爆藥筒ノ使用ニ任ス而シテ此等ニ要スル作業材料ハ突擊陣地内ノ倉庫ニ準備スヘキモノトス

第七款 指揮官ノ位置

各級攻撃指揮官ハ戰闘地ヲ目視シ情況ヲ未然ニ判知シ機ヲ失セス戰闘ノ指揮ヲ行使シ得ル如ク戰線ニ近ク位置スヘシ之カ爲攻撃開始時ニ於ケル各級指揮官ノ位置概ネ左ノ如シ

- 大、聯隊長 第一線ニ
- 旅 團 長 第一線或ハ第二線掩蔽部ノ齊頭線上或ハ其ノ近傍ニ

師 團 長

師團縱長配備ニアルトキハ通常師團豫備ノ前方ニ

司令所ハ常ニ良好ナル監視所(展望所)ト併セテ設置スヘシ

戰闘ノ經過間ニ於テハ其ノ進捗ニ伴ヒ轉移ス而シテ其ノ位置ハ情報集散ノ中心ニシテ豫備部隊ノ近傍(成シ得レハ前方)ナルヲ可トス

第八款 資材

突擊ニ際シテハ必要ナル資材ノ運著セサルコト殊ニ資材ノ缺乏ニヨリ戰闘行動ヲ阻害スルカ如キコトナキ様十分ナル注意ヲ拂ハサルヘカラス

各人ハ瓦斯防護覆面、彈藥(百五十發)、手榴彈ヲ携帯シ其ノ帶革ニハ工具及二箇ノ土囊ヲ附著スヘシ

擲彈兵ハ特別ナル雜囊又ハ手榴彈籠ヲ有シ小銃ノ外ニ尙一小刀ヲ所持シ他ノ器具ヲ輕減ス小銃彈ハ五十發ヲ有スルノミ

塹壕掃除隊ニハ小銃(多數ノ彈藥共)或ハ特別小銃、塹壕用小刀及手榴彈ヲ携行セシム

突擊隊ニハ Thompson 機(小銃ヨリ發射シ鐵線ヲ切斷スルモノ)及銃ヲ配當ス此ノ分配ハ攻撃數日前ニ終ルヘシ是各兵ヲシテ其ノ使用ニ習熟セシメムカ爲ナリ

兵卒ハ背囊ヲ負フコトナク天幕、携帶糧食一日分及充水セル水筒ヲ帶フ



大隊又ハ中隊ノ彈藥、資材集積所ハ第一線突擊陣地内ニ設備セラレ小銃、彈藥、土囊、鐵線、小杭、工兵廠器具、手榴彈、爆藥、電線、電話器ノ豫備器材ヲ有ス而シテ此ノ運搬ニ任スヘキ部隊ハ豫メ塹壕守備兵或ハ作業兵等ヨリ區分任命シ置クヘキモノトス  
貯水所ノ設備ハ必要ナリ前進救護所ニハ瓦斯防護覆面及防護器ヲ備フヘシ

第九款 連絡

各梯隊ノ連絡勤務班ハ各團隊ニ於テ最大ノ注意ヲ以テ編成スヘシ是等ノ人員ハ電話器材、旗、提灯、鳩等ヲ有ス  
連絡ノ爲ニ豫メ派遣セララルヘキ者ハ各司令部ノ位置及地形特ニ經路ヲ知悉シアルヲ要ス

第十款 其ノ他ノ注意

第一戰團梯隊ト共ニ前進スヘキ各種ノ小部隊ハ自己ノ任務ヲ確知シ完全ナル準備ヲ有セサルヘカラス  
各小隊長及半小隊長ハ攻撃地區ノ地形其ノ他豫メ必要ナル諸件ヲ印刷シタル通信紙並攻撃實施間牆壁射撃ヲ以テスル先行火煙幕ノ實施ヲ記入セル大梯尺要圖ヲ携帯シ以テ砲火トノ連繫行動ヲ容易且明瞭ナル如クスヘシ  
(先行火煙幕ノ要圖、附圖第四圖參照)

第五節 戰果ノ擴張

戰果ノ擴張ハ即チ戰術的攻撃ノ發展ニシテ攻撃直後ニ起ル戰場追撃ナリ此ノ行動ノ目的ハ突擊奏功ノ結果敵ノ内部ニ生スル混亂ニ乘シ攻撃ヲ續行シ敵最後ノ砲兵及其ノ防禦設備ヲ奪取シ以テ敵線ノ完全突破ヲ遂行スルニアリ而シテ豫メ各級指揮官ノ策定セル計畫ニ依リ行フモノトス

第一款 戰果擴張準備

- 一 擴張部隊ノ區分及其ノ地域
- 二 參加前ニ於ケル擴張部隊ノ運動
- 三 戰團參加
- 四 擴張參加砲兵ノ行動第六節、步兵攻撃實施間、於ケル砲兵ノ部ニ記ス

其一 擴張部隊ノ區分及其ノ地域

戰術的發展ハ第一戰團梯隊ノ當然行フヘキ絕對的責務ナリ此ノ外ニ大單位部隊ハ特ニ此ノ目的ノ爲準備セル部隊ヲ控置シ以テ更ニ廣正面上ニ其ノ行動ヲ促進擴張ス  
各步兵師團長ハ其ノ全作戰地域内ニ戰果ノ擴張ヲ完フスルノ準備ヲ缺クヘカラス  
戰果擴張ハ會戰中其ノ實施容易ナルヘキ部分ニ對シテ計畫スルモノトス而シテ之カ地域並部署ハ軍司令



官、軍團長、歩兵師團長各其ノ命令ヲ以テ定ム

歩兵師團長ハ敵陣地奪取ニ任セシ以外ノ全部隊ヲ擴張部隊ニ充ツ

軍團長ハ擴張ノ公算多キ攻撃地區ニ在ル第一線歩兵師團長ノ指揮下ニ第二線歩兵師團ノ全部或ハ一部ヲ配屬ス此ノ場合ニ於テハ擴張ニ任スル諸部隊ハ攻撃開始以前ヨリ第一線師團長ノ隷下ニ屬セラレ以テ其ノ準備位置、運動並戦闘參加等ニ關シ豫メ其ノ部署ヲ規正シ易カラシム

第一線歩兵師團長ハ諸兵聯合ノ一或ハ數擴張部隊ヲ編組ス其ノ砲兵ハ成シ得レハ攻撃準備ニ使用セサル新銳ナルモノヲ可トス

軍團長ハ攻撃奏功ニ次ク戰果擴張行動間ニ於テ其ノ隷下ニ在ル第二線師團ノ戦闘參加時機ヲ定ム

軍司令官ハ擴張ニ使用スヘキ大單位團隊ヲ成功ヲ豫期スル攻撃方面ノ後方ニ位置セシム而シテ戰況有利ナルヲ見ルヤ遲滞ナク此ノ歩兵師團ヲ軍團長ノ隷下ニ入レ其ノ使用ニ供ス此ノ歩兵師團長ハ豫メ攻撃軍團長ノ許ニ到リアルヘシ

### 其二 參加前ニ於ケル擴張部隊ノ運動

攻撃命令ニハ擴張計畫ニ基キ之ニ任スル部隊ノ準備位置並其ノ後ノ行動ヲ定ム

突撃部隊攻撃目標ヲ奪取スルヤ擴張諸部隊ハ極メテ短少ナル時間内ニ敏捷ナル參加ヲ爲シ得サルヘカラス之カ爲通過スヘキ地區及豫期スル戦闘地ヲ綿密ニ偵知シアルヘシ

軍團長及軍司令官ノ隷下ニ在ル擴張團隊(歩兵師、旅團)ノ長ハ騎兵及砲兵ノ偵察者ヲ伴ヒ其ノ團隊ニ先行シ第一線師、旅團長ト同行シ戰況ヲ知悉シ之ニ依リ其ノ團隊ノ運動ヲ規正ス

### 其三 戦闘參加

擴張部隊ノ戦闘ハ第一戰鬥梯隊戰線ノ通過ヨリ起ルモノナリ此ノ動作ハ細密ニ規定スヘク通過スヘキ地區ハ豫メ指定スルヲ要ス

通過セラレタル突撃部隊ノ一部ハ奪取陣地ノ守備トシテ其ノ線上ニ殘留シ他ハ隊伍ヲ整頓シ爾後擴張部隊ヲ支援ス

擴張部隊ノ目標ハ敵ノ最後ノ砲兵並敵陣地ノ守備兵力ニ應シ敵陣地内又ハ其ノ附近ニ在ル重要諸點ニ選定スヘシ

擴張部隊ノ行動ハ更ニ速ク前進スル新部隊並追撃ニ任スル大單位團隊(突破後ニ於ケル戰略的擴張ニ任スルモノ)ニシテ後章ニ詳述ス)ニ依リ繼承連續セラルルモノトス

### 其四 擴張參加砲兵

擴張部隊戦闘ニ參加セムトスルヤ砲兵ハ突撃部隊ノ前方ニ實施シツツアル塙壁射撃ノ射程ヲ延伸ス次テ塙壁射撃ハ前面ニ尙重疊スル敵ノ陣地帯上ニ指向セラレ擴張部隊歩兵ハ火煙幕ノ直後ニ追進スルコト初期ノ攻撃ニ於ケル如クス故ニ砲兵ノ一部ハ豫メ歩兵隨伴ヲ準備シアルコト必要ナリ第一期攻撃ニ參



與セサル控置砲兵ヲ有スルトキハ此ノ目的ノ爲願ル有利ナリ  
其ノ他ノ砲兵ハ敵砲兵ヲ破壊シ或ハ制壓シテ步兵ノ前進ヲ掩護セサルヘカラス隨伴砲兵ハ擴張ニ任スル  
步兵師團ニ屬スル運動性、射程共ニ大ナルモノ(野砲、曲射砲)ヲ可トシ要スレハ軍團重砲ヲ以テ之ニ充  
ツルコトアリ

戰果擴張計畫ニハ之ニ參與スル砲兵ノ區分、擴張行動並當初ノ陣地ヲ豫定シ置クヘシ  
此ノ擴張ニ任スル砲兵ノ區分ハ次ノ要旨ニ依ルヲ必要トス

一 突撃發進線ニ最近ク位置シアル砲兵

此ノ砲兵ハ攻撃開始前ニ射撃ヲ行フコトヲ禁シアルモノニシテ機ニ應ジ戰果擴張地域上ニ神速有效  
ナル砲火ヲ指向シ以テ步兵ニ協力ス

二 最運動性ニ富メル砲種ヨリ成ル控置砲兵

第一期攻撃ニハ參加スルコトナク緊要ナル諸偵察ヲ了シ迅速ナル進出準備ヲ完フシアルモノトス

三 右ノ部署ヲ爲シ得サルトキハ別ニ擴張ニ任スル砲兵ヲ豫メ區分ス此ノ區分ニ入ルヘキ砲兵ハ其ノ  
位置最遠クシテ第一ニ陣地ヲ推進スヘキモノヲ可トス

此等ノ陣地變換ハ前方陣地ニ在ル砲兵カ尙戰闘ヲ繼續シアル間ニ行フヘシ

註 右ノ區處ハ砲兵行動ノ控制ト曲解スル如キコトアルヘカラス

砲兵ノ眞ノ活動ハ突撃ニ端ヲ開キ之ニ連續シテ發展スヘキ步兵戰闘ノ進捗ニ協力スル戰況ノ變化極  
マリナキ時期ニ於テ極度ニ達ス此ノ際砲兵ノ無爲ヲ許ササルハ勿論之ヲ砲兵諸隊ノ競進ニ委スルモ  
亦却テ有效ナル協力ノ實ヲ缺クニ至ル虞アリ故ニ此ノ砲兵ノ區處ハ全砲兵ノ能率ヲ減スルコトナク  
戰果ヲ擴張セシメム爲ノ單ナル指針ニ過キサルモノナリ

砲兵ハ戰果擴張ノ全期ニ亘リ梯次ニ陣地ヲ變換ス步兵ノ攻撃進捗ニシテ間斷ナキトキハ之ニ對スル協力  
ヲ完全ナラシムル爲砲兵ノ陣地變換モ亦頻次トナルヘシ然レトモ陣地變換ハ死節時ヲ伴フヲ以テ同一砲  
兵隊ノ頻次變換ハ成ルヘク行ハサルヲ要ス之カ爲一躍進距離ハ努メテ大ナラシムヘシ

右ノ願慮上死節時ヲ減シ且砲兵一般ノ戰況ヲ努メテ等齊活潑ニ維持セムニハ敵トノ距離並砲兵有效射程  
トノ關係ヲ慮リ砲兵陣地配置ノ梯次數ヲ成ルヘク多カラシムルコトニヨリ其ノ目的ヲ達シ得ルコトアリ  
例ヘハ砲兵陣地線カ平均二吉米ヲ間シテ梯次ニ在リトセムカニ梯隊ナルトキハ各線砲兵ハ唯四吉米ノ躍  
進ヲナシ得ルノミ然ルニ三梯隊ナルトキハ六吉米以上ノ躍進ヲナシ得ルカ如シ

師團砲兵指揮官ハ其ノ砲兵ヲ梯隊ニ編成シ先頭梯隊長ト擴張部隊長(旅團長、聯隊長)間ニハ密接ナル連  
繫ヲ保持セシム斯クテ先頭梯隊ハ其ノ全力ヲ以テ步兵ニ直接協カス此ノ協力ニハ特ニ抽速ヲ貴フモノニ  
シテ多クノ場合ニ於テ抽速ハ多數兵力ヲ以テスル遅キ協力ニ優ルモノナリ

第二款 戰果擴張ノ實行



戰果擴張ニ於ケル戰闘ノ直接指揮ハ團隊長即チ歩兵旅團長、聯隊長之ヲ行フ戰果ノ擴張ハ全ク其ノ指揮官ノ大膽ト剛毅トニ依リテノミ成立ス此ノ指揮官ハ決シテ後方ヨリスル命令ヲ待ツコトナク第一ニ生シタル機會ニ乘スヘシ其ノ翼ヲ包圍セラルル如キハ勿論全包圍ニ陥ルノ危險ニ瀕進スルコトモ決シテ躊躇スヘカラス斯ノ如キ戰況ト雖敢テ危險ナルモノニアラス是全正面各所ノ進撃ハ自然ニ相互ノ翼側ヲ支援スルニ至レハナリ故ニ後顧ノ念ナク専心進撃ヲ繼續スヘシ旅團長及聯隊長ハ其ノ隨伴砲兵ニ記號或ハ命令ヲ與ヘ要スレハ是等諸隊ノ分擔任務ヲ變更シ又特ニ機關銃ノ適切ナル使用ニ依リ側面掩護ヲ確實ニスル等細部ノ實施法ヲ定メ然ル後發進ヲ命令スルモノトス

師團長ハ全砲兵ヲシテ速ニ擴張部隊ノ戰闘ニ參與セシメ常ニ此ノ戰闘ヲ有利ニ進捗セシムルコトニ關シ専心ナルヘシ之カ爲要スレハ現況ニ省ミ其ノ陣地變換ヲ規正スルヲ要ス

擴張攻撃順調ニ進捗スルニ伴ヒ師團長ハ擴張部隊ノ翼側掩護ヲ確實ニシテ該隊ヲシテ前進運動ニ全力ヲ傾注スルヲ得セシムヘシ

諸隊ハ所要兵力ヲ第一線トシ常ニ過度ノ混淆ヲ避ケ他ハ主トシテ側方ニ梯置ス

攻撃正面ハ逐次ニ之ヲ擴張スヘク狹縮スヘカラス即チ前進ニ努力シツツ尙比隣ニ抗戰スル敵ヲ側背ヨリ攻撃シ絶エス破口ヲ擴張スルコト必要ナリ

敵ノ抗戰ニ會スル毎ニ其ノ側背攻撃ヲ行フヘシ

旅團長ハ戰闘ノ進捗ニ伴ヒ前進ス

擴張攻撃間師團長ハ師團砲兵指揮官ヲ伴ヒツツ第一線ニ近ク位置スルコトハ砲兵戰闘ヲ律スル爲緊要缺クヘカラサルコトナリ

軍團長ハ師團長同様其ノ位置ヲ轉進ス而シテ特ニ指揮官用飛行機ニ依リ戰況ヲ知悉シ直屬スル全部隊ヲシテ擴張部隊ヲ推進セシムル爲機ヲ逸セス之ニ前進ヲ命スヘシ斯クテ軍團長ハ尙抗戰中ナル敵線ヲ包圍シ又ハ陥落セシムヘキ行動ヲ實施スルヲ得ム

軍團長ハ其ノ附近ニ在ル諸騎兵部隊即チ軍團騎兵及騎兵師團等ニ投機ノ活動ヲ令ス

是等ノ騎兵ハ乘スヘキ機會ヲ發見スルヤ小部隊(中隊、半聯隊)ヲシテ乘馬戰ニ依リ或ハ火器ヲ以テ戰闘ニ加入セシメ退却スル敵ヲ攻撃シ或ハ敗敵ノ側方又ハ尙抗戰中ナル敵ノ背後ニ在ル要點ヲ奪取セシムヘシ

戰果ノ擴張ハ豫メ周到ニ準備シ以テ第一期攻撃ニ連續シテ之ヲ遂行シ得ル如クナルヲ要ス而シテ實施者ニシテ成功ノ確信ヲ有シ且不屈不撓ノ勇氣ヲ以テ之ニ從事セハ其ノ奏功期シテ待ツヘキナリ

第六節 歩兵攻撃實施間ニ於ケル砲兵

第一款 要則

歩兵ノ攻撃ハ全砲兵ニ依リ協力支援セラルヘキモノナリ而シテ歩兵カ攻撃ヲ開始セムトスル時機ニ於ケ



ル砲兵射撃ハ特ニ猛烈ノ度ヲ極ム

歩兵攻撃間砲兵ハ全力ヲ以テ専心次ノ任務ニ従事ス

一 攻撃歩兵ノ前地ヲ掃射ス

二 敵砲兵ヲ撲滅ス已ムヲ得サルモ歩兵ノ攻撃戦間之ヲ制壓ス

即チ砲兵ハ其ノ砲火ヲ逐次ニ歩兵ノ前方ニ進メテ其ノ突撃目標ヲ射撃シ攻撃セサル敵陣地ニ在ル防者ノ行動ヲ遮リ不意ニ現出スル側防機關砲兵ヲ破壊シ已ムヲ得サルモ之ヲ制壓スルモノトス

斯ノ如キ砲兵ノ動作ニ依リ歩兵ハ絶エス其ノ前方ニ適切強力ナル掩護ヲ受ケ突撃ヲ容易ニ遂行シ得ルニ至ルヘシ而シテ歩兵ハ砲兵ニ斯ノ如キ動作ヲ要求スルノ正當ナル權利ヲ有ス

歩兵ノ攻撃間各攻撃地區ニ於ケル砲兵ノ連繫ハ手段ヲ盡シテ確保セサルヘカラスルハ勿論ナリ之カ爲メ攻撃間砲兵カ適切確實ニ歩兵ヲ掩護スヘキ總テノ處置ハ砲兵自身豫メ計畫シ毫モ實施ニ支障ナキ様戦間開始ニ於テ編成準備シアラサルヘカラス歩兵突撃ヲ開始スルヤ師團攻撃地區ニ於ケル砲兵ノ射撃ハ嚴ニ同攻撃地區内ニ限定シ他ノ地區ニ向テ行フ斜射、側射ヲ嚴禁スヘシ

砲兵ノ連繫確實ナルトキハ野砲ノ若干中隊ハ塙壁射撃ヲ以テスル協力ヲ完全ニシ且適時歩兵戦間ニ參加シ得ムカ爲メ歩兵隊長又ハ旅團長ニ直屬シテ攻撃歩兵ニ隨伴スルモノナリ

警戒スルノミニシテ歩兵ノ攻撃ヲ加ヘサル敵ノ支據點ト雖之ヲ制壓シ他方面ニ於ケル歩兵ノ攻撃進捗ヲ助成スルノ目的ヲ以テ砲火ヲ集中スルコト必要ナリ

夫レ攻撃ハ軍團砲兵敵砲兵ヲ制壓シアル間師團ノ砲兵ハ歩兵ノ前線ニ有力ナル掃射ヲ行ヒ師團ノ歩兵ハ此ノ砲火ニ直續シツツ前進スル勇敢且整然タル歩砲協同戦間ノ現實ニヨリ進捗發展スルモノニシテ師團ノ戦間單位タル所以實ニ之ニ外ナラサルモノナリ

第二款 師團砲兵ノ攻撃參加

一 歩兵攻撃ヲ開始セハ砲兵ノ一部ハ豫メ計畫セル所ニ從ヒ第一陣地帯ノ後方又ハ第二陣地帯上ニ塙壁射撃ヲ行ヒ(遠墻壁射撃)歩兵ノ攻撃進捗ヲ監視シツツ適時射程ヲ延伸ス

二 豫メ控置セラレアル若干砲兵ハ歩兵ノ突撃開始ト共ニ速ニ現出スル敵ノ機關銃、側防砲、迫撃砲並側防ニ任スル小部隊ニ對シ行動シ得ル如ク準備ヲ完フス(隨伴砲兵)

三 第一陣地帯ヲ射撃シツツアリシ砲兵ハ突撃開始ト共ニ從來ノ射撃ヲ中止シ突撃歩兵ノ直前ナル敵陣地線ニ砲火ヲ集中シテ適切ナル射程ノ延伸ヲ以テ歩兵ヲ誘導シ其ノ前進ヲ容易ナラシム(近墻壁射撃)此ノ突撃開始時ニ於ケル火力ノ轉換ハ豫メ準備ヲ完了シ迅速ニ實施スルヲ要ス

註 此ノ射撃ハ重要ナルモノニシテ精巧ナル技能ヲ要ス過早ニ延伸シテ歩兵ノ攻撃前進ヲ困難ナラシメ或ハ過度ニ一陣地ニ集中シテ歩兵ノ前進ヲ阻止スルハ共ニ戒メサルヘカラス而シテ歩兵ノ突入セムトスル敵線ニ對シテハ其ノ動作ヲ害ササル限リ成ルヘク長ク射撃ヲ集中スヘシ



四 其ノ他ノ砲兵ハ塙壁射撃ヲ以テ敵ノ恢復攻撃ヲ阻止シ以テ歩兵ヲ掩護スルノ準備ニ在ルモノトス此ノ動作ハ豫メ周到ナル注意ヲ以テ企畫スヘキモノニシテ尙此ノ砲兵ハ絶エス歩兵ト連絡ヲ保持スルヲ特ニ必要トス

第三款 塙壁射撃

歩兵ノ攻撃ハ敵ノ行動地域ヲ制限シ且其ノ後方部隊ノ運動ヲ妨害スヘキ友軍砲兵ノ塙壁射撃ニ依リ支援セラルルモノナリ

遠塙壁射撃ハ戰場内ノ明確ナル若干線上ニ實施スルモノナリ例ヘハ第一、第二陣地帯ノ中間陣地、村落、森林ノ外縁、道路、第二陣地帯上等ノ如シ

塙壁射撃實施ノ爲ニハ攻撃開始前ニ於テ豫メ試射ヲ終了シアルヘシ而シテ歩兵ノ突撃開始時ニ於テ其ノ在來ノ射撃任務ヲ終了セシ重、野砲ハ躊躇ナク適切ナル塙壁射撃線上ニ其ノ射撃ヲ轉換スヘシ

塙壁射撃ヨリ享受シ得ヘキ掩護ノ程度、同射撃ノ連續時間並其ノ轉換及此ノ射撃間ニ於テ歩兵ノ乘スヘキ機會等ハ攻撃歩兵ヲシテ十分明確ニ知悉シアラシメサルヘカラス然ラザレハ徒ニ彈藥ノ浪費ニ終ルヘシ戰況ニ依リ此ノ射撃ヲ要スルトキハ歩兵ハ火箭ヲ以テ之カ施行又ハ續行ヲ要求スルコトヲ得

第四款 砲戰ノ繼續

敵ノ砲兵ハ我カ歩兵突撃ヲ開始セルヲ發見セハ其ノ威力ヲ極度ニ發揮シ以テ新ナル砲兵ヲモ參加セシメ久

シキ以前ヨリ準備セル塙壁射撃ヲ行フヘキヲ以テ我カ砲兵ハ敵砲兵ニ對シ猛烈ニ砲戰ヲ繼續スルヲ要ス即チ此ノ際ニ於テハ敵ノ全砲兵ヲ射撃スヘク其ノ新ニ現出セルモノニ對シテハ觀測機關ノ協力ニ依リ迅速ニ確實ナル砲火ヲ指向スヘシ

第五款 陣地變換

砲兵ハ歩兵ノ攻撃間其ノ陣地ヲ變換セザレハ任務ヲ達シ得サルコト尠カラス是新目標射程以外ニ現出シ或ハ友軍歩兵ノ攻撃進捗シテ之ニ對スル協力確實ヲ缺キ又ハ新觀測所カ甚シク遠隔ニ過キ適切ナル連絡ヲ維持スルコト能ハサルニ至ルコトアレハナリ加之其ノ占領シタル地區ニ砲兵ヲ進入セシムルコトハ歩兵ノ志氣ヲ振起スルモノナルヲ以テ此ノ目的ヨリスルモ砲兵ハ陣地ヲ變換スルヲ有利トスヘシ

陣地變換過早ナルトキハ砲兵ノ眞ニ必要ナル時機ニ於テ射撃ヲ中斷スルニ至ルヲ以テ適切ナル時機ヲ看破シ之ヲ實行スルヲ要ス

註 時トシテ歩兵攻撃開始前ニ變換シ以テ歩兵ニ對スル隨伴ヲ豫メ準備スルコトアリ攻撃開始後ニ於テ使用スヘキ中隊又ハ小隊ハ夜間前方ニ陣地ヲ占メ敵ニ秘匿シテ試射ヲ完了シ置クモノトス

陣地變換ノ爲ニ生スル砲火ノ中斷期ヲ最小限度ニ止ムル爲ニハ豫メ前進路ヲ明瞭ナラシメ置キ之ヲ修繕シ輓曳機關ヲ近ク整ヘ超越法ヲ研究準備シ或ハ之ヲ設備シ置カサルヘカラス



前進砲兵豫備陣地ニ對シテハ射撃準備ヲ迅速ニシ所要ノ彈藥ヲ集積スルノ處置ヲ講スルコト緊要ナリ重砲ノ爲殊ニ然リ

戰況ニ依リテハ歩兵攻撃有利ニ發展シ其ノ戰果ヲ敵陣地内ニ深ク擴張セシメ得ルコトアリ此ノ際ニ於テハ砲兵ニ梯次ニ陣地變換ヲ行ヒ以テ最有效ニ中斷ナク歩兵攻撃ヲ援助シ得ルヲ要ス

#### 第六款 歩砲兵ノ連絡及砲兵ノ觀測

砲兵ハ歩兵ト密ニ連繫シ且完全ナル觀測機關ヲ有スルニアラサレハ其ノ威力ヲ發揚スルコト能ハズ攻撃前ニ於ケル歩砲連繫ノ爲ニハ相互司令部ノ近接ヲ以テ主トナスモ攻撃實行間ニ於テハ砲兵ニ依リ次ノ方法ヲ以テ確保セラルヘキモノナリ

#### 其二 直接歩兵ヲ援助スヘキ砲兵大隊

歩兵ノ聯隊又ハ旅團ヲ直接援助スヘキ砲兵大隊ハ一將校(連絡長)ニ所要ノ連絡及觀測機關ヲ附シタルモノヲ歩兵隊長ノ許ニ派遣ス此ノ人員ハ觀測下士若干名、斥候ノ爲ノ有階者、兵卒、連絡兵並必要ナル通信器材(電話、發光信號器、手旗等)ヲ有スル通信手及信號兵ヨリ成ル

連絡長タル將校ハ常ニ派遣セラレタル歩兵隊長ト共ニ行動ス  
連絡長ハ攻撃ニ先テ第一線各大隊長ノ許ニ成ルヘク觀測下士一名宛ヲ派遣シ戰鬪開始セハ其ノ有スル通信機關ニ依リ一方砲兵大隊長ト他方第一線歩兵大隊長ノ許ニアル觀測係下士トヲ連絡ス此ノ連絡ハ該將

校ノ行ノ最主要ナル任務ナリ

連絡長ハ砲兵ノ射撃ヲ必要トスル目標及利用シ得ヘキ觀測所ノ位置ニ關シ歩兵ヨリ通報ヲ受ケ之ヲ砲兵大隊長ニ報告ス

連絡長ハ要スレハ觀測係下士ノ位置ヲ變更シ或ハ更ニ派遣シ又重要ニシテ最精密ヲ要スル射撃ニ方リテハ自ら觀測ニ任ス

此ノ將校ハ擔任地區及隣接地區ノ情況ヲ總テ所屬大隊長ニ報告シ又適時ニ大隊固定觀測者ノ轉位ヲ具申ス加之敵ノ新目標ヲ偵察シ或ハ敵線内ニ於テ將來占領シテ有利ナルヘキ砲兵陣地ニ關シ大隊長ニ報告ヲ提出スルモノトス

大單位ノ指揮官カ其ノ有スル砲兵ヲ前方ニ推進スルニ決シ其ノ砲兵各隊長偵察ノ爲來著スルトキハ此ノ連絡將校ハ必要ナル情況ヲ是等ノ隊長ニ提供シ得サルヘカラス故ニ連絡將校ノ任務ハ特ニ重要ナリ從テ之ニ服スル將校ハ十分ナル經驗ヲ有セサルヘカラス

觀測係下士ハ中隊射撃ノ修正ニ任ス

要スルニ連絡長ハ攻撃間諸種ノ要求ヲナス歩兵ト之ニ對スル砲兵大隊間並砲兵中隊ノ射撃ヲ修正スル觀測係下士ト其ノ中隊間ニ於ケル仲介者ナリ而シテ形勢之ヲ許スニ至レハ觀測係下士ト砲兵中隊間ニハ電話又ハ記號ニ依リ直接連絡セシム



其二 直接援助ノ任務ヲ有セサル砲兵大隊

此ノ大隊モ亦前大隊ト同シク一將校ノ下ニ在ル連絡観測ノ一隊ヲ有スルヲ要ス而シテ是等ノ人員ヲ前方ニ推進シ以テ最初ニ發見シ得サリシ新目標上ニ正面射及斜射ヲ行フ如ク計畫シ實行スルハ砲兵群指揮官ノ任トス

其三 括言

歩砲兵間ノ連絡ハ斯ノ如ク歩砲兵指揮官ノ位置ノ接近及歩兵下級指揮官ノ許ニ不斷ニ砲兵ノ連絡者ヲ配置スルコトニヨリ確保セララルモノトス  
此ノ有形上ノ連絡ハ常ニ無形上ノ結合ニヨリ有利ニ完成セララルヘキモノニシテ此ノ無形上ニ於ケル歩砲兵ノ結合ハ履行ハルル協同生活ニヨリ始テ求メラルモノナリ  
砲兵ノ活動ニ必要ナル電話線ハ成ルヘク三線トナシ通常交通壕内ニ架設スルモ成シ得レハ交通壕ニ沿フテ設ケタル三十碼乃至五十碼ノ小壕内ニ設クヘシ此ノ方法ニ依レハ敵彈及部隊ノ行動ニ依ル斷線ヲ減少シ且保線ヲ容易ナラシムルコトヲ得尙此ノ通信ノ補助手段トシテ視號通信法ヲ併用ス  
歩兵ハ砲兵ニ對シ適當ナル直接信號法ヲ規定スヘシ例ヘハ赤又ハ白色ノ火箭ニ依リ射撃中止、射程延伸及砲火ノ再開等ヲ要求スルカ如シ  
連絡ノ確實ヲ期シ難キ各所ニ於テハ歩兵線又ハ第一線散兵壕ヲ標示スル爲此處ニ赤又ハ白色ノ標旗若ハ

圓板ヲ敵眼ニ觸レサル如ク植立ス

編者曰ク 攻撃實行間ニ於ケル歩砲兵ノ連絡ヲ確實ナラシムル爲近時歩兵用飛行機ヲ使用ス詳細ハ本月報第十七號西方戰場陣地戰ノ梗概補修ヲ参照スヘシ

第七節 攻撃奏功ニ伴フ行動

第一款 攻略セル陣地ノ編成

攻撃遂ニ敵ヲ阻止スル所トナリ戰果擴張ノ餘地ヲ有セサルニ至ルヤ師團ハ其ノ攻略セル敵陣地上ニ必要ナル配備ヲ行フ  
此ノ際師團長ハ次ノ各要件ニ努力セサルヘカラス

- 一 攻略セル陣地ノ堅固ナル占領 各級指揮官ハ攻撃ノ爲混淆セル部隊ノ秩序ヲ恢復シ整然タル戰鬥配備ニ復ササルヘカラス要スレハ此ノ際新銳部隊ヲ使用ス
- 直ニ數線ノ散兵壕ヲ構築ス
- 野戰砲兵及野戰重砲兵ハ攻略セル陣地内ニ前進シ以テ攻撃部隊ヲ支援シ其ノ前方ニ對シ機ヲ失セス有力ナル火煙幕ヲ成形式
- 師團ノ各級指揮官ハ新位置ヲ設定ス
- 所要ノ通信網ヲ建設ス



二 迅速ニ情況ヲ明ニス 各團隊長ハ其ノ隊ノ現況ヲ報告シ師團、軍團及軍ノ幕僚ハ攻略セシ正面ヲ偵察シ占領セシ陣地ノ真相ヲ明ニシ敵狀ヲ蒐集シ且我カ軍隊ノ狀態及軍隊ニ必要ト認ムル諸件ヲ判知ス

砲兵隊ノ指揮官及幕僚ハ陣地ノ確保並次期攻撃ノ目的ヲ以テ前同様ノ偵察ヲ行フ

三 上級指揮官ニ情況ヲ知悉セシム 偵察ノ結果並部下各級指揮官ヨリノ報告ニ基キ戰鬪直後ノ情況ニ關シ軍團長ニ正確ナル報告ヲ呈ス此ノ報告ハ上級指揮官將來ノ作戰ヲ立案規正スル基礎ヲナスモノナレハ最迅速ニ提出セサルヘカラス

四 遲滯ナク第二期攻撃ノ準備ヲ行フ 之カ爲師團長ハ偵察ノ結果ニ基キ要スレハ占領陣地ノ改修ヲナス

敵ノ新陣地カ敵方斜面(反對斜面)ニ在ルトキハ近接運動ハ通常容易ナリ然ラサレハ此ノ運動ハ夜間實施セサルヘカラス

攻撃準備ノ爲ノ我カ陣地ハ三線ヲ構成スヘク其ノ第一線ハ突撃距離迄敵ニ近接セシムヘシ此等ノ散兵壕ハ單ニ敵ノ恢復攻撃ニ對スルノミナラス第二期攻撃部隊ノ集合ニ供スルモノトス

第二款 軍團長及第二線師團ノ動作

第二線師團ハ第一線師團カ攻撃前進ヲ開始スルヤ直ニ前進シテ其ノ發進セシ陣地ヲ占ム

第二線師團長ハ全戰鬪間第一線師團長ト特ニ密接ナル連絡ヲ保持ス

軍團長ハ攻撃開始前ニ於テハ第一線師團長ノ近傍ニ其ノ位置ヲ選定ス此ノ位置ハ第一線師團ノ戰況ヲ知悉シ且要スレハ第二線師團ノ戰鬪加入ヲ部署スルニ適良ナルモノナルヲ要ス

第三款 第一期攻撃ノ終了

第一期攻撃終了スト雖計畫セル攻撃全地域ニ亘リ敵ヲ掃蕩シ一舉ニ完全ナル攻略ヲ遂行シ得ルハ常ニ豫期スルコト能ハス是敵ノ頑強ナル抵抗ハ不規混戰ノ焦點トナリ戰鬪ノ進捗緩慢ニシテ遂ニハ單ニ之ヲ包圍孤立セシムルノ已ムヲ得サル局地(初ヨリ此ノ如キ計畫ヲナスヲ可トスルコトアリ)モアルヘク又ハ全然敵ノ抵抗ヲ破碎シ能ハサル一部ノ陣地ヲモ生スルコトアレハナリ然レトモ是等敵ノ抵抗ト雖終ニハ總テ之ヲ擊滅シ最速ニ攻撃全地域ヲ掃蕩シ以テ敵カ恢復攻撃ヲ行フニ際シ有利ニ利用セムトスル其ノ最後ノ支撐點ヲ奪取シ且速ニ第二期攻撃準備行動ノ自由ヲ獲得セサルヘカラス之カ爲ニハ用キ得ル全砲兵ヲ以テ機ヲ失セス此ノ支撐點ヲ砲撃シ步兵ヲシテ之ヲ包圍シ攻撃セシムルコト最緊要ナリ此ノ際遲疑シテ時機ヲ失スルトキハ他日幾層倍ノ犠牲ヲ拂ハサルヘカラサルニ至ラム

第四款 攻略地域内ニ於ケル整備作業

攻撃進捗スルト同時ニ一方ニ於テハ之ニ追隨シテ工用資材、糧秣、彈藥等ヲ補充スル運搬路並砲兵ノ前進路ヲ構築セサルヘカラス之カ爲各師團ノ直後ニハ諸車輛ノ交通並砲兵材料ノ進出用トシテ通路二條



ヲ豫定スベシ而シテ其ノ一ハ前進ニ他ハ後退ニ專用スルモノトス  
 此ノ作業ハ豫メ考究準備スヘキモノニシテ其ノ經始、作業手（工兵又ハ後備隊）、作業指導ニ任スル幹部、作業區分等ハ事前ニ計畫シ置クモノトス  
 敵塹壕通過用短橋ハ突撃陣地ノ近傍ニ準備シ置クヘシ  
 突撃前ニ於テ區處セラレアル此等諸作業ハ攻撃進捗スルヤ直ニ實施ニ著手スヘク攻撃當夜ニ於テハ最大ノ努力ヲ以テ之ニ從事スヘシ而シテ此ノ時機ニ於テハ爾後ノ行動ヲ準備スル爲メ戰況屢一時沈靜トナリ速ニ且容易ニ總テノ連絡法ヲ建設シ得ルモノナリ  
 通路上ニハ道標ヲ植立シ且交通ノ規正ニ任スル哨兵ヲ配置ス  
 戰場掃除ハ攻撃當夜之ヲ實施スヘシ此ノ作業ハ軍團司令部ニテ規定セル計畫ニ基キ一指揮官之ヲ擔任スルモノニシテ死屍收容ノ爲ニハ軍醫及所要ノ兵員ヲ之ニ充テ兵器ノ拾收ハ砲兵廠將校ノ下ニ豫備隊ヲ屬シテ行ハシムルモノトス

第三章 第二期攻撃

第一節 準備

第一款 各團隊長ノ位置

第一期攻撃ニ方リ軍團長、軍團重砲兵隊長、第二線師團長戰斷間ノ位置ハ豫メ我カ突撃陣地ノ近傍ニ設

備セラレ第一線師團長ハ其ノ師團ノ攻撃進捗ニ伴ヒ攻略セル地區内ノ新位置ニ移ルヘシ故ニ各級指揮官ハ其ノ位置ヲ特ニ變更セサルモ第二期攻撃ニ任スル歩兵及砲兵ヲ其ノ位置ニ部署スル爲メ概ネ良好ノ情況ニアルモノナリ  
 軍團重砲兵隊長ハ尙砲戰ノ進捗ニ伴ヒ其ノ位置ヲ轉スルノ準備ヲ完了シアルヘシ

第二款 攻撃配備ノ順序

第一期攻撃豫定ノ如ク進捗シ步兵戰果擴張ノ餘地ヲ有セサルニ至レハ第二期攻撃ニ任スル諸團隊ハ戰斷開始ノ順序ニ準シ其ノ部署ニ就クヘシ即チ最初ニ砲兵次ニ步兵是ナリ

第三款 砲兵ノ陣地變換

砲兵ハ既定ノ準備ニ基キ新位置ニ陣地ヲ進ム此ノ際新觀測所決定ノ爲メ偵察者ヲ派遣スヘシ又此ノ際特ニ新陣地ヲ偵察スルノ必要アル砲兵部隊モアルヘシ  
 是等ノ偵察者ハ新設備ヲ實施スヘキ作業隊ヲ同伴ス  
 砲兵ノ陣地變換ハ軍團重砲兵隊長ト師團砲兵指揮官トノ協定ニヨリ常ニ戰況ノ變化ニ應シ得ヘキ十分ナル砲兵ヲ陣地ニ缺カサル如ク注意シテ逐次ニ行フヘシ此ノ陣地變換ニシテ希望ノ如キ努力ヲ以テ實施セラルルトキハ野戰砲兵ハ第一期攻撃終了ノ當夜ニ、重砲ノ一部ト迫撃砲トハ其ノ翌日ノ夜迄ニ新陣地ニ就キ戰斷配備ヲ完成シ各其ノ翌日ヨリ射撃ヲ開始シ得ルモノトス



重砲兵全部ノ移轉モ亦短時日内ニ完了セザルヘカラス

第四款 歩兵師團ノ交代

第一期攻撃後第二線師團ヲ第一線師團ト交代スヘキトキハ第二線師團長ハ其ノ位置ヲ第一線師團長ノ許ニ進メ共ニ師團交代ニ就キ詳細協議決定スルモノトス

此ノ交代ハ第一線師團カ攻略地ノ占領ヲ確保シ得ルニ至リタルトキ開始シ我カ砲兵ノ新陣地ニ對スル攻撃準備間ニ終了スヘキモノナリ

註 交代ハ事前ニ決定シ置キ其ノ指導適當ナレハ困難ナク實施シ得ルモノナリ第二線師團ノ歩兵旅團長及聯隊長ハ偵察ニ必要ナル人員ヲ伴ヒ先行シテ第一線師團諸團隊ノ配備ヲ詳知シ交代部隊誘導者ノ編成ヲナスモノトス

交代ハ便利ナル時刻ヲ選定シ實施スヘキモ通常日没時又ハ日出前ヲ可トス  
交代シタル舊第一線師團ハ戰場ノ近傍ニテ隊伍ヲ整頓シ若干時日休憩ノ後更ニ戦闘ニ加入スルモノナリ

編者曰ク「フオッシュ」將軍ハ其ノ訓令「攻勢會戰」ニ於テ歩兵師團ハ各期攻撃（通常一陣地帯毎ノ攻略ト一致ス）毎ニ第二線師團ト交代スルヲ本旨トナセシモ此ノ如キハ第一線師團ノ動作ヲシテ消極的ナラシメ且攻撃各期間ノ死節時ヲ大ナラシムル弊害アリシカハ「ソナム」會戰ニ於テ必スシモ此ノ趣旨ニ

依ル交代法ヲ實施セザリシカ如シ千九百十七年ノ爲メ「總攻撃」ノ目的及實施要件ニ關スル教令ニ於テハ第一線師團ハ損害又ハ疲勞ニ依リ已ムヲ得ザルトキ始テ交代スルモノトシ從來唱道セシ豫メ計畫セラル規則的ナル交代ヲ實施スルノ原則ヲ廢止シタリ從テ現今ニ於ケル佛軍第一線師團ハ其ノ戦闘能力ノ續ク限リ攻撃ヲ續行スルコトナレルモノニシテ兵團ノ運用上固ヨリ首肯スヘキコトナリトス

第五款 交代師團ノ土地整備作業

交代シタル新師團ハ時機ヲ失セス歩兵攻撃配備ノ爲必要ナル攻撃地區整備作業ヲ開始スヘシ第一期攻撃ニ直續シテ著手スル此ノ作業ハ最簡約迅速ナルヲ必要トスルモノニシテ其ノ突擊陣地ハ舊第一線師團カ第一期攻撃遂行後敵陣地ノ前面ニ構築セルモノヲ利用スヘク突擊陣地後方ノ集合所ハ新師團ニ依リ完備セラルヘキモノナリ此ノ集合所（攻撃配備ニ就ケル新師團ノ後方梯隊ノ位置）ハ半小隊毎ノ狭ク深ク且直線ナラサル壘壕ヲ有利トス是砲撃ニ對シ掩護最有效ナレハサリ

第六款 砲兵ノ攻撃準備射撃

第二期攻撃ニ於ケル砲兵ノ準備射撃要領ハ全ク第一陣地帯攻撃ニ於ケルモノト同様ナリ

第七款 結 言

第一期攻撃開始前ニ於ケル準備ト第一期攻撃ノ奏功ニヨリ敵ノ防禦部隊内ニ生セル混亂トハ以テ新攻撃準備ヲ簡約ナラシメ得ルモノナリ然ルニ奪取セル地部ヲ編成シ軍隊掩護施設ヲ完フシ爲ニ攻撃各期間ノ



死節時ヲ長カラシムルハ結局會戰ニ參加セル大單位團隊ニ生ズル損失ノ通算ヲ大ナラシムルモノニシテ之ニ反シ攻撃ヲ迅速ニ再興シ作戰ノ全經過ヲ短少ナラシムルハ損害ヲ減シ效果ヲ大ナラシムル要旨ニ合致スルモノナリ此ノ理ニヨリ頻次ハ團隊交代ハ之ヲ避ケサルヘカラス交代頻次ナレハ各期攻撃間ノ死節時ヲ増大シ敵ニ抗戰準備ノ餘裕ヲ與ヘ會戰ノ爲ニ充當セル團隊ノ徒勞ヲ増加シ且敵火ノ下ニ無爲ニ駐止スル時間ヲ増大スル虞アルモノナリ  
各團隊ノ全能力ヲ遺憾ナク發揮セシムルコト及必要ナル攻撃能力ヲ失ヒタル第一線團隊ノ交代ヲ爲スコトハ特ニ師團長以上高級指揮官ノ部署ニ屬スルモノトス

第二節 攻撃實行

軍ハ前面敵新陣地ノ全部ニ對シ攻撃ヲ行フヘキカ或ハ其ノ一部ニ向テ實施スヘキカハ情況ニ依リ軍命令ヲ以テ之ヲ定ム

此ノ軍命令ハ軍團長ヨリ提出セル破壞射擊及砲戰ノ結果ニ關スル報告ニ基キ作成セラルルモノナリ步兵ノ攻撃ハ砲兵ノ準備射擊奏功ノ後ニアラサレハ實施セス而シテ此ノ攻撃ハ砲兵ニ依ル破壞效果ノ現ハレタル敵陣地地域ノ攻略ヲ最少限トシ續テ戰果ノ擴張ニ努力スヘキコト既記第一期攻撃ト同一要領ナリ斯クテ敵ノ全陣地帯ヲ突破セハ直ニ其ノ突破ヲ進展シテ會戰ノ目的ヲ達成スルニ至ルヘキモノトス

第四章 其ノ後ノ攻撃

第二期攻撃ヲ以テ敵ノ全陣地帯ヲ突破スルニ至ラサルトキハ爾後引續キ敵ノ後方陣地帯ノ攻撃ヲ實施セサルヘカラス

此ノ敵ノ後方陣地ハ其ノ増加團隊ノ來著ニ依リ恰モ恢復攻撃ノ據點及出發線トシテ重要ナル抵抗線ヲ成形スルニ至ルモノナリ故ニ攻者ハ努メテ速ニ全攻撃正面ニ亘リ同時ニ總攻撃ヲ行ヒ成ルヘクニ舉ニ陣地ヲ破碎スルコトヲ企圖セサルヘカラス

第二期攻撃後新抵抗ニ觸接スルヤ直ニ左ノ部署ヲナスヘシ

- 一 機敏ニ配備セル歩兵ノ掩護ノ下ニ重砲、野砲、迫撃砲ノ多數ヲ最迅速ニ前進セシメ射擊ヲ開始シ以テ敵ノ主要ナル防禦設備ヲ破壊ス
- 二 速ニ步兵攻撃ヲ再興ス
- 三 以上ノ部署及實行ハ軍司令官ノ明察ニヨリ敏捷ニ導カルルヲ要ス然レトモ決シテ輕卒ナルコトアルヘカラス秩序ヲ保テ順序正シキ方法ニ則ルコトハ常ニ攻撃ニ威力ヲ缺カシメサル要訣ナリ

實ニ此ノ方式ハ豫メ準備編成セル敵線ヲ破碎シ攻略スル唯一ノ方法ニシテ之ヲ迅速ニ反復續行スレハ遂ニハ堅固ナル敵ノ數線陣地帯ヲ突破シ得ルニ至ルヘキモノナリ

第五章 特別ナル戰闘

攻勢會戰ニ際シ某團隊ハ兵力ニ比シ比較的大ナル正面ニ對シ若干日間特種ノ攻撃ヲ實施スルノ必要ヲ生



スルコトアリ例ヘハ攻撃正面ノ外翼部隊カ敵ヲ牽制スル爲ノ攻撃或ハ特別ナル編成ヲ有スル敵陣地ニ對シ  
兩翼ヨリノ攻撃進捗ニ依リ其ノ攻路ヲ企圖スルニ當リ該陣地ノ正面ニ向フ部隊ノ實施スル戰闘ノ如シ  
斯ノ如キ攻撃ノ成果ハ常ニ準備ニ負フ所多大ニシテ攻撃實行ノ方法ハ稍特種ナル方法ニ依リ指導セラ  
ルモノナリ即チ若干期間比較的衰弱ナル兵力ヲ以テ攻撃ヲ繼續セサルヘカラサルヲ以テ其ノ攻撃目標ハ  
近ク選定セラルヘク此ノ目標ヲ奪取セハ直ニ堅固ニ編成シ爾後前進セサルヲ通常トス而シテ其ノ兵力ノ  
不足ヲ補フ爲ニハ多大ナル彈藥ヲ射耗セサルヘカラス從テ其ノ莫大ナル準備ヲ必要トスルモノナリ

## 第六章 突破ノ進展

### 第一節 要則

突破ノ進展ハ敵ノ全陣地帯ヲ突破セル後ニ於ケル戰術的攻撃動作ノ發展ニシテ軍及大軍ノ部署ニ係ルモ  
ノナリ  
此ノ行動ハ豫メ策定セル計畫ニ依リ歩兵及騎兵師團ニ依リ實施セラル是等ノ部隊ハ攻撃開始ニ當リ其ノ  
正面ニ近ク位置シ各期攻撃並戰果ノ擴張カ敵ノ陣地帯ニ與深ク發展スルニ伴ヒ前方ニ推進シツツ其ノ實  
行ニ移ルモノナリ  
此ノ突破進展ニ任スル諸部隊ニハ有力ナル航空隊協力行動ス此ノ航空隊ハ敵情蒐集ノ外爆彈及機關銃ヲ  
以テ敵ノ縱隊、砲兵、輜重並停車場等ヲ攻撃ス

突破ノ進展ハ其ノ突破セシ正面廣クシテ數師團ノ併列及側方梯置ヲ許スニアラサレハ威力十分ナルコト  
能ハス此ノ作戰ハ突破ニ直續シ速ニ進展シ以テ敵カ新會戰ヲナスニ足ルヘキ兵團ヲ招致シ得サルニ先チ  
正面ニ殘存セル敵ニ對シ重大ナル打擊ヲ加フヘキモノナリ敵軍ノ豫備兵團カ同戰線中ノ他方面ノ會戰ニ  
牽制セラレ或ハ他戰地ニ策動スル友軍ニ依リ控制セラレアル場合ニ於テハ此ノ突破ノ進展ニ依リ比較的  
容易ニ敵線ヲ崩壞シ得ヘキコト論ナキ所トス

註 本末項説ク所ハ之ヲ大ニシテハ各方面戰場共一定期日間ニ於ケル協同ノ攻勢ヲ要求シ小ニシテハ  
一戰場内ニ於テモ攻勢會戰方面ヲ數箇所ニ選ムノ有利ナルコトヲ意味スルモノナリ

### 第二節 實行

#### 第一款 步兵師團及騎兵師團

突破ノ進展ニ任スル各步兵師團ハ攻撃部隊ノ戰線ヲ通過シ其ノ某師團ハ前方ニ挺進シ他ノ師團ハ敵ノ側  
面ニ突進ス

騎兵師團ハ敵ノ後方ニ於ケル特ニ重要ナル交通線ノ集合點及集積所等遠隔セル目標ノ破壞ヲ擔任ス  
此ノ追擊作戰ハ騎兵師團カ我カ攻撃歩兵ヲ超越スルトキヨリ始マルモノトス騎兵尙近距離ニ行動シアル  
間ハ第一線師團ノ前進運動ハ半ハ展開ノ隊勢ヲ以テシ砲兵ハ歩兵ニ追隨シ梯次躍進ニ依リ陣地ヲ移進  
ス



騎兵トノ間ニ餘地存スルニ至ルヤ追撃歩兵師團ハ途上縱隊ニ移ル此ノ時以後ニ於ケル歩兵師團唯一ノ要件ハ速ニ前進シ騎兵ニ最近ク續進スルニアリ

此ノ當初ノ時期ニ於テハ諸道路ヲ悉ク利用スルモ尙師團カ一縱隊トナリ縱隊ヲ分割シ得サルハ蓋シ免ルヘカラサル實狀ナラム然レトモ爾後ノ追撃間ニ於テハ絶エテ敵ノ翼側ヲ壓迫シ其ノ突破正面ノ擴張ニ努力スヘキヲ以テ若干時ノ後ニハ師團ハ數縱隊トナリテ併進シ得ルニ至ルヘシ

第二款 各師團ノ連絡及通信

追撃各師團間ノ連絡ヲ確保シ通信ヲ速ナラシム爲軍團ハ各師團ノ後方ニ軍團通信所ヲ設ケ以テ連絡中樞點トナシ電話、無線電信、傳書鳩及自動車等ノ通信機關ヲ備フ又軍團通信所ニ近ク飛行機著陸場數箇ヲ選ビ之ト電話ヲ以テ連絡ス

第三款 後衛陣地攻撃

追撃若干進捗セハ騎兵ハ敵ノ後衛陣地前ニ達スヘシ此ノ陣地ニシテ連續不斷ノモノニアラサルトキハ常ニ正面攻撃ト相俟テ包翼迂回ヲ企圖スヘシ  
之ニ反シ敵線連亘シアルトキハ正面ヨリ之ヲ攻撃セサルヘカラス  
後衛陣地ノ攻撃ハ騎兵全力ヲ以テ之ヲ開始ス騎兵ノ攻撃未タ奏功スルニ至ラサルトキ追撃歩兵師團來著セハ同師團ハ之カ攻撃ヲ擔任ス

爾後ニ於ケル追撃團隊ノ戰闘ハ所謂運動戰ニ移ルモノナリ諸隊ハ其ノ要領ニ依リ斷乎トシテ動作スヘシ然レトモ本戰役當初ニ得タル實驗並其ノ後火器效力ノ増大ニ起因スル若干特種ノ點ハ之ヲ輕視セザルヲ要ス

第三節 縱隊ノ編組、前進間ノ部署

第一款 師團ノ縱隊

師團ニ配屬セラレアル砲兵ヲ縱隊内ニ部署スル爲ノ戰術上ノ要旨ハ砲兵ニ迅速且有效ナル戰闘開始ヲナスシメ及歩兵ノ到着ヲ遅カラシメサルニアリ之カ爲

- 一 砲兵ノ偵察者ヲ電話及無線電信車ト共ニ努メテ前方ニ進マシメ砲兵隊ハ縱隊ノ先頭ヨリ可ナリ遠ク位置セシム
- 二 砲兵ノ混成區分ヲナス即チ前方ヨリ順次ニ長射程砲及野砲若干中隊ノ群其ノ後方ニ野砲及曲射砲ノ群
- 三 後方各師團ノ砲兵ハ其ノ諸縱隊ノ先頭ニ位置セシメ要スレハ軍團長ノ區處ニ依リ速ニ其ノ全部或ハ一部ヲ先頭師團ノ使用ニ供シ得ルニ便ニス

第二款 軍團砲兵

軍團砲兵指揮官及其ノ偵察者ハ前方ニ在リテ前進セシム其ノ位置ハ軍團長之ヲ指定ス



先頭歩兵師團ニ配屬セサル軍團砲兵ハ要スレハ氣球ト共ニ先頭師團ノ後方ニ集メ將來陣地進入ニ方リ有利ニ側方ノ諸道路ヲ使用スルノ便ヲ得セシム

第三款 砲兵彈藥縱列

砲兵彈藥縱列ハ師團ノ彈藥縱列(註 聯隊戰團輜重ノ集合シタルモノ)ト共ニ歩兵師團縱隊ノ後方ニ續行セシメ其ノ内必要ノ度少キモノハ軍團砲兵ノ後方ニ進マシム

第四款 情報集收所

師團無線電信車ヲ以テ梯次ニ情報集收所ヲ設ケ以テ前進間歩兵師團ノ作戰地區内ニ行動スル敵情監視飛行機ヨリノ通信ヲ受ケシム

第四節 戰團ノ再開

第一款 戰團準備隊形

敵ニ近接スルヤ師團長ハ一般作戰目標、前進地域、隊形及砲兵ノ行動ヲ命令シ其ノ攻撃ヲ部署ス  
縱隊ハ敵砲兵ノ射程内ニ入ルニ先チ路外ニ出テ半ハ展開ノ隊勢ニ移リ一部若ハ全砲兵ノ掩護下ニ前進ス  
砲兵ハ梯次躍進ヲ以テ逐次位置ヲ推進ス即チ攻撃準備ノ隊勢ヲ整ヘツツ戰場ニ近接スルモノナリ  
斯ノ如ク歩兵師團ハ正面ハ固ヨリ側方ヨリスル敵ノ攻撃ニモ對抗シ得ル自由ノ姿勢ニ在リテ漸次敵ニ觸接シ其ノ情況ヲ確ムルモノトス

第二款 近接運動

第一線師團敵ノ射擊界内ニ入ルトキハ要スレハ一層警戒ヲ嚴ニ疎開セル隊形ニ移リ巧ニ地區地物ヲ利用スヘシ

師團第一線部隊ハ特ニ掩蔽地ヲ利用シツツ前進ス此ノ際輕機關銃、機關銃並三十七密砲ハ梯次躍進ニ依リ其ノ位置ヲ移進シ前方ニ在ル疑ハシキ掩蔽地部ニ對シテハ遲疑スルコトナク射擊ヲ加ヘ以テ歩兵ノ前進ヲ掩護ス次テ此ノ歩兵ノ前進ハ全力ヲ以テ協力スル砲兵ニ依リ掩護セラルルニ至ルモノナリ

第一線歩兵大隊敵ノ警戒部隊ト觸接セハ速ニ之ヲ驅逐シ敵ノ陣地前ニ到達シ茲ニ停止シテ偵察ヲ行フモノトス此ノ小緒戰ハ主トシテ我カ砲兵ノ良觀測所ヲ占領スルヲ目的トス故ニ之カ爲使用スル歩兵ノ兵力ハ必要ノ最少限ニ止ムヘシ而シテ一般ノ部署適當ニシテ火力ヲ以テスル掩護十分ナレハ比較的少數ノ部隊ヲ以テ其ノ目的ヲ達シ得ルモノナリ

斯ノ如キ戰團ノ準備期ニ在リテハ屢砲兵ノ協力ナクシテ輕戰ヲ行ハサルヘカラス然レトモ此ノ際成ルヘク歩兵ヲ消耗セサルコト必要ナリ

敵ニ近ク觸接セサルトキハ努メテ第一線ニ配備スル兵力ヲ節約スヘシ即チ主トシテ輕機關銃、機關銃ヲ第一線ノ據點上ニ配備シ諸隊ヲ其ノ後方ニ集結シ以テ機動ノ自由ヲ保持シアルヲ要ス

第三款 攻撃準備區處

第四篇 攻撃實行



師團長ハ敵陣地ニ關シ概略ノ情報ヲ得ルヤ諸隊ヲ攻撃準備ノ位置ニ就カシムル爲次ノ要旨ノ命令ヲ下ス

- 一 第一線諸部隊ノ任務成シ得レハ其ノ攻撃目標
- 二 豫備隊ノ集合地點
- 三 砲兵ノ區分、陣地及各群ノ任務
- 四 師團長ノ位置

第四款 攻撃命令

師團長攻撃實行ノ方法ヲ確定セハ攻撃命令ヲ下ス此ノ攻撃案ハ師團ノ任務、騎兵、第一線部隊、飛行機ヨリノ情報、自己及參謀偵察ノ結果等ニ基キ策定スヘキモノナリ

第七章 戰間各級兵團長ノ動作

第一節 軍司令官

軍司令官ハ各軍團ニ派遣シタル將校ノ報告ニ依リ作戰ノ進捗ヲ觀察監視ス  
某軍團ノ攻撃豫期ノ如ク成功シタルトキハ此ノ軍團ニ必要ナル軍隊、資材ヲ交付シ隣接軍團ヲシテ其ノ行動ニ連繫セシメ又自ラ情況ヲ判斷スル爲該軍團長ノ許ニ到ル

軍ノ攻撃ニシテ未タ破壊セラレタル敵陣地ニ阻止セラレタルトキハ軍司令官ハ將來ニ於ケル戰間繼續ノ條件ヲ部下團隊ニ告知シ必要ニ際シテハ得タル結果ニ基キ新目標ヲ決定シ部隊ノ編合ヲ行ヒ然ル後攻撃再興ノ時日ヲ定ムルカ或ハ大軍司令官ヨリ之カ指示ヲ受ク

此ノ攻撃中絶間軍司令官ハ成シ得ル限リ迅速ニ準備ヲ完了スルコトニ努力スヘシ此ノ際特ニ敵線ノ破綻點ヲ判別シ之ニ對シ乘スヘキ手段ヲ定メ必要ナル資材ヲ集ムルヲ要ス

全然敵線ヲ突破シ得タルトキハ軍司令官ハ直ニ此ノ突破口ヲ擴大シ追撃ヲ計畫シ騎兵ヲ活動セシムルノ處置ヲ行フコト最緊要ナリ

軍司令官ハ斷然戰間ニ參加スルニアラサレハ眞ニ敵ヲ擊破シ其ノ防禦陣地ヲ突破スルコト能ハサルモノナリ

第二節 軍團長

戰間ニ於ケル軍團長ノ任務左ノ如シ

- 一 軍ノ戰間目的達成ノ爲師團ノ努力ニ協力ス
  - 二 師團ノ行動ヲ容易ニシ尙其ノ成果ヲ擴張スル爲軍團直屬部隊ヲ活動セシム
  - 三 補給及還送ヲ確實ニス
- 軍團長ハ其ノ作戰地境内ノ攻撃成功ニ必要缺クヘカラサル指揮ヲ繼續ス即チ各師團ト最確實ニ連絡ヲ保



持シ以テ正確ニ情報ヲ得之ニ依リテ其ノ手裡ニ在ル砲兵ヲ適切ニ活動セシメ第二線師團ノ前進及其ノ使用計畫ニ機宜ニ適スル修正ヲ行フ

軍團長ハ第一線各師團長ノ附近ニ於テ部下師團ノ作戰ヲ最能ク知り得ル地點ニ位置ス而シテ師團ノ獲得セル戰果ヲ更ニ擴張セムトスルトキ、第二線師團ヲ増加スルトキ及師團長負傷若ハ戰死セルニ際シ之ニ代ルヘキ司令官ヲ任セムトスルトキハ自身直接是等ト連繫ヲ探ルモノトス

第二線師團ノ任務ハ攻撃開始前ヨリ各種ノ場合ヲ顧慮シテ附與セラレアルモノニシテ實施ニ方リ要スルハ之ヲ修正加除スヘキモノナリ之カ爲軍團長ハ必要ノ時機ニ於テ情況ヲ看破シ遲疑スルコトナク決心セサルヘカラス是第二線師團ノ戰場運動ハ目下ノ戰況ニ於テハ頗ル緩慢ナルヲ免レサレハナリ軍團長ノ助作ハ第二線ノ師團ヲ運用スルヲ以テ足レリトスヘカラス宜シク部下團隊ノ戰闘ヲ監視シ必要ニ應ジ之ヲ修正シ又ハ促進スヘシ第二線師團カ必要ノ時機ニ於テ適當ナル地點ニ位置シ直ニ攻撃運動ヲ開始シ得ヘカラシムルハ軍團長ノ重大ナル責任ナリ

新ニ攻撃準備ヲ必要トスル敵陣地ニ衝突セハ軍團長ハ要スレハ第一線師團ヲ交代スヘシ此ノ交代ハ攻撃實行師團カ全然窮迫ニ陥ラサル以前ニ行フヘキモノニシテ此ノ師團ハ速ニ隊伍ヲ整頓シ編成ヲ整フヘキモノナリ

此ノ新攻撃準備ハ決シテ容易ナルモノニアラス寧ロ第一期攻撃準備ヨリモ困難ナリ故ニ軍團長ハ速ニ決

心シ更ニ作戰計畫ヲ立案シ各師團ノ攻撃目標及作戰地境ヲ定メサルヘカラス

攻撃ノ準備及實行間敵砲兵ニ對シ砲戰シ之ヲ破壞スルハ軍團長ノ主要ナル任務ノ一ナリ之カ爲軍團長ハ破壞スヘキ目標及其ノ目標上ニ行フヘキ射撃ノ集中ヲ決定ス

攻撃ヲ開始セハ敵ノ新砲兵現出シ或ハ其ノ從來ノ陣地ヲ變換スル等ニヨリ砲兵射撃ノ困難ヲ増大スヘシ然レトモ此ノ際ニ於テハ敵ノ猛射ヨリ我カ歩兵ヲ救ハムカ爲少クモ敵砲兵ヲ沈黙セシメサルヘカラス

敵ノ陣地ヲ突破シ得タルトキハ軍團長ハ其ノ突破ヲ進展スル爲絕對ニ戰闘ニ參加スヘシ

敵ノ最終ノ陣地ヲ突破セル師團ハ通常長距離ニ追撃スル爲必要ナル部隊ヲ有セサルヲ通常トス又是等ノ師團ハ追撃ノ最良兵種タル騎兵ヲ有セス故ニ軍團長ハ機ヲ逸セス軍團騎兵ヲ放チ且第二線師團ニ追撃ヲ命セサルヘカラス

敵陣地ノ破壞口ハ相當ナル正面ヲ有スルニアラサレハ之ヲ擴張スルヲ得ス故ニ軍團長ハ此ノ破壞口ヲ軍團正面ノ各所ニ生セシムヘシ

追撃ニ於テ軍團長ノ努ムヘキハ其ノ使用シ得ル總テノ砲兵ヲ速ニ步兵部隊ニ追及セシムルニアリ

攻撃ノ發展ト共ニ補給ハ其ノ重要ノ度ヲ増大ス軍團長ハ迅速ニ必要ナル補給ノ方法ヲ講シ戰闘部隊ヲシテ資材ノ缺乏ヲ訴フルコトナカラシムヘシ

### 第三節 師團長

#### 第四篇 攻撃實行



第一款 第一線師團長

師團長ノ位置ハ第一線ト豫備隊トノ中間ニシテ旅團長及砲兵ト交通容易ニ尙第一線ヲ十分ニ觀察シ得ル  
監視所ノ附近ナルヲ要ス而シテ師團長其ノ司令所ヨリ十分歩兵ノ行動ヲ觀察スル能ハサルニ至レハ逐次  
前方司令所ニ移轉スヘシ

戰闘間師團長ノ努ムヘキハ其ノ歩砲兵ト密接ニ連絡シ以テ常ニ自己ノ指揮權ヲ發動シ得ルニアリ之カ爲  
通信機關ノ設置ニ大ナル顧慮ヲ拂ハサルヘカラス

司令所附近ノ監視所ニ對シテハ所要ノ監視員ヲ配當スヘシ

師團砲兵中若干中隊ハ歩兵旅團又ハ聯隊ニ屬スヘキモ其ノ他ハ師團長之ヲ掌握シ歩兵ノ攻撃ニ協力セシ  
ム此ノ際敵ノ恢復攻撃ニ對スヘキ砲兵及特ニ師團ノ翼側ニ活動スヘキ砲兵ヲ豫メ區分スヘシ戰闘進捗セ  
ハ豫定計畫ニ基キ砲兵ノ陣地變換ヲ命ス

師團長ハ一般ノ情況ヲ軍團長ニ報告シ且特ニ我カ師團ニ有利ナルヘキ軍團重砲兵ノ使用法ニ就キ軍團長  
ニ意見ヲ具申ス

師團長ハ戰闘ノ經過ヲ觀察シ若過失アルカ又ハ指揮法、攻撃部隊ノ使用法ニ就キ矯正スヘキコトアレハ  
直ニ之ニ干渉スヘシ

師團長ハ最良好ナル情況ニ於テ戰闘ニ參加セシムル如ク豫備隊ノ運動ヲ規正スヘシ此ノ豫備隊ノ使用ハ

單ニ旅團長ヲ指揮下ニ之ヲ入ルルニ過キサルカ如キ單簡ノモノニテハ不可ナリ宜シク豫備隊使用ノ條件  
ヲ定メ其ノ戰闘參加ノ時機ヲ決定スヘシ

攻撃運動停止シタルトキハ師團長ハ速ニ情況ヲ明ニスル爲旅團長及必要ナル聯隊長ト連絡ヲ取り更ニ攻  
撃ヲ準備シ要スレハ砲兵ヲ推進シ敵線ノ最突破シ易キ點ヲ看破シテ之ニ射撃ヲ集中セシメ豫備隊ヲ使用  
シテ攻撃ヲ再興スヘシ此ノ際ニ於ケル攻撃準備ハ殊ニ嚴格迅速ナルヘク師團長ハ自ら或ハ參謀將校ヲシ  
テ其ノ準備ノ如何ヲ検査セシムヘシ

師團長ハ參謀部及各勤務部ヲ指導シテ補給業務ヲ確實ナラシムヘシ

第二款 第二線師團長

第二線師團長ハ第一線師團ト交代シ次期ノ攻撃ヲ擔任シ或ハ第一線師團ニ増加シテ其ノ戰果ヲ擴張ス  
攻撃準備間ニ在リテハ第二線師團長ハ第一線師團ノ司令部ニ在リ攻撃開始セラルレハ通常之ト共ニ前進  
シ適時情況ヲ明ニシテ其ノ師團ノ前進ヲ規正ス

第二線師團ハ機ヲ失セズ交代シ又ハ増加スル爲第一線師團ト遠隔スヘカラサルモ過度ニ第一線師團ニ近  
接シテ之ト同時ニ敵砲兵ノ射撃ヲ受ケ或ハ將來甚シク側方移動ヲ爲スニ至ルコトヲ避ケサルヘカラス

第一線師團トノ交代實施ヲ確實迅速ナラシメムカ爲ニハ部下各級指揮官ヲシテ絶エズ敵情地形第一線師  
團ノ情況ヲ詳知セシメ且交代ノ準備ヲ缺カシメサルヲ必要トス



第五篇 陣地攻撃ニ於ケル騎兵及航空隊

第一章 騎兵

第一節 要則

騎兵ハ敵ノ全陣地帯ニ突破口ヲ開設シ得タル後ニアラサレハ活動スルコトヲ得ス  
騎兵ノ任務ハ他兵種ノ獲得セル效果ヲ擴張スルニアリ即チ擊破セラレタル敵カ再ヒ其ノ戰鬥能力ヲ恢復  
シテ我ニ對抗スルニ至ルコトヲ妨害シ其ノ退却ヲシテ敗退ニ陥ラシム之カ爲騎兵ハ陣地攻撃間常ニ速ニ  
其ノ行動ヲ爲シ得ルノ準備ヲ缺カサルヲ要ス

高級指揮官ハ他兵種ト同シク騎兵部隊ヲ地區ニ配屬シ其ノ任務ヲ定ムルモノトス特別ノ場合ニ於テハ軍  
團ノ騎兵ヲ増加スルコトアリ

騎兵指揮官ハ其ノ任務ノ實行ニ關シ特ニ十分ナル獨斷ヲ必要トス

第二節 準備

騎兵ノ行フヘキ準備トハ幹部並部隊ノ教育訓練及騎兵活動ノ目的ヲ以テ土地ニ整備作業ヲ施スニアリ

第一款 幹部並部隊ノ教育訓練

騎兵指揮官ハ步兵及砲兵ノ戰鬥法ヲ根柢ヨリ研究スヘシ而シテ其ノ教育ハ先ツ幹部ノミヲ集メテ十分ニ  
之ヲ實施シ次ヲ部隊ヲ以テ訓練ヲ行フモノトス其ノ主要ナル科目ハ徒歩戰、陣地ノ迅速ナル編成、機關

銃ヲ以テスル側防、射擊、展開法等ニシテ部隊ハ又特ニ塹壕ヲ超越シ鐵條網中ニ通過點ヲ作り小橋ヲ架  
設シ或ハ各種構築物ヲ迅速ニ破壊スルコト等ニ熟練セザルヘカラス

騎兵ハ作業兵、擲彈兵等ノ特業兵ヲ養成ス

騎兵ハ實例並訓話ニ依リ常ニ其ノ志氣ヲ發揚シ之ヲ維持スルコトニ注意セザルヘカラス

第二款 各級指揮官ノ準備動作

一 先ツ圖上ニ依リ攻撃實施地帯ノ地形ヲ研究ス

二 攻撃部隊ノ指揮官ト密接ナル聯繫ヲ維持ス

三 參謀將校及隊附將校ヲシテ將來關係ヲ有スヘキ地區ノ地形及敵陣地設備等ヲ詳細ニ偵察セシム是各  
隊ニ必要ナル嚮導ヲ養成スルヲ主眼トスルモノニシテ是等ノ將校ハ若干時日間該地區指揮官ノ許ニ在  
リテ偵察ニ從事スルモノナリ

四 將官及聯隊長モ亦自ラ將來活動スヘキ地區ノ偵察ヲ行フヘシ尙監視所ヨリ絶エス敵ノ第一線及其ノ  
後方ノ情況ヲ偵察スヘキモノトス

第三款 攻撃地區整備作業

一般攻撃ノ爲ノ準備作業ニ於テ攻撃部隊ハ騎兵ノ前進運動ヲ可能ナラシムル爲防禦設備中ニ通過點ヲ構  
設ス



騎兵指揮官ハ攻撃地區附近ニ來著スルヤ直ニ既設ノ通過點ヲ偵察セシメ且工事人員ヲ派遣シテ所々ニ通過點ヲ増設シ且多數ノ道標ヲ植立スヘシ

第三節 攻撃實行

第一款 要則

騎兵部隊ハ歩兵カ敵陣地ノ一部ヲ突破シ得タルトキ直ニ之ヲ利用シ得ル如キ地點ニ位置シアラサルヘカラス

騎兵ハ第一線ヨリ幾何ノ距離ニ位置スヘキヤヲ定ムルハ不可能事タリ然レトモ如何ナル情況ニ於テモ騎兵團ヲ甚シク接近セシメタル爲爾後其ノ移動ニ依リ戰鬥部隊ノ行動ヲ妨害シ電話線ヲ切斷シ補給、還送ヲ困難ニシ又ハ大目標ヲ呈シテ無用ノ損害ヲ受クルカ如キコトアルヘカラス

騎兵ノ敏速ナル行動ハ指揮官ノ前方監視所ニ位置スルコト及攻撃部隊指揮官並騎兵團間ニ於ケル電話、視號、遞傳等ノ連絡確實ナルコトニ依リ得ラルルモノナリ

騎兵指揮官ハ其ノ監視所ヲ第二線師團長監視所附近ニ設クヘシ然ルトキハ戰鬥ノ委曲ヲ察シ機ヲ失セス部下軍隊ヲ招致スルヲ得レハナリ

第二款 軍團騎兵ノ任務

軍團長ハ軍團騎兵ニ任務ヲ與フ

軍團騎兵ハ全騎兵中通常第一著ニ動作スルモノニシテ其ノ行動地域ハ比較的狹少ナルモノナリ其ノ主要ナル動作ヲ舉クレハ左ノ如シ

- 一 敵ヲ側背ヨリ攻撃シテ歩兵ノ開設セル突破口ヲ擴大ス
- 二 退却スル敵トノ觸接ヲ失ハサル爲斥候ヲ派遣ス
- 三 潰亂セル敵兵ヲ追撃ス
- 四 敵砲兵陣地ヲ破壊ス
- 五 要點ヲ占領ス

第三款 騎兵師團及同軍團ノ任務

大軍司令官及軍司令官ハ命令ヲ以テ或ハ豫メ自己ノ意圖ヲ示シテ大騎兵團ニ任務ヲ附與ス

大騎兵團ハ擊破セル敵ヲ追撃シ敵ノ交通線、鐵道、停車場、術工物、工廠、倉庫等ヲ破壊シ重要ナル通過點ヲ占領シ大口徑砲兵ノ陣地又ハ縱列等ヲ攻撃シ或ハ敵ノ増援部隊ニ對シ攻撃ヲ行フ

工兵ノ小部隊ヲ附セル歩兵聯隊又ハ旅團ヲ自動車ニ搭載シ騎兵軍團又ハ同師團ニ配屬スルコトアリ  
騎兵師團火力ノ増加即チ同師團ニ自轉車隊、騎砲兵隊、機關銃隊、輕機關銃隊、自動車砲兵隊ヲ配屬スルトキハ攻撃及防禦力ヲ増大シ遠大ナル範圍ニ亘リテ其ノ活動ヲ許スニ至ルモノトス

騎兵指揮官ハ待機間諸情報ヲ綜合スルニ便ナル地點ニ位置シ自ラ情況ヲ視察シ尙連絡將校或ハ歩兵ト密



ニ連絡シアル徒歩斥候ヨリ報告ヲ得以テ隸下各指揮官ニ情況ヲ知ラシメ部下團隊ニ各種ノ任務ヲ與ヘ其ノ隊形、通路等ヲ選定シ又必要ナル時機ヲ看破シテ無益ノ損害ヲ避クル爲分散シテ掩護下ニ在リシ部隊ヲ呼集シ其ノ運動ノ時機ヲ命令スルモノトス

高級指揮官及隣接團隊長ニ情報ヲ送致スルコトハ各騎兵指揮官ノ活動間常ニ努ムヘキ所ナリ此ノ際ニ於テハ一ノ連絡法ニ信賴スルコトナク努メテ多數ノ方法ヲ探ルヘシ

茲ニ一情報ヲ得ハ其ノ隸屬スル指揮官ニ報告スルノミナラス其ノ附近ニテ戰闘中ナル各部隊ノ指揮官ニ通報セサルヘカラス斯ノ如キハ實ニ各兵種間ニ完全ナル協同動作ヲ成立セシムル基礎ヲナスモノトス

第二章 航空隊編者曰ク航空隊ノ行動ニ關スル詳細ハ本報第二十一號ヲ參照スヘシ

第一節 航空隊ノ任務及配屬

陣地攻撃ニ於ケル航空隊ノ主ナル任務ハ指揮官及砲兵ノ耳目トナリ同時ニ敵耳目ノ活動ヲ妨害スルニアリ之ヲ區分スレハ左ノ如シ

觀察任務 指揮官ノ爲ニ戰場ヲ監視シ敵情ヲ拾收シ友軍ノ情況ヲ觀察ス

砲兵ノ爲ニ目標ヲ發見シ射撃ノ觀測ヲ行フ

戰闘任務 敵航空機ヲ擊破シテ空中權ヲ獲得シ及直接友軍ノ航空機ヲ掩護ス

制空權ノ獲得ハ攻撃ニ於テ絕對ニ緊要ナル要件ナリ從テ航空隊ハ先ツ此ノ戰闘任務ヲ解決セサルヘカラ

戰闘任務ヲ完全ニ遂行シ制空權ヲ維持セムニハ有力ニシテ且長時ノ活動ニ堪フル驅逐用飛行機ノ大集團ヲ要ス

觀察任務ヲ遂行スル爲ニハ同一地區内ニ活動シ同一目的ニ使用スルモノヲ集團シ統一スルコト必要ナリ

是ヲ以テ軍(時トシテ大軍)ニハ驅逐飛行機ノ數集團及監視、觀測、偵察等ニ任スル直轄航空諸隊ヲ屬シ軍航空隊指揮官ノ隸下ニ統一セシメ各攻撃地區(通常軍團)ニハ觀察及直接掩護ニ任スル航空隊ヲ配屬シ地區航空隊指揮官ノ指揮下ニ隸セシム

編者曰ク 從軍武官ノ報スル所ニ依レハ佛軍ハ千九百十七年春期總攻撃ノ爲ニ大軍ニ戰闘用及砲兵用飛行機ヲ屬シ各軍ニハ砲兵用及遠距離偵察用飛行機二隊以上ヲ、軍團ニハ砲兵用(寫真攝影用共)及歩砲連絡用トシテ飛行機三又ハ四隊並氣球三又ハ四箇ヲ配屬スル如シト云フ此ノ戰闘飛行機ハ一隊十二機ヨリ成リ他ノ飛行機ハ十機ヨリ成ル

第二節 陣地攻撃準備期間觀察ニ任スル航空隊ノ動作

第一款 指揮官ノ爲ノ觀察

此ノ期間ニ於テ指揮官ノ爲ニ行フ觀察任務ハ敵情偵察及友軍地區ノ視察トス



敵情偵察 攻撃準備ノ爲必要ナル情報ニシテ航空隊ノ拾收スヘキモノ左ノ如シ

敵ノ防禦諸設備

敵砲兵ノ配備並其ノ活動ノ實況

敵軍隊ノ配備

以上ノ偵察ハ指揮官ノ命令ニ依リ軍及軍團飛行隊ノ實行スルモノニシテ視察及寫眞撮影等ノ手段ニ依リ行ハル

偵察ハ會戰準備ノ著手當初ヨリ之ヲ實施スヘシ而シテ敵カ攻撃ノ企圖ヲ察知シ其ノ防禦工事及砲兵ノ増加ヲ開始セシ以後ハ特ニ不斷ノ偵察ヲ必要トシ機ヲ失セス報告セサルヘカラス

友軍地區ノ視察 攻撃準備作業ヲ開始セハ指揮官ハ其ノ參謀又ハ優秀ナル偵察將校ヲシテ空中ヨリ其ノ地區ノ作業ヲ偵察シ撮影セシムヘシ是實施中ナル諸作業カ攻撃計畫ニ適應シアルヤ其ノ進度如何並敵ノ空中偵察ニ對シ秘匿欺騙ノ方法適當ニ行ハレアルヤヲ察知スル爲ナリ而シテ攻撃軍隊ノ配置後ニ於テハ之ニ依リ其ノ運動並砲兵ノ秘匿如何等ヲ點檢スルコトモ亦必要ナリ

友軍地區ノ寫眞ハ第二線師團ノ爲ニ極メテ必要ナリ是其ノ將來ニ於ケル行動地域ノ地形ヲ考究スルニ便ナルハナリ

第二款 砲兵ノ爲ノ視察

砲兵ノ爲飛行機ノ行フヘキ任務左ノ如シ

一 目標ノ探索及監視 正確ナル位置、目標ノ性質之ヲ射撃スルニ適切ナル時機等ヲ偵知ス

二 射撃觀測 地點ノ標定、既知目標ニ對スル射撃ノ修正、射撃效果ノ點檢等ヲ行フ

目標ノ探索ハ多クハ空中寫眞ニ依リ得ラル

目標ノ監視ハ準備著手當初ヨリ努メテ恒久的ニ實施スヘク任務ノ如何ニ拘ラス全航空機關ノ必ス行ハサルヘカラサル所ナリ是實ニ地區航空隊長ニ攻撃地區内ノ總テノ航空機ヲ統一セシムル所以ニシテ斯ノ如ク連續不斷ニ實施スルニアラサレハ敵陣地ノ監視ハ完全ニ遂行スルヲ得サルモノナリ

砲兵ノ觀測ニ飛行機ヲ使用スルハ氣球及地上ヨリ觀測スルコト能ハサルモノニ限ルヘシ是攻撃準備射撃期間ヲ短縮セム爲ナリ又一攻撃地區内ニ努メテ多數ノ飛行機ヲ同時ニ活動セシメ得ル編成(電波ノ混淆ナク全無線電信機ヲ使用セシメ得ル方法)ヲナスコトハ最必要ナルモノナリ

第三節 第一期攻撃觀測ニ任スル航空隊ノ動作

第一款 指揮官ノ爲ノ視察

攻撃實施間ニ於ケル指揮官用飛行機ノ任務ハ極メテ重大ナリ其ノ主要ナル觀察任務ヲ舉クレハ左ノ如シ

一 砲撃不十分ナル地區ヲ偵察ス

二 敵ノ對戰狀態即チ敵砲兵ノ活動、敵砲火ノ集中地點、敵軍隊ノ運動等ヲ偵察ス



三 攻撃歩砲兵戦闘進捗ノ情况及第一線ノ位置ヲ偵察ス  
此等ノ任務カ良好ニ遂行セラルルコトハ指揮官ヲシテ戦闘指揮ヲ連続執行セシムル爲缺クヘカラサルコトナリ

第二款 砲兵ノ爲メニ觀察

攻撃間砲兵ノ爲飛行機ノ擔任スヘキ觀測任務左ノ如シ  
一 變移スル戰況中ヨリ砲兵ノ射撃スヘキ目標ヲ探索シ通報ス  
二 效果不良ナル砲兵ノ射撃ヲ簡易ナル方法ニ依リ速ニ修正指導ス  
三 我カ射撃ヲ被ルコト少キ地點ニ在ル新目標ニ對シ試射ノ觀測ヲナス  
四 塙壁射撃ヲ容易且有效ナラシムル爲歩兵ノ到達線及戰線波狀ノ景況ヲ通報ス  
酣戰時ニ於テハ砲煙及戰場ヲ掩フ塵埃ノ爲觀察困難ナルヲ以テ事實飛行機ハ現出セル新目標ノ通報、射撃ニ關スル單筒ナル點檢並友軍歩兵到達線ノ指示等ニ依リ砲兵任務ノ遂行ヲ助成スルコトヲ以テ満足セサルヘカラサルニ至ルナラム

第四節 第二期攻撃間觀察ニ任スル航空隊ノ動作

第一款 指揮官ノ爲メニ觀察

第一期攻撃後統帥部ハ次ノ要求ヲ充足スヘキ情報ヲ切望スルモノナリ

一 速ニ第二期攻撃ヲ實施スル爲第一期攻撃後ニ於ケル一般ノ情況特ニ敵情ヲ明ニスルコト

二 敵ノ恢復攻撃ヲ豫知シ之ニ對スル準備ヲナスコト

彼我同時刻ノ情況ヲ廣地域ニ亘リ知悉スルハ會戰間常ニ必要ナリト雖此ノ時機ヲ以テ最價値アルモノトス而シテ此ノ主要ナル任務ヲ適時ニ達成シ統帥部第一曙光ヲ與フルモノハ實ニ飛行機ナリ

第二款 砲兵ノ爲メニ觀察

第二期攻撃準備ノ爲砲兵ノ大部ハ梯次ニ前方ニ陣地ヲ變換ス此ノ時ニ當リ砲兵ノ負擔スヘキ緊急ナル努力ハ

敵ノ恢復攻撃ヲ擊退スルコト

第二期攻撃ヲ準備スルコト

是ナリ之カ爲逐次ノ戰況ニ伴ヒ飛行機ノ行フヘキ動作ハ次ノ如シ

一 機ヲ失セス野砲兵ノ塙壁射撃開始ヲ指示スルコト

二 前進セル砲兵ニ努メテ速ニ射撃ヲ開始セシムルコト

三 敵ノ恢復攻撃ニ對スル必要ナル準備ノ完了ニ協力シ次テ破壊射撃ノ觀測ニ從事スルコト

第二期攻撃ニ際シ飛行機ト砲兵トノ間ニ完全ナル連絡法ヲ講スルハ困難ナルモノナリ故ニ第一期攻撃開始前特ニ此ノ件ヲ願慮シ適當ナル手段ヲ準備スヘク尙此ノ時機ニ際セハ飛行機偵察者ハ新砲兵陣地ニ到



リ其ノ新情況ニ通曉スルヲ要ス

#### 第五節 戦闘

敵飛行機ニ對スル戦闘ハ攻撃準備ノ初期ヨリ行ハサルヘカラサルモノナリ是敵ハ脅威ヲ感受スル地區ニ航空機ヲ集メ我カ諸準備ヲ偵察シ同時ニ我カ觀察勤務ヲ妨害セムコトヲ企圖スルヲ以テ之ニ對シ戦闘飛行機ハ友軍ノ觀察勤務ニ服スル飛行機ヲ掩護シ敵機ノ行動ヲ妨害セサルヘカラサレハナリ即チ航空隊ハ敵機ヲ攻撃シ其ノ潛入ヲ遮斷シ且直接友軍飛行機ヲ掩護スルヲ要スルモノトス友軍飛行機ニ安全ト自由トヲ與フル爲ニハ敵機ヲ擊滅シテ制空權ヲ保有スルヲ第一トシ以テ積極的ニ其ノ動作ヲ掩護スルヲ可トス

敵機ノ擊破ハ軍或ハ大軍ニ屬スル驅逐飛行機集團(三乃至六隊ヲ普通トス)ノ任トス

制空權ナルモノハ決シテ絶對的又ハ決定的ノモノニアラスシテ空中戰ハ會戰間終始發生スルモノナリ而シテ此ノ戦闘ハ搭乗者並飛行機ノ損耗ヲ來タスコト大ナレハ隊數多ク而モ節用スルニアラサレハ必要ノ期間制空權ヲ維持スルコト能ハサルモノナリ

敵ノ單獨飛行機或ハ其ノ少數ヨリ成ル分隊ハ我カ驅逐飛行機集團ノ活動ニ拘ラス觀察勤務界ニ潛入シ得ルモノナルヲ以テ我カ觀察飛行機ニハ直接ノ掩護ヲ必要トス

優勢ナル驅逐飛行機集團ノ活動ハ陣地攻撃間制空權ヲ維持シ敵飛行機ノ行動ヲ單ニ其ノ戰線内ノ低空ニ

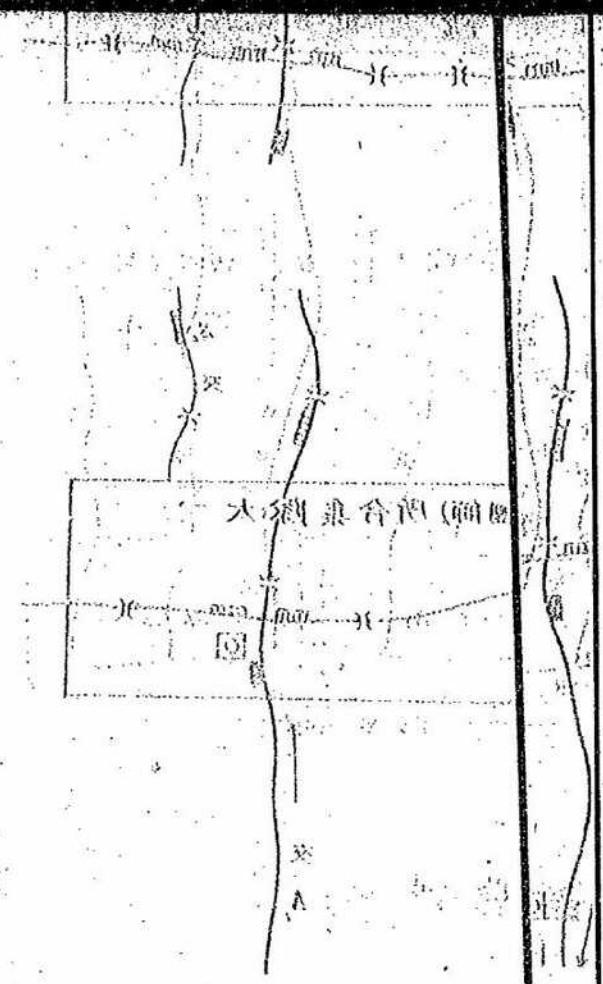
限定スルニ至ルヘシト雖敵機カ我カ制空界ニ潛入スルコトハ決シテ不可能ナルニアラス故ニ之ニ對シテハ適時ニ對航空機火砲ヲ使用シテ其ノ破壞驅逐ヲ行ハサルヘカラス此ノ際地上ヨリ發進シテ攻撃スル飛行機ハ多クハ時機ヲ失スルモノナリ

#### 第六節 結言

航空機ハ其ノ勇敢ナル行動ニ依リ敵ニ精神上ノ威壓ヲ與フルトキハ攻撃ニ於ケル其ノ固有ノ任務達成ヲ容易ニシ指揮官ノ耳目タリ地上軍隊ノ空中哨タリ得ルノミナラス著シク軍隊ノ志氣ヲ振起スルニ至ルモノトス

航空隊ノ運用ニ關シテハ其ノ任務ノ如何ヲ問ハスカノ分散ヲ避ケ集團シテ協力行動シ得セシムルヲ不變ノ原則トナスヘシ



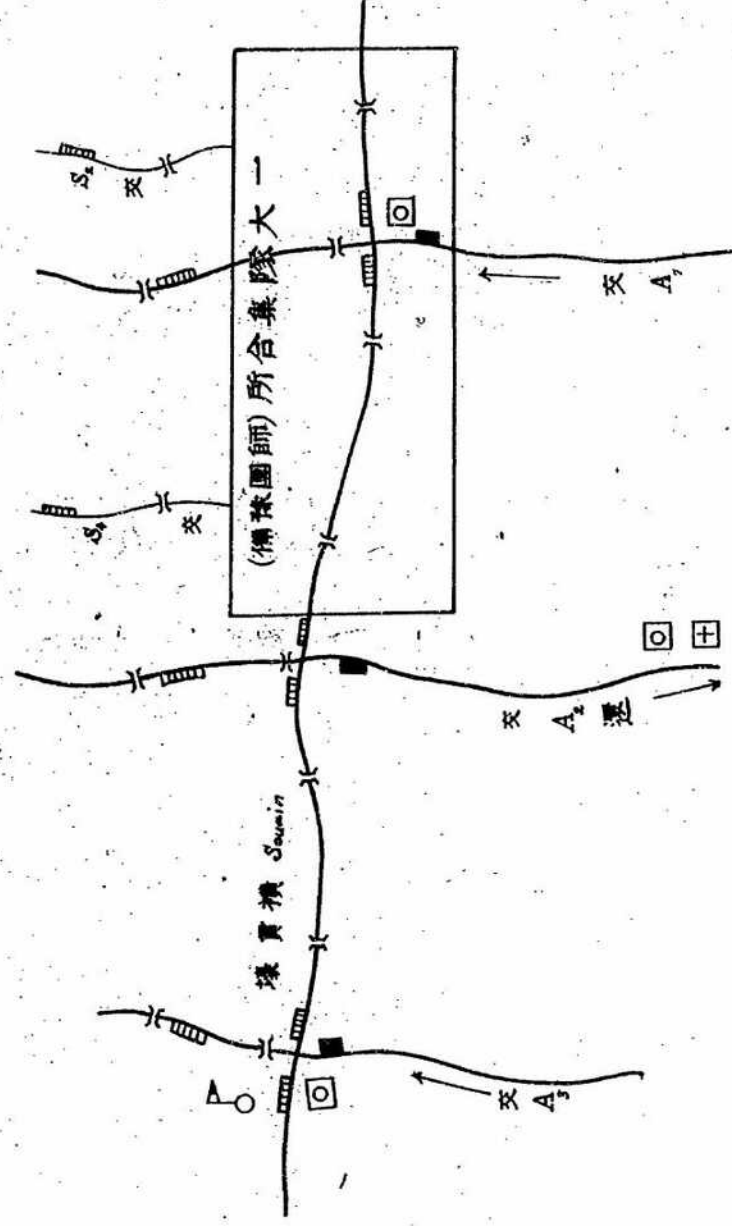
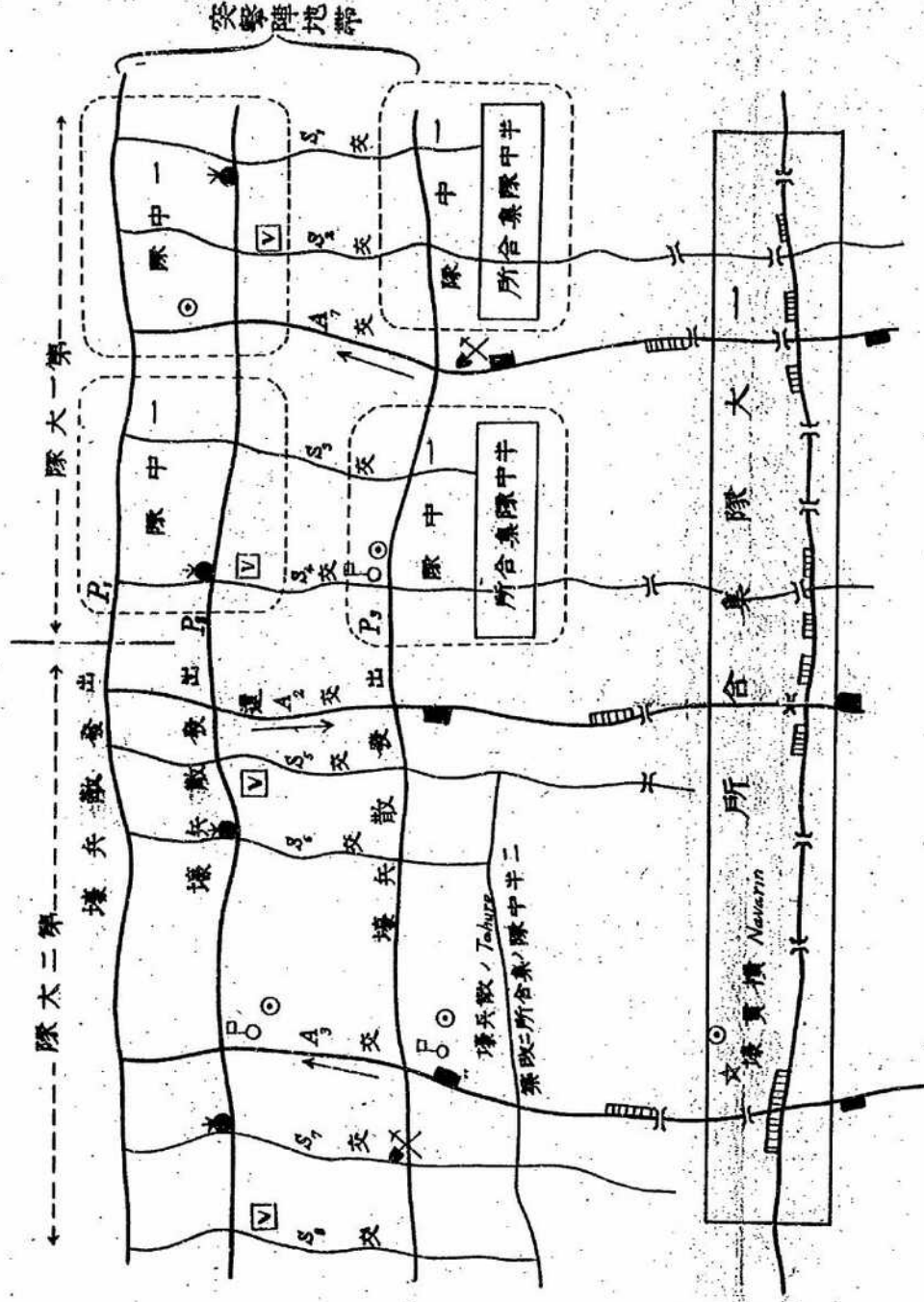


- 一〇 臺灣府合圖
- 六 本國府合圖
- 〇 荷蘭府合圖
- 〇 廣東府合圖
- 〇 廣西府合圖
- 〇 雲南府合圖
- 〇 貴州府合圖
- 〇 四川府合圖
- 〇 陝西府合圖
- 〇 甘肅府合圖
- 〇 寧夏府合圖
- 〇 青海府合圖
- 〇 蒙古府合圖
- 〇 西藏府合圖
- 〇 朝鮮府合圖
- 〇 日本府合圖
- 〇 琉球府合圖
- 〇 南洋府合圖
- 〇 北洋府合圖
- 〇 東洋府合圖
- 〇 西洋府合圖
- 〇 中東府合圖
- 〇 南東府合圖
- 〇 北東府合圖
- 〇 南西府合圖
- 〇 北西府合圖
- 〇 南中府合圖
- 〇 北中府合圖
- 〇 南南府合圖
- 〇 北南府合圖



# 第一隊地區整備要領

第一圖附



凡例

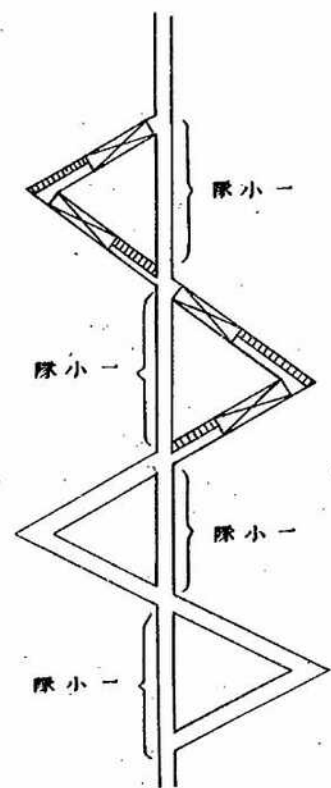
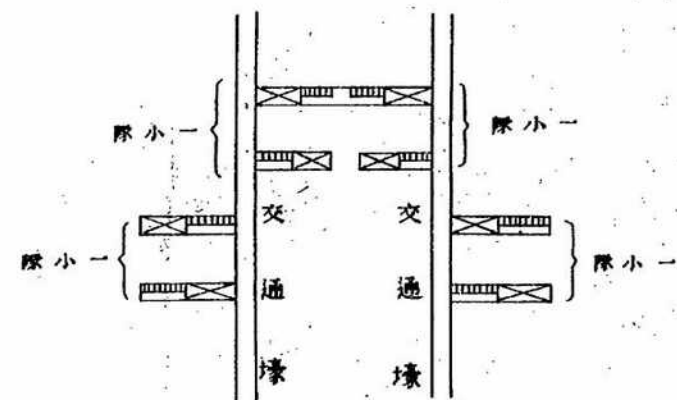
- 資材置場
- 超越階段
- 壕上通過点
- 師團司令部
- 旅團司令部
- 聯隊司令部
- 大隊司令部
- 観測所
- 彈藥庫
- 器具材料庫
- 糧食庫
- 貯水所
- 救護所
- 交通壕

本圖中 大第一隊集隊所 中隊 中隊 出  
 及 壕兵 交通壕 二級ケル 出  
 及 壕兵 交通壕 二級ケル 出



例一ノ所合果隊中一

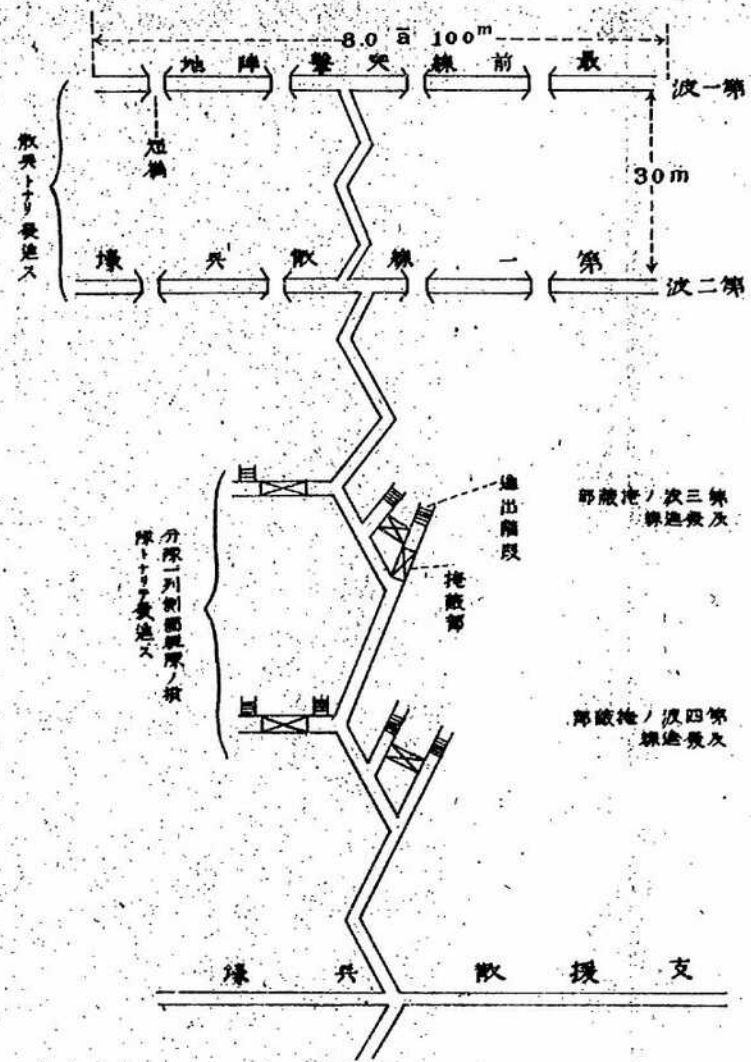
附圖第一



 部隊掩  
 銃層越越

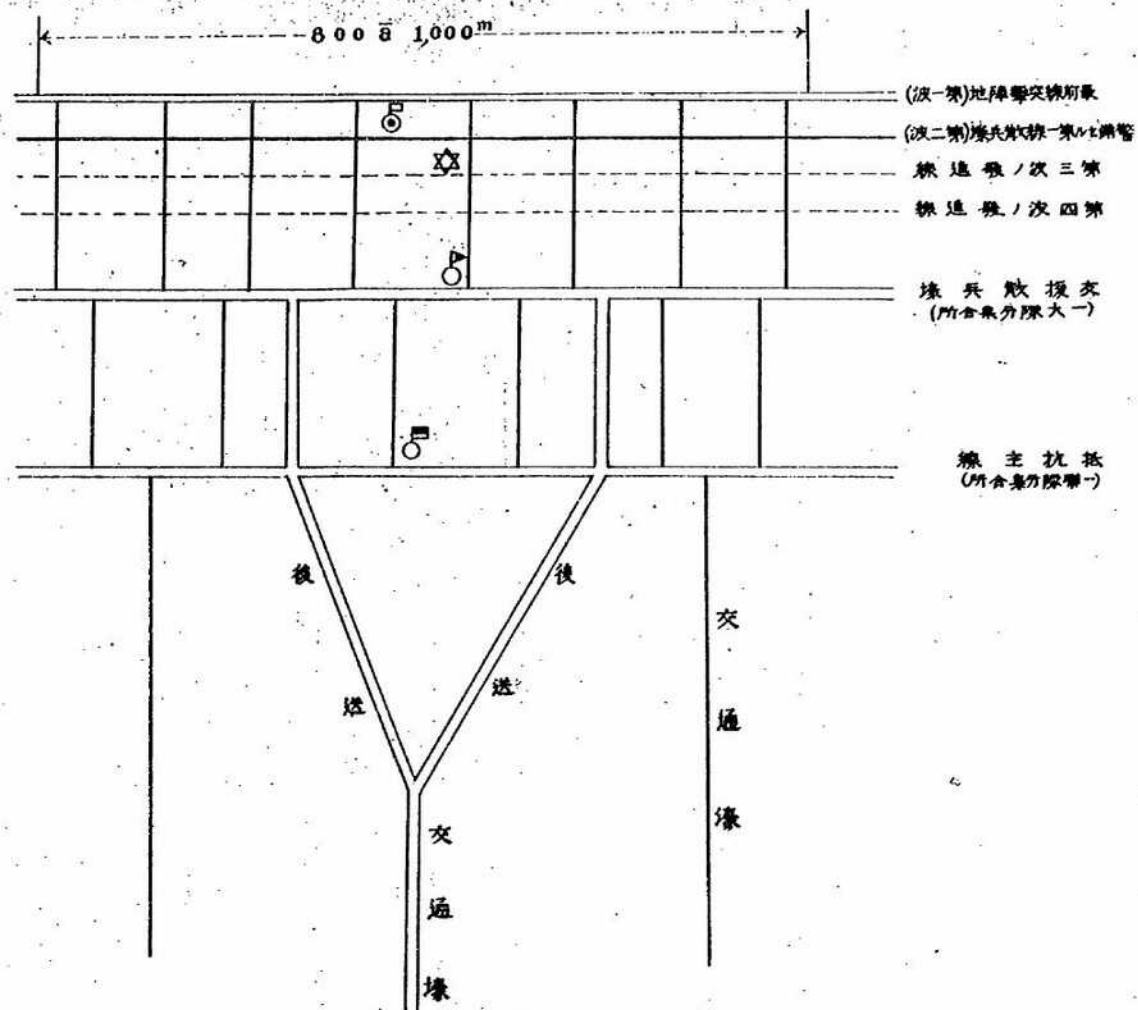


例一ノ備整區地擊攻隊中練一第ル分區=波擊突四 (u)



例一備整區地擊攻爲ノ團師半 (團旅列併)

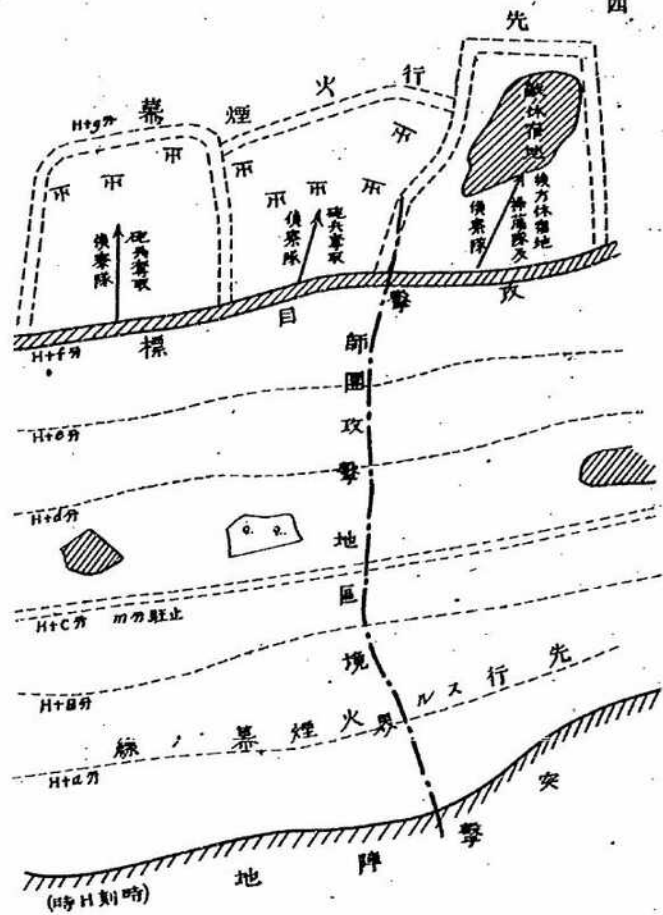
(甲)圖三第





例一ノ圖要幕煙火行先

附圖第四



備考  
一九一六年十二月師團攻撃線ノ位置ニ於テ約二十名ノ  
休地ヲ得テ隊八四五百ノ編成ヲ得ルコトヲ示ス